

トキハ其翌朝退所セシムルモノトス但直ニ歸宅ヲ希望スルトキハ此限リニアラス

隔離期限終了シタルトキハ其證ヲ附與ス

第十二條 隔離中他病ニ因リテ死亡シタルモノアルトキハ其戸主又ハ家族若クハ其他ノ關係者ノ希望ニ依リ隔離所ニ於テ葬送ノ手續ヲ爲スヘシ

第十三條 隔離所ニ收容シタルモノニシテ他ノ疾病ニ罹リ特ニ醫師ヲ指定シ之ヲ迎ヘントスルモノアルトキハ其意思ニ從ヒ通報スヘシ

第十四條 隔離所ニ於テ産婆ノ必要ヲ生シタルトキハ隨時雇入ルヘシ但本人ノ指定ニ依リテ迎ヘントスルトキハ前條ノ例ニ依ル

第十五條 傳染病院へ入院セシムヘキ患者ノ携帶品ハ其明細書ヲ添ヘ之ヲ送付スヘシ病院ニ於テ前項ノ金品請取タルトキハ之ヲ領置簿ニ登載シ本人若クハ其關係者ノ認印ヲ求メ置クヘシ
患者死亡シタルトキハ前項領置金品ノ引渡方ヲ其戸主又ハ家族へ通知スヘシ若シ戸主家族ナキトキハ區役所へ之ヲ送付スヘシ
區役所ニ於テ前項金品ノ送付ヲ受ケタルトキハ相當處分ヲ爲スヘシ

第九條 雇ハ所長以下ノ指揮ヲ受ケ雜務ニ從事ス
第十條 所務ノ細則ハ所長之ヲ定メ市參事會ノ認可ヲ受ケヘシ

●傳染病死亡者遺留品焼却方

明治卅五年三月廿五日
訓衛第一七號

市立桃山病院長

明治三十四年三月告示第八號傳染病豫防消毒事務取扱規程第十五條ニ依リ死亡者遺留品ヲ返還スルニ際シ死者遺族或ハ關係者ヨリ遺留品ノ焼却ヲ願出タル時ハ其院ニ於テ焼却ス可シ

●癩豫防ニ關シ一時救護費用繰替方

明治四十二年九月廿九日
訓衛第三五號

區長

癩豫防ニ關スル一時救護費用ハ行旅病人及行旅死亡人精神病者監護取扱費用繰替基金ヲ以テ一時繰替支辨シ明治四十年七月勅令第二百六十二號第二條ニ據リ辨償ヲ得タル後之ヲ該基金ニ戻入スヘシ

●消毒所處務規程

明治卅三年七月十一日
大阪市規則第一號

本市會ノ議決ヲ經市制第二百二十三條ニ依リ大阪府知事ノ認可ヲ請ケ大阪市消毒所處務規程左ノ通相定ム

大阪市消毒所處務規程

第一條 本所ハ大阪市北區西野田下島町ニ設置シ大阪市消毒所ト稱ス

第二條 本所ハ傳染病毒ニ汚染シ若クハ汚染ノ虞アル器具物品ヲ消毒スル所トス

第三條 消毒ノ方法ハ傳染病豫防法ニ準據スルモノトス

第四條 本所ニ左ノ職員ヲ置ク

- 一所 長 一人
- 二書 記 二人
- 三機關 手 一人
- 四助 手 二人
- 五雇 若干人

第五條 所長ハ所務ヲ總理シ所員ヲ指揮監督ス

第六條 書記ハ所長ノ指揮ヲ受ケ會計庶務ニ從事ス

第七條 機關手ハ所長ノ指揮ヲ受ケ機關ニ關スル事務ヲ助ク

第八條 助手ハ所長機關手ノ指揮ヲ受ケ機關ニ關スル事務ヲ助ク

第五章 病院

●市立病院規則

明治廿九年三月廿三日
大阪市規則第一號

(沿革) 四一年五月規則第三號改正

本市會ニ於テ明治二十二年十月大阪市規則第六號避病院規則ヲ改正シ市立病院規則左ノ通議決シ市制第二百二十三條ニ依リ大阪府知事ノ許可ヲ受ケ之ヲ定ム

市立病院規則

第一條 市立病院ハ市内ニ於テ發生シタル傳染病患者ノ隔離救治及傳染病ニ關スル細菌研究ノ爲設置スルモノトス

第二條 市立病院ノ位置及名稱ヲ定ムルコト左ノ如シ

但傳染病流行ノ狀況ニ依リ臨時適當ノ位置ニ病院ヲ假設スルコトアルヘシ

大阪市南區天王寺筆ヶ崎町

大阪市北區本庄中ノ町

桃山病院
本庄分病院

第三條 桃山病院ハ常時開設シ左ノ職員ヲ置ク

院長 一人 副院長 一人
但首席醫員ヲ以テ之ニ充ツ

醫 員 若干人

助手 若干人

調劑手 若干人

ノコトヲ掌ルヘシ

一 調劑手ハ院長ノ指揮ヲ受ケ藥品鑑定製練及調劑ノコトヲ掌ルヘシ

一 書記及雇ハ院長ノ指揮ヲ受ケ庶務會計ノコトヲ掌ルヘシ

一 看護婦ハ院長以下ノ指揮ヲ受ケ患者ノ看護ヲ掌ルヘシ

一 看守ハ院長以下ノ指揮ヲ受ケ建物及諸器具等ノ保管ヲ掌ルヘシ

第七條 患者入院中必要ノ費用ハ總テ市費ヲ以テ支辨スヘシ

但患者又ハ親族等ノ請ニ依リ特ニ要スル費用ハ此限ニアラス

第八條 患者自費ヲ以テ入院ヲ請フモノアルトキハ人員ヲ限リ之ヲ許スコトアルヘシ

前項入院料ハ一等一日金貳圓二等一日金壹圓五拾錢トシ一週間分テ前納セシムルモノトス

第九條 傳染病患者及隔離者ニ關スル取扱ハ明治三十四年三月大阪

市告示第八號傳染病豫防消毒事務取扱規程ニ依ルヘシ

第十條 入院患者ノ携帶品ハ患者轉歸後六十日以内ニ下付ヲ求メサルモノハ病院ニ於テ便宜處分ヲ爲スヘシ

第十一條 市内開業醫ハ病院ノ許諾ヲ受ケ桃山病院傳染病研究室ヲ參觀シ若シクハ講究ヲ求ムルコトヲ得

書記 若干人
雇 若干人
看護婦 若干人

第四條 分病院ハ必要アルニ當リ臨時之ヲ開設シ其開設申左ノ職員ヲ置ク

但看守ハ閉鎖中之ヲ置クモノトス

醫 長 各院 一人

醫 員 全 若干人

調劑手 全 若干人

書 記 全 若干人

看護婦 全 若干人

看守 全 二人

第五條 各病院ニハ消毒人洗濯人其他小使等必要ニ應シ置クコトヲ得

第六條 院長以下職務概則ハ左ノ如シ

一 院長ハ各病院ノ院務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督シ市參事會ノ認可ヲ經テ院內ノ細則ヲ設クヘシ

但院長事故アルトキハ副院長之ヲ代理ス

一 副院長及醫長ハ院長ノ指揮ヲ受ケ醫員ヲ監督シ患者ノ治療並ニ細菌研究ニ關スル事ヲ掌ル可シ

一 醫員及助手ハ院長副院長及醫長ノ指揮ヲ受ケ患者ノ治療並ニ細菌研究ニ關スルコトヲ掌ルヘシ

但醫員ノ内職醫ハ院長ノ指揮ヲ受ケ試驗用獸類ノ保健及治療

●桃山病院細則

明治廿九年八月十一日
桃山病院院長決定

桃山病院細則

第一章 通 則

第一條 院長ハ院務整理ノ責ニ任シ患者ノ治療方針ヲ定メ併セテ細菌研究及各職員ノ任務ヲ監視スヘシ

第二條 院長ハ毎土曜日午後各局部及病室其他ノ細密検査ヲ施行スヘシ

第三條 院長ハ毎月二回職員會議ヲ開キ院務ノ改良ヲ謀ルヘシ但看護婦ハ總取締一名ヲ列席セシムルモノトス

第四條 院長ハ毎年一月前年中ノ處務功程ヲ市參事會ニ報告スヘシ

第五條 院長ハ時々職員以下ヲ集メ非常事變ニ應スル演習ヲ爲スヘシ

第六條 本院及院長ノ印章ハ左ノ如シ

大 阪 市	桃 山 病 院
立 桃 山	方 桃 山 病
病 院 印	院 長 印

第七條 各局部科ニハ日記ヲ備ヘ置キ日々ノ事ヲ記載スヘシ

第八條 職員以下ノ出勤簿ハ院長席ニ備ヘ置クヘシ

第九條 本院ノ勤務時間ハ市ノ執務時間ニ據ルヘシ

- 第十條 院務繁忙ナルトキハ其必要ニ應シ時間外臨時ニ執務スルコトアルヘシ
- 第十一條 大祭日祝日及日曜日ト雖モ患者多數或ハ重症患者許多ナルニ於テハ通常ノ通り出務スヘシ
- 第十二條 職員病氣忌引等ニテ出勤シ能ハサルトキハ庶務部ニ第一科ヲ經テ院長宛出勤届ヲ出スヘシ其一週間以上ニ渉ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ
- 第十三條 各局部科ハ其備付ノ物品ニ對シ各保管ノ責ニ任スヘシ
- 第十四條 職員院内ニ在テハ宿直ヲ除クノ外豫防服ヲ著用スヘシ但私服ヲ著用スルトキト雖モ洋装ニ限ルヘシ
- 第十五條 職員以下本院ノ豫防服其他ヲ借用スルモノハ庶務部第一科ニ借用證ヲ差出スヘシ借用中故ナク毀損又ハ紛失シタルトキハ辨償ノ責ニ任スヘシ
- 第十六條 患者ノ關係人ニシテ附添ヘテ申出タルトキハ之ヲ許スコトアルヘシ
- 第十七條 前條ノ附添ヲ許シタルモノト雖トモ看護上不都合ト認めタルトキハ之ヲ拒絕スルコトアルヘシ
- 第十八條 本院ニ醫局藥局及庶務部ヲ置キ醫局ヲ醫務科傳染病研究科ニ分テ庶務部第一科第二科ニ分ツ

第二章 醫務局

- 第十九條 醫長ハ院長ヲ助ケ醫局藥局ノ整理ニ注意シ且ツ醫員ト共ニ特ニ看護婦ノ勤務ヲ監視シ良ク之ヲ訓誨シ其應對等ハ最も嚴正ヨリ補助ノ請求アル場合ハ直ニ出院スヘシ
- 第三十二條 前條ノ場合ニ應セン爲メ醫員ノ在宅當番順ヲ豫定シ庶務部第一科ニ通報シ置クヘシ
- 第三十三條 患者危篤ニ瀕スルトキハ其氏名及入院番號ヲ庶務部第二科ニ通報シ危篤報發送ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第三十四條 患者死亡シタルトキハ直ニ死亡届ヲ作り庶務部第二科ニ廻付スヘシ
- 第三十五條 患者全治退院スルトキハ患者全癒届ヲ作り前條ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第三十六條 自來患者及院内感染者ヲ診斷シタルトキハ傳染病診斷届ヲ患者死亡シタルトキハ死体檢定届ヲ作り前條ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第三十七條 治療ニ必要ノ器械等ヲ病室ニ渡シタルトキハ看護婦總取締若クハ取締ヨリ相當ノ證書ヲ徵スヘシ
- 第三十八條 患者ニ關スル統計ノ材料及醫療器械簿ヲ備フヘシ
- 第三十九條 醫長ハ傳染病ニ關スル細菌研究一切ノ責ニ任スヘシ
- 第四十條 傳染病研究科ニ屬スル醫員ハ醫長ノ指揮ニ從ヒ細菌檢査ニ從事スヘシ
- 第四十一條 傳染病研究科ニ屬スル醫員ハ嚴ニ消毒ノコトニ注意スルハ勿論左ノ各項ヲ遵守スヘシ
 - 一 細菌檢査ヲ行ヒタル器械類ハ使用後直ニ一定ノ消毒ヲ爲スヘシ
 - 一 病室ノ爲メ室内ノ汚染シタルトキハ直ニ二十倍石炭酸水又ハ千倍昇汞水ヲ以テ消毒スヘシ

ヲ主トスヘシ

- 第二十條 醫長及醫員ハ嚴ニ風紀ヲ守リ誠實懇篤ヲ以テ患者ヲ治療スヘシ
- 第二十一條 醫長ハ醫員調劑手ノ勤務成績ニ注意シ院長ノ參考ニ供スルコトヲ得ル準備アルヘシ
- 第二十二條 醫長ハ醫員ト共ニ時々患者食品ヲ實査シ且ツ賄所ヲ監視スヘシ但外來飲食物ハ其都度之ヲ點檢スヘシ
- 第二十三條 醫長及醫員ハ院内衛生ノコトニ注意シ豫防消毒等ニ不完全に認ムル廉アルトキハ庶務部ニ協議シテ其完全ヲ期スヘシ
- 第二十四條 醫長及醫員ハ時々小使以下消毒人掃除人洗濯人等ニ消毒法ノ大意ヲ教授スヘシ
- 第二十五條 入院患者アリタルトキ醫長若クハ醫員ハ直チニ初診斷所ニ於テ診察シ初診斷所諸看護婦ニ其收容スヘキ病室ヲ指揮スヘシ
- 第二十六條 庶務部第二科ヨリ患者送付狀ノ回付アリタルトキハ直チニ患者原簿ニ記入ノ上藥局原簿記入濟ノ印ヲ捺シ返付スヘシ
- 第二十七條 患者原簿ハ一部ヲ醫局ニ備ヘ付クヘシ
- 第二十八條 患者及隔離人回診ハ一日二回トス其時限ハ院長之ヲ定ム但臨時診察ハ此限リニアラス
- 第二十九條 患者ヲ診察シタルトキハ其都度症候其他診察上必要ノ事項ヲ病症日誌ニ記入スヘシ
- 第三十條 重症患者病勢増悪ノ報ニ接セハ先院長ニ之ヲ申告シ直ニ病室ニ至リ適宜ノ處置ヲ爲スヘシ
- 第三十一條 入院患者多數ノ爲メ又ハ臨時事故ニ因リ當直醫宿直員

- 一 試驗ヲ行ヒタル動物ノ死亡シ之カ檢査ヲ爲シタル後ハ必ず燒却ニ付シ解剖臺其他之ニ要シタル器械等ハ直チニ消毒ヲ爲スヘシ
 - 第四十二條 市内開業醫ヨリ求メラレタル細菌檢査ノ成績ハ醫長ヨリ院長ニ報告スヘシ
 - 第四十三條 細菌檢査ニ要スル物品ノ請求ヲ爲ストキハ醫長ノ承認ヲ受クヘシ
 - 第四十四條 細菌檢査ニ要スル器械類ハ各自之カ保存ヲ爲シ一定ノ場所ニ設置シテ決シテ散亂セシムヘカラス
 - 第四十五條 試驗ノ爲メ動物ヲ使用セントスルトキハ豫メ醫長ノ承認ヲ受クヘシ
 - 第四十六條 試驗器械簿試驗藥受拂簿動物現在簿ヲ備ヘ置クヘシ
- 第三章 藥局
- 第四十七條 調劑手ハ首席ヲ以テ藥局主任トシ調劑一切ノ責ニ任スヘシ
 - 第四十八條 藥局主任ハ藥局内ノ清潔及豫防消毒施行ノ責ニ任シ處方箋藥瓶等病室ヨリ持參セルモノニ對シテハ嚴ニ消毒ヲ施行スヘシ
 - 第四十九條 藥局主任ハ院内各所ニ配置スル消毒藥ニ注意シ常ニ闕乏ノ憂ナカラシムヘシ
 - 第五十條 調劑器具ハ一定ノ場所ニ設置シ決シテ混雜ノ憂ナカラシムヘシ
 - 第五十一條 病室ヨリ持參セル處方箋ハ一定ノ場所ニ於テ藥局主任之ヲ別紙ニ謄寫シ檢印ノ上調劑手ニ分配シ調劑ヲ爲サシムヘシ但

調劑手調劑了了ルトキハ其騰寫ノ處方箋ニ檢印シ一ケ年間藥局ニ保存スヘシ

第五十二條 藥品ハ醫局ノ處方箋ニヨルニ非ラサレハ單純ノモノト雖トモ授與スヘカラス

第五十三條 調劑器械簿藥品受拂簿滋養品受拂簿ヲ備ヘ置クヘシ

第五十四條 書記ハ首席ヲ以テ事務主任トシ庶務一切ノ責ニ任スヘシ

第五十五條 書記ハ一日數回院内ヲ巡視シ其取締ニ任スヘシ

第五十六條 第一科ニ屬スル事務左ノ如シ
一 病院及院長印保管
一 往復文書ノ起案及取扱
一 計算記録
一 物品ノ調度管理及不用物品ノ賣却
一 市立病院規則第十一條ニ關スル件
一 小使消毒人洗濯人ノ任免
一 他局科ニ屬セサル件

第五十七條 第二科ニ屬スル事務左ノ如シ
一 患者ノ入院退院
一 病室空席ノ調査
一 患者攜帶金品ノ取扱
一 汚穢シタル物品及汚穢ノ處分
一 各種ノ消毒

一 患者入院アリタルトキハ患者送附狀ヲ受取り入院證ヲ交付スヘシ
一 前項ノ手續了了レハ直ニ送付狀ニヨリ患者原簿ニ記入シ送付狀ニハ原簿記入済ノ印ヲ捺シ入院時刻及入院番號ヲ添記シ直チニ醫局ニ送付スヘシ但醫局ヨリ送付狀ノ返付アリタルトキハ之ヲ保存スヘシ
一 患者病室ニ入りタルトキハ其住所氏名職業年齡ヲ記シタル名標ヲ病室入口鴨居ニ掲クヘシ
一 醫局ヨリ全癒届ノ送付アリタルトキハ原簿ニ其月日時ヲ墨書シ退院ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十三條 病室空席ノ調査ハ一日數回各室ヲ巡視シ之ヲ帳簿ニ誌録シ何時タリトモ患者ノ收容ニ差支ナカラシムヘシ
第六十四條 患者攜帶金品ノ取扱ハ左ノ手續ニヨルヘシ
一 患者攜帶金品ハ入院ノ即時一々之ヲ患者攜帶金品保管用紙ニ記入シ其一片ヲ保管ノ證トシ患者若クハ自宅附添人ニ交付スヘシ但煩悶其敷力或ハ人事不省等ノ患者ニシテ自宅附添人ナキモノノ保管證ハ第二科ニ保存スヘシ
一 保管スヘキ物品ハ一々木製ノ名札ヲ付シ其裏面ニ入院番號ヲ記シ消毒ノ節彼此相混亂スルヲ防クヘシ
一 患者攜帶品ノ汚染甚敷再其用ニ堪ヘスト認メタルモノハ患者若クハ自宅附添人ニ申聞ケ焼却ノ手續ヲ爲シ其旨患者攜帶金品保管用紙ニ明記シ主任書記及事務主任檢印スヘシ但人事不省ノ患者ニシテ自宅附添人ナキモノハ其焼却ノ理由ヲ攜帶金品保管用

紙ニ明記シ書記檢印ヲ爲スコト又同シ
一 金銭時計其他貴重品ハ復患者攜帶金品及貴重品簿ニ記入シ事務主任立會封印シテ金庫ニ保管スヘシ
一 患者退院スルトキハ兼テ渡シ置キタル保管證ト現品ト照査ノ上返付スヘシ
一 死亡患者ノ遺族若クハ關係人ニ於テ攜帶金品ヲ請求シタルモノアルトキハ遺族若クハ關係人タルコト著明ナルモノハ外當該區役所ノ證明書ヲ徴シテ前項ノ手續ニヨリ之ヲ交付スヘシ
第六十五條 汚穢シタル物品及汚物ノ處分ハ左ノ手續ニヨルヘシ
一 書記ハ一日數回消毒人ヲ引連レ病室裏手ヲ巡視シ汚穢物品アルトキハ汚穢物品取下簿ニ記入シ即時消毒人ノ印ヲ徴シ未消毒物置場ニ取纏メシムヘシ
一 汚穢甚敷再ヒ其用ニ堪ヘシト認メタルモノ及汚物罐ニ溜リタル汚物ハ一日一回若クハ數回焼却場ニ於テ焼却スヘシ
一 患者攜帶品ヲ未消毒物置場ニ取下クルニハ消毒人ハ患者攜帶金品保管用紙ニ於ケル其物品欄ニ數ヲ照ラシテ捺印シ其取下ケヲ證スヘシ
一 看護婦ヨリ物品ノ汚穢甚敷直ニ處分ヲ要スル旨申告アリタルトキハ即時取片付ニ著手スヘシ

第六十六條 各種ノ消毒ハ概テ左ノ手續ニヨルヘシ但石炭酸水ハ二十倍ノモノ昇水水ハ十倍ノモノノ石灰乳ハ生石灰一分ニ水四分ヲ加ヘタルモノ加里石鹼水トアルハ加里石鹼三分熱湯百分ノモノ二十ニ對シ二十倍石炭酸水一分ヲ加ヘタルモノヲ云フ

第一 物品ノ消毒

- 一汚穢シタル物品ノ未消毒物置場ニ集リタルトキハ消毒人ナシテ蒸気消毒ニ付セシメ洗濯ヲ要スルモノハ洗濯場ヘ廻スヘシ
- 一前項洗濯済ノ物品ハ再ヒ消毒シ消毒人ニ於テ消毒洗濯仕上簿ニ記入シ第一科ヲ經テ倉庫ニ納ムヘシ
- 一患者ノ携帶品ハ總テ消毒シ患者携帶金品保管用紙ニ照シテ點檢ハ上既消毒倉庫ニ保管スヘシ
- 一物品ノ蒸気消毒ニ付スルヲ得サルモノハ適宜昇汞若クハ石炭酸水ヲ以テ消毒スヘシ
- 一確穢蒲團等吐瀉物ニ汚染シテ蒸気消毒ニ付スル能ハサル場合ニハ一定ノ容器ニ於テ六時間以上石炭酸水ニ漬シタル後洗濯セシムヘシ
- 一病室ヨリ持參セル書信及紙幣ノ類ハ輕便消毒器ニテ消毒シ書信ハ消毒済ノ印ヲ捺シ發送スヘシ
- 一病室ニ關係アルモノヨリ受取ル金錢ハ菰ヲ以テ直ニ石炭酸水ニ漬シ消毒スヘシ
- 一病室ニ關係アルモノ及之ニ近接スル者ノ食器ハ洗滌前ニ食器消毒所ニ於テ煮沸スヘシ
- 一前項以外ノ食器ハ賄所ニ備フル食器消毒釜ニテ煮沸スヘシ
- 一患者ノ食器ハ其用ヒタル都度病室備付ノ食器消毒釜ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スヘシ
- 一消毒ニ用ヒタル湯ハ再ヒ煮沸シテ棄却スヘシ

第二 人体ノ消毒

一溝渠ハ時々石灰乳ヲ撒布シ溝渠ノ溜リ及便壺ハ石灰乳ヲ入レテ能ク攪拌シ其周圍ハ石灰乳ヲ撒布スヘシ

第六十七條 患者ニ關スル諸報告及通知ハ左ノ如シ

- 一但電話ヲ以テ通知スルモノハ電話用紙簿ニ記載シ事務主任ノ檢印ヲ受ケ發信スヘシ
- 一毎朝前日午前六時ヨリ當日午前六時迄ノ入院轉歸ノ患者氏名ヲ取調ヘ警察部ヘ報告スヘシ
- 一但其報告ニハ入院全治死亡ノ日計通計及現在數ヲ添記スヘシ
- 一前項時間内ニ於ケル患者ノ轉歸ヲ毎朝關係區役所ニ通知スヘシ
- 一但醫局ヨリ廻付スル處ノ全治死亡死体檢定届ヲ添附スヘシ
- 一自來患者アリタルトキハ醫員ノ診斷届ヲ添ヘテ關係區役所ニ報告シ院內感染者アリタルトキハ其診斷届ヲ本院所在ノ村役場ニ廻付スヘシ

第六十八條 死亡患者及遺骨券ノ取扱ハ左ノ手續ニヨルヘシ

- 一死体ヲ病室ヨリ片付クルニハ二十倍石炭酸水若クハ千倍昇汞水ヲ以テ充分ニ消毒シタル上同石炭酸水ニ漬シタル布片ヲ以テ全体ヲ覆フヘシ
- 一屍体ヲ屍室ニ入レタルトキハ面部ニ白布ヲ覆ヒ其氏名票ヲ位牌ニ貼附シ香花ヲ供スヘシ
- 一死亡患者ノ遺族若クハ關係人ヨリ面會ヲ申出タルトキハ書記立

- 一人体ノ消毒ハ左ニ列記ノ場合ニ加里石鹼水ヲ以テ頭髮ヲ洗ヒ身体ヲ拂拭シタル後入浴シテ消毒済若クハ病室汚染ノ憂ナキ衣服ニ著換ヘシムヘシ其入浴シ能ハサルモノニハ特ニ拂拭ニ注意スヘシ
- 一但加里石鹼水ニ換フルニ四十倍石炭酸水ト石鹼ヲ以テスルモ妨ケナシ
- 一患者ノ全癒室ニ移ルトキ
- 一全治患者ノ退院スルトキ
- 一附添人ノ隔離室ニ移ルトキ
- 一隔離人ノ退院スルトキ
- 一看護消毒人洗濯人ノ外出スルトキ
- 一患者護送人夫ノ病院ヲ引取ルトキ
- 一病室ニ關係アルモノ及之ニ近接スルモノ、其關係ヲ終リタルトキ

- 一未消毒物ヲ取扱ヒタルモノ、其事ヲ終リタルトキ此他病室汚染ノ憂アルモノ
- 第三 室内及溝渠便所等ノ消毒
- 一室内消毒ハ患者他ニ移リタルトキ石炭酸水若クハ昇汞水ヲ以テ戸障子羽目等ニ撒布スルカ或ハ能ク拂拭シ場合ニヨリ床板及床下ヲモ消毒スヘシ其床下ハ石灰乳ヲ以テス
- 一但疊ハ石炭酸水ヲ以テシ消毒後能ク日光ニ曝乾スヘシ
- 一隔離人ノ病ヲ發シ病室ニ移シタルトキ其他病室汚染ノ憂アル室内亦同シ

- 一會面會セシムヘシ
- 一死体ヲ火葬場ニ送リタルトキハ必ス遺骨券ヲ受取り遺骨券簿ニ其入院番號氏名ヲ明記シ保管スヘシ
- 一死亡患者ノ遺族若クハ關係人ヨリ遺骨ヲ請求シ來リタルトキハ遺骨券ヲ交付シ遺骨券簿ニ記名調印セシムヘシ

第六十九條 隔離人ノ取扱ハ左ノ手續ニヨルヘシ

- 一虎列拉病患者ノ附添人ニシテ附添ヲ罷ムルカ若クハ其患者ノ死亡シタルトキハ其氏名ヲ隔離人名簿ニ記入シ人体消毒ヲ施シテ隔離舍ニ收容シ其氏名ヲ醫局ニ通知スヘシ但隔離ノ期限ハ滿五日間トス
- 一隔離室入口ノ鴨居ニハ隔離人ノ氏名ヲ記シタル名標ヲ掲グヘシ
- 一隔離人期限滿ツルトキハ醫局ニ通知シテ特ニ身体檢案ヲ求ムヘシ
- 一身体檢案ノ済ミタルモノニハ隔離人消毒場ニ於テ人体消毒ヲ施シ隔離執行ノ證ヲ付與シテ退院セシムヘシ
- 一虎列拉患者ニ非ラサルモノ、附添人ト雖トモ醫局ニ於テ隔離ノ必要ヲ認メタルモノハ相當ノ期間隔離舍ニ入レ前各項ノ手續ヲ爲スヘシ

第七十條 市立病院規則第十條及汚穢シタル物品ノ焼却ハ左ノ手續ニヨルヘシ

- 一市立病院規則第十條ノ燒却ヲ爲ストキハ患者携帶金品保管用紙ニ何月何日規則ニヨリ燒却ノ旨ヲ記シ主任書記檢印シ更ニ規則第十條燒却簿ニ品名數量及携帶者ノ氏名等ヲ詳記シ事務主任ヲ

經テ院長ノ檢印ヲ受ケ燒却スヘシ

但其品名數量携帶者ノ氏名等ハ毎月初メ二前月分ヲ警察部ニ報告スヘシ

一物品ノ汚穢甚敷再ヒ其用ニ供スヘカラサルモノハ其汚穢シタル理由數量品名等ヲ詳記シ院長ノ指揮ヲ得テ財産原簿ヲ訂正シ燒却ニ付スヘシ

一前項ノ燒却ニ付シタルモノハ其都度市參事會ニ報告スヘシ

第七十一條 庶務部第一科ニハ醫員ノ在宅當番順簿ヲ備ヘ醫局ノ通知ニヨリ之ヲ整理シ置クヘシ

第七十二條 庶務部第二科ニハ患者氏名伊呂波分簿ヲ備ヘ置キ患者ノ入院番號氏名ヲ記入シ轉歸アリタル都度之ヲ訂正スヘシ

第五章 宿直及當直

第七十三條 各局部ニ一名ツ、ノ宿直ヲ置キ臨時ノ處理ヲ爲サシム

第七十四條 休日ハ當直ヲ置キ其日ノ事務ヲ處理セシム

第七十五條 當直ハ前夜宿直ノモノト其夜宿直ノモノト當日正午十二時ヲ以テ交代勤務スヘシ

第七十六條 宿直當直ニ於テ臨時處理シタル事件ハ翌朝之ヲ院長ニ開陳スヘシ

第七十七條 宿直當直ハ治療其他院務ニ差支ナキ限り各局部相兼攝スルコトヲ得

第七十八條 多數ノ入院患者一時ニ集リ院長ニ協議ヲ經ヘキ必要アルカ或ハ不時事變アリタル場合ニハ直ニ之レヲ院長ニ通報スヘシ

第七十九條 患者ノ入院多數又ハ臨時事故ニヨリ醫員ノ補助ヲ要スル

品ノ保管ノ責ニ任スヘシ

第九十一條 前條ノ器械物品ハ安リニ他室ト交換スヘカラス

第九十二條 器械物品ヲ破損シタルトキハ取締及總取締ヲ總テ其理由ヲ醫局若クハ庶務部ニ申出テ場合ニヨリテハ辨償ノ責ニ任スヘシ

第九十三條 病室ニ於テ汚染シタル物品ハ二十倍石炭酸水ヲ以テ消毒ノ上散亂若クハ曝露セサル機病室戸棚ニ入レ置クヘシ其汚染甚敷直ニ處分ヲ要スルト認メタルモノハ即時庶務部第二科ニ申出ヘシ

第九十四條 患者ノ殘シタル食物ハ各室毎ニ二十倍ノ石炭酸水ヲ灌キ汚物罐ニ入レ決シテ他所ニ出スヘカラス

第九十五條 患者ノ糞便吐瀉物ハ容器ニ受ケ其ノ都度消毒ノ上汚物罐ニ移シ容器モ直ニ消毒スヘシ

第九十六條 屍体ハ屍室ニ取下クル前ニ於テ其孔穴部ニ二十倍石炭酸水ニ漬シタル綿ヲ填充シ汚物ノ外部ニ流出スルヲ防クヘシ

第九十七條 毎月二回以上病室内外ヲ掃除シテ常ニ清潔ヲ保持スヘシ

第九十八條 病室煉瓦通路ハ一日一回二十倍ノ石炭酸水ヲ散布シ廊下ハ同ク千倍ノ昇水水ヲ以テ拂拭スヘシ但病室ノ座埃ハ之ヲ容器ニ受ケ一定ノ場所ニ取除ケ病室外ニ散亂セシムヘカラス

第九十九條 夜間ハ病室ノ火元ニ注意シ疎虞ノコトナカラシムヘシ
第一百條 看護婦病室ニ在テハ本院備付ノ豫防服ヲ着用スヘシ但休憩時間中私服ヲ着用シタルトキハ必ス廣帯ヲ爲スヘシ

ルトキハ在宅當番順ニヨリ出勤ノ請求ヲ爲スヘシ

但此場合ニハ其事由ヲ院長ニ通報スヘシ

第八十條 當直醫員ノ回診ハ朝夕二回トス
第八十一條 當直宿直ノ醫員ハ特ニ病室ノ整理ニ注意シ宿直醫員ハ午後一回夜間一回患者ノ景況ヲ巡視シ看護ノ如何ヲ監視スヘシ

第八十二條 重症患者若クハ在院患者多數ノ場合ニ在テハ醫局ニ二名ノ當直宿直ヲ置クコトアルヘシ

第六章 看護婦

第八十三條 看護婦中看護總取締ヲ置キ看護婦全体ヲ取締ラシムヘシ

第八十四條 各病室ニ看護婦取締ヲ置キ各病室看護ノ責ニ任セシムヘシ

第八十五條 總取締及各室取締ハ時宜ニ依リ正副ヲ置クコトアルヘシ

第八十六條 總取締ハ看護婦全体前日勤務時間日表ヲ製シ毎朝之ヲ庶務部第一科ニ差出スヘシ

第八十七條 各室取締ニ於テ看護婦若クハ附添人ニ不都合アリト認メタルトキハ看護婦ノ總取締ニ申告スヘシ

第八十八條 總取締ハ院長醫長回診ノ節隨從スヘシ

第八十九條 各室取締及看護婦ハ常ニ病室ニ在テ看護ノ事ニ從ヒ定規ノ時間ヲ以テ交代スヘシ但交代ニ非シテ故ナク其室ヲ去ルヘカラス

第九十條 各室取締ハ醫局ヨリ預リタル醫療器械及病室備付ケノ物

第一百一條 看護婦病室ニ在テハ飲食等ヲ爲スヘカラス

第一百二條 患者及附添人ヨリ信書ノ發送ヲ託セラレタルトキハ庶務部第二科ニ持參スヘシ但看護婦ノ書信モ同科ニ於テ消毒スヘシ

第一百三條 看護婦ハ人体消毒ヲ施スニ非サレハ外出スルヲ得ス

第一百四條 看護婦ノ外出スルトキハ醫局ノ承認ヲ得庶務部第二科ニ於テ消毒済ノ票ヲ受ケ庶務部第一科ニ申告シ歸院ノトキ又醫局及庶務部第一科ニ申告スヘシ

第一百五條 看護婦ノ來訪人ニ面會スルニハ庶務部指定ノ場所ニ於テスヘシ

附則

第一百六條 此細則ハ各分病院開設ノ場合ニ之ヲ適用スヘシ各分病院ニハ庶務部第一科第二科ヲ置カサルコトアルヘシ

● 桃山病院消毒場消毒方法及實費辨償規程

明治卅三年三月七日
大阪市告示第一九號
市立桃山病院ニ於テ明治三十三年三月十日ヨリ左ノ方法ヲ以テ個人ノ依頼ニ係ル物品ノ消毒ヲ實施ス
大阪市立桃山病院消毒場消毒方法實費辨償規程

第十六類 衛生

- 四 救急處置
 - 五 傳染病大要
 - 六 消毒法大要
 - 七 治療介輔
 - 八 手術介輔
 - 九 繃帶術大要
 - 十 衛生學大意
- 第九條 見習看護婦修業中ハ二ヶ月毎ニ試験ヲ行ヒ學期ノ終リニ於テ試験ノ上其成績ヲ考查ス
- 第十條 見習看護婦ニシテ修業ヲ了リタルモノハ左ノ修業證書ヲ授與ス

修業證

大阪府(士族平民等)

何 某

生年月日

本院所定ノ看護學課程ヲ卒リタルコトヲ證ス

年月日

大阪市立桃山病院職員

姓名 名印

大阪市立桃山病院長

姓名 名印

第何號

第十一條 見習看護婦修業中ハ日給貳拾五錢以内ヲ支給ス

第十二條 見習看護婦ハ本院ニ寄宿セシム

第十三條 見習看護婦修業後看護婦ノ辭令ヲ交付シタルトキハ滿二

ケ年間勤務ニ服スヘキモノトス

第十四條 見習看護婦品行不正ニシテ風紀ヲ紊スモノ又ハ規程ニ違背スルコト再三ニ及ヒ改悛ノ狀ナキモノ若クハ學術修熟ノ見込ナキモノハ其職ヲ免スヘシ

市立大阪桃山病院長事

務取扱規程

明治四十一年四月廿日

廳達 第二一九號

市立大阪桃山病院長事務取扱規程左ノ通相定メ明治二十九年四月大阪市訓令參第十八號避病院費其取扱概則ハ之ヲ廢止ス

市立大阪桃山病院長事務取扱規程

第一條 病院長ハ副院長其他職員以下ノ進退賞罰及市外出張ニ關スル事項ニ付テハ意見ヲ具シ之ヲ上申スヘシ

第二條 建物新築改築又ハ模様替ヲ要スルトキハ圖面ヲ添ヘ計畫ニ關スル意見ヲ具シ上申スヘシ

第三條 左ノ事項ハ必要ノ都度衛生課ヲ經テ建物ノ修繕ハ土木課ニ其他ハ經理課ニ請求スヘシ

- 一 建物ノ修繕ニ關スル事項
- 二 物品ノ購入又ハ修繕ニ關スル事項
- 三 不用品ノ賣却ニ關スル事項

七 職員以下給料渡原簿

八 患者費用明細簿

第七條 病院長ハ會計事務整理上必要ナル規定ヲ設ケ市參事會ノ認可ヲ受クヘシ

急施ヲ要スル建物ノ修繕ニシテ一廉金五拾圓未滿ノモノ及ヒ急遽

必要ノ場合ニ際シ一廉金拾圓未滿ノ物品購入若クハ其修繕又ハ見積價格拾圓未滿ノ不用品賣却ハ病院長ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得但此場合ニ於テハ其月分ノ專行事項ヲ翌月五日迄ニ報告スヘシ

第四條 患者賄、送葬人夫其他需用品ニシテ一定ノ請負人ヲ定メム

トスル場合ハ請負契約締結上必要ノ事項ヲ具シ衛生課ヲ經テ經理課ニ申出ツヘシ

第五條 左ノ事項ハ病院長之ヲ專行シ三日以内ニ報告スヘシ但第四

號ノ專行事項ハ其月分ヲ取纏メ翌月五日迄ニ報告スルコトヲ得

一 雇員及給仕小使ノ進退ニ關スル事項

二 常備夫(消毒人、牧夫、火夫)及臨時雜役人夫ノ使役ニ關スル事項

三 職員ノ市内出張ニ關スル事項

四 火葬申込ニ關スル事項

第六條 病院長ハ會計事務整理ノ爲メ左ノ帳簿ヲ備ヘ其出納ノ事績

並ニ現在高ナ明ニスヘシ

- 一 財産原簿
- 二 備品明細簿
- 三 消耗品藥品受拂簿
- 四 入院料出納簿
- 五 入院患者携帶金品出納簿
- 六 經費豫算差引簿

第十六類 衛生

第六章 葬儀所 墓地

●市立葬儀所規則

明治四十年八月八日
規則 第三號

第一條 市立葬儀所ハ葬儀及埋火葬並ニ死鳥獸類ノ焼却ニ關スル一切ノ事務ヲ處理ス但死鳥獸類ノ焼却ハ特ニ其設備アル場所ニ限リ之ヲ取扱フ

第二條 市立葬儀所ノ名稱及位置ヲ定ムルコト左ノ如シ但市立岩崎葬儀所ニ於テハ埋火葬ヲ取扱ハス

名 稱 位 置

市立岩崎葬儀所 大阪市西區岩崎町

市立天王寺葬儀所 大阪府東成郡天王寺村

市立長柄葬儀所 大阪府西成郡豐崎村大字北長柄

市立浦江葬儀所 大阪府西成郡鷺洲村大字浦江

第三條 市立葬儀所ニ管理者其他必要ノ職員ヲ置ク

第四條 管理者ハ所内一切ノ事務ヲ管理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第五條 市立葬儀所細則ハ市參事會之ヲ定ム

●外國人墓地規則

明治卅七年五月卅日
大阪市告示第三二號

本市會ノ議決ヲ經テ外國人墓地規則ヲ定ムルコト左ノ如シ但使用料ノ設定ニ付テハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケタリ

外國人墓地規則

第一條 外國人ノ爲メ特ニ設置シタル墓地ハ大阪市役所ノ主管スル處トス

第二條 墓地ノ清掃修補ヲ監督セシムル爲メ墓地管理者若干名ヲ置ク

第三條 墓地ノ圖面ハ大阪市役所ニ於テ之ヲ保管シ空地ハ圖面上每區ニ記號番號ヲ記入スルモノトス空地ハ縱八尺横五尺ヲ以テ一個トス

第四條 埋葬ノ爲メ空地ヲ要スルトキハ死者緣故ノ者ヨリ死者ノ國籍年齡最終ノ居住所及埋葬時刻ヲ詳記シ且空地ノ位置並ニ個數ヲ指定シ大阪市役所ヘ願出テ空地使用券ヲ受取ルヘシ

但一死体ニ付五空地以上ノ使用ハ許可セサルモノトス

第五條 埋葬セントスル者ハ左ノ割合ニヨリ料金ヲ納ムヘシ

但一死体ニ對スル穴堀料ヲ含蓋ス

- 一 空地 拾五圓
- 二 空地 參拾參圓
- 三 空地 五拾五圓

四 空地 九拾參圓

五 空地 百四拾參圓

第六條 大阪市長ハ貧困者ニ對シ右料金ヲ減少シ若クハ全免スルコトアルヘシ

第七條 大阪市長ハ送葬ノ際何宗ノ僧侶タルヲ問ハス其立會ニ關シテハ一切其責ニ任セス死者親戚ニ於テ立會ヲ請ハントスルモノハ直接ノ引合ヲ爲スヘシ

附 則

第八條 大阪市内舊外國人墓地ニ埋葬シアリシ死屍ヲ移葬スルトキ

ハ第五條ノ料金ハ徵收セス

但穴堀料ハ移葬者ノ自辨トス

第七章 屠場

●市立大阪屠場規則

明治四十三年七月廿九日
大阪市規則第二號

本市會ニ於テ市立大阪屠場規則ヲ議決シ市制第二百二十三條ニ依リ大阪府參事會ノ許可ヲ請ケ左ノ通之ヲ定ム

市立大阪屠場規則

第一條 本市ニ屠場ヲ設置シ其位置及名稱ヲ定ムルコト左ノ如シ

位置 大阪市西區南恩加島町地先埋立地内

名稱 市立大阪屠場

第二條 市立大阪屠場ハ獸畜ヲ屠殺解體スル爲使用セシムルモノトス

尙前項ノ外血液ノ化製ニ關スル業務ヲ行フ

第三條 市立大阪屠場ニ左ノ職員ヲ置ク

場長 一名

書記 若干名

技手 若干名

書記補 若干名

第四條 場長ハ場内一切ノ事務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第五條 書記ハ場長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第六條 技手ハ場長ノ指揮ヲ承ケ作業ニ従事ス

第七條 書記補ハ場長ノ指揮ヲ承ケ作業及庶務ヲ補助ス

第八條 市立大阪屠場細則ハ市參事會之ヲ定ム

第八章 雜

●衛生事務講習會規定

明治四十一年九月七日
市參事會 議決

第一條 本市ニ衛生事務講習會ヲ設置シ本市職員ヲシテ衛生事務ノ

一般ヲ講習セシム

但場合ニ依リテハ本市職員以外ノ者ヲモ入會セシムルコトアル

ハシ

第二條 本會ハ市立大阪衛生試驗所ノ附屬トシ經費ハ市費ヲ以テ之

ヲ支辨ス

第三條 本會ノ講師及書記ハ衛生試驗所職員ヲ以テ之ニ充ツ但衛生

試驗所職員ヲシテ之ニ充ツルコト能ハサル場合ハ此ノ限ニアラス

第四條 本會ノ講習科目左ノ如シ但時宜ニ依リ變更スルコトアルハ

シ

一 衛生學

一 傳染病論附細菌學

一 傳染病豫防消毒法

一 衛生統計

一 衛生法規

第五條 本會ハ講習期間ヲ三ヶ月トシ時期及授業時間ハ其都度之ヲ

定ム但必要ニ依リ講習期間ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第六條 本會講習人員ハ每期參拾名以内トシ必要ニ依リ増員スルコ

第十六類 衛生

トナ得

第七條 本會講習員ハ本市職員中衛生事務ニ従事スル者及將來從事

セントスル者ニシテ各課長又ハ區長ノ推薦ニ據リ所長ヲ經由シテ

市長之ヲ許可ス

前項ノ外本會ノ講習ヲ受ケントスル者ハ所長ヲ經由シテ市長ノ許

可ヲ受クヘシ

第八條 講習員ニシテ止ムヲ得サル事故ニ由リテ退會セントスルト

キハ推薦者ノ證明ヲ得所長ヲ經由シテ市長ニ願出ツヘシ

第九條 講習員ニシテ本會ノ規定ニ背キ其他本會ノ講習ニ障害トナ

ルヘキ所爲アルトキ又ハ修了ノ見込ナキ者ハ所長ハ其旨ヲ市長ニ

具申シ其認可ヲ受ケ停學若クハ退會ヲ命スルコトアルヘシ

第十條 講習期滿了シタルトキハ試驗ノ上合格者ニ講習證書ヲ授與ス

第十一條 本會ノ講習證書ヲ有スルモノハ本市書記任用試驗科目中

選擇科目ニ就テ試験ノ免除ヲ求ムルコトヲ得

但本條ノ場合ニ於テハ選擇科目ノ得点ハ講習試驗得点ヲ以テ之

ニ代フ

第十二條 本市職員ニシテ講習試驗ニ合格シ其成績優等ナルモノニ

對シテハ特ニ之ヲ賞與ス

附 則

第十三條 本會ノ細則ハ市長ノ認可ヲ得テ所長之ヲ定ム

衛生事務講習會細則

明治四十一年九月七日
市長 決定

第一條 衛生事務講習會ノ開設時期及期間ノ伸縮ハ決裁ヲ經テ所長
之ヲ定ム

第二條 各課長及區長ハ本會ニ加入セシメムトスル者ヲ推薦シ開期
ヨリ十日以前ニ之ヲ所長ニ通知スヘシ

本市職員以外ノ者ニ在テハ入會願書(第一號書式)ニ本人自筆ノ
履歷書ヲ添ヘ所長ヲ經由シ市長ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 講習期間ハ每週八時間トシ授業開始時間ハ其都度所長之ヲ
定ム

第四條 講習科目及時數ハ左ノ如シ

科	程	每週教授時數
衛生學	貳時	間
傳染病論附微菌學	壹時	間
傳染病豫防消毒法	壹時	間
衛生統計	貳時	間
衛生法規	貳時	間

第五條 講習員ニシテ開席セントスルトキハ其事由ヲ詳記シ授業時

間前ニ所長ニ届出ツヘシ

第六條 講習期滿了セシトキ講習ハ其ノ擔當科目ニ就キ試験ヲ執行
ス其採點法ハ一科目毎ニ百點ヲ以テ滿點トシ一科目五十點以上總
科目平均六十點以上ヲ以テ合格點トス

第七條 講習證書ハ第二號書式ニ據ル
(第一號書式)

市立大阪衛生試驗所衛生事務講習會入會願書

原籍地
現住所
族籍及職業

何之某
年月日生

私儀今般市立大阪衛生試驗所衛生事務講習會へ入會致度入會ノ上
ハ御規則堅ク相守リ可申ハ勿論講習修了致候上ハ本市衛生上ノ發
達普及ニ盡力可仕候ニ付右御許可相成度履歷書相添へ此段願上候
也

明治年月日

右何之某團

大阪市長名宛

(第二號書式)

講習證書

府縣族籍

何某

右ハ市立大阪衛生試驗所規定ノ第 回衛生事務講習ヲ修了セリ
仍テ茲ニ之ヲ證ス

明治年月日

衛生學 講師 職 氏 名 〇

傳染病學 講師 職 氏 名 〇

以下倣之

市立大阪衛生試驗所長 氏 名 〇

市立大阪衛生試驗所長 何某ノ證明ヲ認了ス

大阪市長 氏 名 〇

第 號

公共便所及塵芥蒐集場ニ廣告
揭示ノ爲工作物施設ニ關スル

明治四十二年七月二十三日
市會 議 決

本市公共便所及塵芥蒐集場ニ廣告揭示ノ目的ヲ以テ工作物ノ施設ヲ
出願スル者アルトキハ市參事會ハ相當條件ヲ附シ之ヲ許可スルコト
ヲ得

第十七類 電氣

●電氣鐵道車掌及運轉手身元保證ニ關スル件

明治四十二年八月六日 廳達 第二二五號

明治三十八年三月八日市參事會決定電氣鐵道車掌及運轉手身元保證金納付方及明治四十年三月二十八日市參事會決定電氣鐵道車掌運轉手身元保證金分納方ヲ廢止シ電氣鐵道車掌運轉手身元保證ニ關スル件左ノ通相定ム

電氣鐵道車掌運轉手身元保證ニ關スル件

電氣鐵道車掌運轉手身元保證金ハ金拾圓トシ其徵收方ハ見習ニ採用ノ際金五圓ヲ納付セシメ殘額金五圓ハ本務ニ採用ノ際納付セシム
電氣鐵道車掌運轉手ハ左記ノ誓約書ヲ提出スルコトヲ要ス
(誓約書略ス)

●電氣鐵道乘車賃金

明治四十四年十二月二十八日 大阪市告示第七十九號

本市電氣鐵道乘車賃金左ノ通改正シ明治四十五年一月十二日ヨリ之ヲ施行ス

第十七類 電氣

- 一 均一賃金四錢
但五歳未満ハ無賃トス
- 一 時間割引 毎日午前五時ヨリ全七時迄普通賃金ノ半額
但十一月一日ヨリ翌年二月末日ニ至ル間ハ尙午前七時ヨリ全八時迄運轉車輛數ノ半額ヲ半額トス
- 一 回数乘車券賃金 五拾錢
拾五回分 壹圓
- 一 團體乘客等ニ對シテハ相當割引ヲ爲スコトアルヘシ

●電力供給規程

明治四十四年一月二十五日 大阪市告示第五號

本市會ノ議決ヲ經タル電力供給規程左ノ通相定ム

電力供給規程

- 第一條 大阪市ハ本規程ニ依リ其ノ施設ニ係ル電力ヲ供給スルモノトス但シ点燈ヲ目的トスル電力ハ之ヲ供給セス
- 第二條 電力供給區域ハ大阪市内トス
- 第三條 電力ノ供給ヲ受ケムトスル者ハ別ニ定ムル様式ニ依リ本市ニ申出テ其ノ承諾ヲ受ケヘシ其ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
- 第四條 本市ノ既設電力線路ヨリ變壓器ニ至ル設備ハ本市ノ負擔トス但シ三「キロワット」ニ付二百間ノ割合ヲ超ユル電力線路ノ新設

第十七類 電 氣

五七二

ヲ要スル場合ハ此ノ限ニアラス

第五條 變壓器ヨリ電力使用場ニ至ル電線路ノ施設並電力使用場ニ要スル機械器具其ノ他附屬品及工事費ハ電力使用者ノ負擔トス其ノ修繕變更ノ場合亦同シ

第六條 電力使用場構内ニ施設スル電氣工作物ハ本市ノ検査ヲ受クルコトヲ要ス

第七條 電動機及之ニ要スル電線並附屬品(基礎ヲ除ク)ハ左ノ料金ヲ以テ貸與スルコトアルヘシ

容	量	貸 與 料 金 月 額
半 馬	力	金 四 圓
一 馬	力	金 六 圓 五 拾 錢
二 馬	力	金 七 圓 五 拾 錢
三 馬	力	金 八 圓 五 拾 錢
五 馬	力	金 拾 圓
七 馬	力	金 拾 壹 圓 五 拾 錢
十 馬	力	金 拾 貳 圓 五 拾 錢
十 五 馬	力	金 拾 四 圓

二 十 馬 力 金 拾 五 圓

第八條 貸與料ハ貸與ノ日其ノ月ノ十五日以前ナルトキハ全額ヲ徵收シ十六日以後ナルトキハ半額ヲ徵收ス返還ノ日其ノ月ノ十五日以前ナルトキハ半額ヲ徵收シ十六日以後ナルトキハ全額ヲ徵收ス

第十條 貸與品ヲ毀損シ又ハ滅盡シテ損害ヲ及ホシタルトキハ電力使用者ハ之ヲ賠償スヘキモノトス但シ電力使用者ノ責ニ歸スヘカラサル場合ハ此ノ限ニアラス

電動機ヲ取替ヘタル月ノ貸與料ハ其ノ馬力數ノ大ナルモノニ準シ之ヲ徵收ス

第十一條 電力使用者ハ本市ノ承諾ヲ得シテ電力使用場構内ノ電氣工作物ノ變更新設修繕其ノ他電氣的設備ニ關係ヲ及ホスヘキ設備ヲ爲スコトヲ得ス

電動機ノ新設増設又ハ返還ノ場合ニ於テハ各其ノ工費トシテ別ニ貸與料月額相當ノ金額ヲ徵收シ位置ノ變更又ハ取替ノ場合ニ於テハ各其ノ工費トシテ貸與料月額ノ半ニ相當スル金額ヲ徵收ス

第十二條 本市ハ電力使用者ノ負擔ニ屬スル電氣的設備ニ付其ノ變更又ハ修繕ノ必要ヲ認ムルトキハ電力使用者ノ負擔ヲ以テ變更修繕ヲ爲サシムヘシ

第九條 貸與ノ承諾ヲ受ケタル者ハ直接國稅年額拾圓以上ヲ納付シ本市内ニ住居スル保證人二名以上ノ連署ヲ爲シタル證書又ハ本市ノ指定シタル保證金ヲ差出スモノトス

第十三條 電力使用料ヲ定額及從量ノ二種トシ左ノ如ク徵收ス但シ使用期間連續四ヶ月以上ノモノニ限ル

一 定 額 使 用 料

容	量	使 用 時 間 午 前 六 時 ヨリ 午 後 六 時 マテ 又 ハ 午 後 六 時 ヨリ 午 前 六 時 マテ 月 額 使 用 料	使 用 時 間 午 前 六 時 ヨリ 翌 日 午 前 六 時 マテ 晝 夜 月 額 使 用 料
半 馬	力	金 八 圓	金 拾 參 圓
一 馬	力	金 拾 參 圓	金 貳 拾 參 圓

第十七類 電 氣

五七三

二	馬	力	金 貳 拾 五 圓	金 四 拾 五 圓
三	馬	力	金 參 拾 七 圓	金 六 拾 七 圓
五	馬	力	金 五 拾 六 圓	金 百 圓
七	馬	力	金 八 拾 圓	金 百 四 拾 五 圓
十	馬	力	金 百 圓	金 百 八 拾 圓
十	馬	力	金 百 五 拾 圓	金 貳 百 七 拾 圓
二十	馬	力	金 貳 百 圓	金 參 百 六 拾 圓

二 從量使用料

所用變壓器ノ總容量ニ對シ一ヶ月ノ使用電力量ノ比	壹百時未滿又ハ全ク使用セサルトキ	壹百時以上	貳百時以上	三百時以上	五百時以上
變壓器ノ總容量	壹ヶ月ニ付	時「キロワット」ニ付	全	全	全
三「キロワット」未滿	金 八 圓	金 八 錢	金 六 錢	金 五 錢 五 厘	金 五 錢
三「キロワット」以上	金 七 圓	金 七 錢	金 五 錢 五 厘	金 五 錢	金 四 錢 五 厘

十五「キロワット」以上	金 七 圓	金 六 錢	金 五 錢	金 四 錢 五 厘	金 四 錢
-------------	-------	-------	-------	-----------	-------

第十四條 第七條ノ貸與ヲ受ケサル電力使用者ニ對シテハ從量使用料ヲ徵收ス

第十五條 電動機ノ新設増設又ハ再用ノ場合ニ於ケル定額使用料ハ其ノ使用開始ノ日其ノ月ノ十五日以前ナルトキハ全額ヲ徵收シ十六日以後ナルトキハ半額ヲ徵收ス

第十六條 電動機ノ返還又ハ使用停止ノ場合ニ於ケル定額使用料ハ其ノ使用終了ノ日其ノ月ノ十五日以前ナルトキハ半額ヲ徵收シ十六日以後ナルトキハ全額ヲ徵收ス

第十七條 機械又ハ電線路ノ故障其ノ他不可抗力ニ起因スル送電中止ノ爲ニ生スル損害ハ本市其ノ責ニ任セス但シ申止時間ニ時間以上連續シタル場合ハ定額使用料ヨリ其ノ時間ニ相當スル金額ヲ減少スルモノトス

第十八條 本市ハ時々係員ヲ派遣シ電力使用場内ニ於ケル電氣工作物ノ監査並電力使用ノ實況ヲ点檢セシム此ノ場合ニ於テ電力使用者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十九條 本市ノ承諾以外ニ涉リ電力ヲ使用シタル者ニ對シテハ本市ノ認定ヲ以テ使用料ヲ增徴スルコトアルヘシ

第二十條 電力使用者ノ都合ニ依リ連續シテ四日以上使用ヲ休止スルモノトス

第二十一條 電力使用者ハ電氣工作物ニ異狀又ハ故障アルコトヲ發見シタルトキハ直ニ本市電氣鐵道課ニ報告スヘシ

第二十二條 左ノ場合ニハ本市ハ送電ヲ停止スルコトアルヘシ但シ此ノ場合ト雖其ノ月分ノ使用料ハ第十三條及第十五條ニ依リ之ヲ徵收ス

一 本規程ニ定ムル料金ヲ滯納シタルトキ

二 第三條、第十一條及第十八條ニ抵觸シタルトキ

三 第十條及第十二條ノ義務ヲ怠リタルトキ

第二十三條 官廳及公衙其ノ他公共事業又ハ公益ヲ目的トスル事業ニ電力ヲ供給スルトキハ貸與料及使用料ヲ減額シ又ハ無料ト爲スコトヲ得

第二十四條 電力使用者ハ其ノ代理人使用人其ノ他ノ從業者カ電力使用ニ關シ本規程ニ違背シタルトキト雖其ノ責ヲ免ル、コトヲ得ス

第二十五條 第六條ノ檢査ノ方法及第十三條ノ馬力及所用變壓器ノ容量ノ査定方法ニ對シ電力使用者ハ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十六條 使用期間四ヶ月未満ノモノ第七條第十三條ニ掲ケタル馬力又ハ時間ニ依ルコト能ハサルモノ及第二十三條ノ供給ニ對スルモノノ料金其ノ他本規程施行ニ關スル細則ハ市參事會之ヲ定ム

電力供給規程施行細則

明治四十四年一月二十五日 大阪市 告示第六號

本市電力供給規程施行細則左ノ通相定ム

第一條 電力供給ヲ受ケムトスルモノハ別紙様式ニ依リ電氣鐵道課ニ申込ムヘシ其ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
第二條 既設電力線路ヨリ變壓器ニ至ル距離參「キロワット」ニ付貳百間ノ割合ヲ超過スル電力線路ノ新設ヲ要スル場合ニハ其ノ設備ニ要スル實費ヲ徵收ス

第三條 電力供給規程第九條ノ保證金ハ左ノ區別ニ依ル
電動機ノ馬力數 保證金 額
半馬力 百圓
壹馬力 百參拾圓
貳馬力 百五拾圓
參馬力 百八拾圓
四馬力 參百圓
五馬力 四百圓
七馬力 五百圓
拾馬力 六百五拾圓
拾五馬力 七百五拾圓
貳拾馬力 七百五拾圓
第四條 使用期間四ヶ月未満ノモノニ對シテハ電力供給規程第十三條ノ使用料ヲ二割増トシ若シ既設電力線路ヨリ變壓器ニ至ル電力線路ノ新設ヲ要スルトキハ其ノ實費ヲ徵收ス
第五條 半馬力以下ノ電動機及附屬品ノ貸與料保證金定額使用料及工費ハ左ノ區別ニ依ル

容 量	電 動 機 及 附 屬 品		定 額 使 用 料	
	貸 月 與 料	保 證 金	使用時間午前六時ヨリ午後六時 午後六時ヨリ午前六時 マテ月額使用料	使用時間午前六時ヨリ翌日午前 六時マテ晝夜月額使用料
八十「ワット」未満	貳圓	貳拾圓	貳圓	四圓

貳百「ワット」未満	參圓	六拾圓	五圓	拾圓
-----------	----	-----	----	----

既設電力線路ノ變壓器ヨリ電動機ニ至ル設備ハ其ノ實費ヲ徵收ス
第六條 電動機及其ノ附屬品ノ貸與ヲ受ケサル前條ノ電力使用者ニ對シテハ從量使用料ヲ徵收セスシテ定額使用料ヲ徵收ス
第七條 一日十二時間以上使用ノ電力使用者ニ對シテハ一時間又ハ其ノ未滿ニ付電力供給規程第十三條ニ掲ケタル十二時間使用料ノ十二分ノ一ヲ増徴シ一日十二時間以下使用ノモノニ對シテハ一日十二時間ノ使用料ヲ徵收ス
第八條 貳百「ワット」ヲ超過シ半馬力ヲ超過セサル電力使用ニ對シテハ半馬力ノ定額使用料ヲ徵收ス
第九條 二十馬力以上使用者ニ對スル定額使用料及電力供給規程第二十三條ノ供給ニ對スル料金ハ其ノ都度之ヲ定ム
第十條 本細則中ノ實費ハ電氣鐵道課ニ於テ定メタル標準價格ニ依ル
第十一條 實費ヲ徵收シ工事ヲ施行シタル場合ハ其ノ工作物ハ本市ノ所有トス

(様式第一號) 電力供給申込書

大阪市 區 町 丁目 番地(屋敷)
姓 名
年 月 日
大阪市役所御中
第十七類 電 氣

左記ノ通り貴市ノ電力供給相受度候間電力供給規程及其細則承諾ノ上此段申込候也
一 電力使用場所 大阪市 區 町 丁目 番地
一 電力使用目的 馬 力
一 電力使用時間 毎日 時間 自午 至午 時 時
一 運轉機械ノ種類及箇數
一 電動機及附屬品 (電力供給規程第七條ニ依リ貸與ヲ受クルヤ否ヤヲ記載スルコト)
(様式第二號) 電力供給變更申込書
大阪市 區 町 丁目 番地(屋敷)
姓 名

大阪市役所御中
明治 年 月 日附テ以テ電力供給申込候處左記ノ通り變更致度候間電力供給規程及其細則承諾ノ上此段申込候也
一 電力使用場所 大阪市 區 町 丁目 番地
一 電力使用目的 馬 力
一 電力使用時間 毎日 時間 自午 至午 時 時

一 運轉機械ノ種類及箇數
一 電動機及附屬品
(電力供給規程第七條ニ依リ貸與ヲ受クルヤ否ヤヲ記載スルコト)

第拾八類 港 灣

●大阪灣築港及國庫補助許可

明治三十年九月八日
內務省指令秘乙第二八五號

大阪市參事會

本年五月二十五日一甲第九號稟請大阪灣築港及國庫補助ノ件聞届ケ
右工費補助ニ充ツル爲メ明治三十四年度ヨリ向十箇年間毎年金四拾
六萬八千圓ヲ交付スヘシ

●築港工事許可國庫補助金下
附條件

明治三十年九月八日
內務省訓令第八〇五號

大阪市參事會

今般大阪灣築港工事ヲ許可シ國庫補助下付スルニ就テハ大阪市ハ左
ノ條項ヲ遵守スヘシ

右訓令ス

第一條 築港工事ハ本大臣ノ許可セル設計ニ依リ施行スヘシ

第二條 築港工事ノ設計ヲ變更セントスルトキハ本大臣ノ許可ヲ受
クヘシ

第三條 築港工事ハ本訓令下附ノ日ヨリ三箇月以内ニ之ニ著手シ著
手ノ日ヨリ八箇年以内ニ竣功スヘシ

第四條 天災其他不可抗力ノ爲メ前條ノ期限内ニ竣功スル能ハサル
場合ニ於テハ本大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第五條 埋立地竣成ノ上ハ第七條ノ地積ヲ除クノ外其埋立地ノ所有
權ハ大阪市ニ屬スルモノトス但必要ト認メタル場合ニ於テハ埋立
地既成部分ニ對シ順次市ノ所有ニ屬セシムルコトアルヘシ

第六條 埋立地竣成ノ上船渠附近ニ於テ本大臣ノ指定シタル埋立地
凡三十八萬坪ノ地積ハ大阪市ニ於テ之ヲ離權スルヲ得ス
(三十九年十一月八日內務省
訓令第七九八號但書追加)

第七條 築港工事竣功ノ上安治川以南ニ於テ本大臣ノ指定シタル埋
立地十萬坪ノ地積ハ無償ニテ官有ニ歸スヘシ

第八條 築港工事竣功ノ上ハ港内ノ浚渫及營造物ノ維持修繕トモ大
阪市ニ於テ之ヲ施行シ其費用ヲ負擔スヘシ

第九條 大阪市ハ本大臣ノ指定スル所ニ從ヒ現在ノ市街地ヨリ埋立
地ニ達スル爲メ少ナクトモ一條ノ道路ヲ築設シ其費用ヲ負擔スヘ
シ

第十條 埋立地ニ於ケル道路、溝渠、橋梁運河及水道等ハ大阪市ニ於テ之
ヲ築設シ且必要ニ應ジテ船渠ヲ増設シ其費用ヲ負擔スヘシ

第十一條 大阪市ニ於テ棧橋使用料ヲ徵收セントスルトキハ船舶及貨
物等ニ對スル料金ヲ定メ本大臣ノ許可ヲ受クヘシ

- 第十一條 築港工事ノ爲メ他ニ障害ヲ加ヘ又ハ加ヘントスルコトアラハ大阪市ノ費用ヲ以テ其障害ヲ除去セシメ又ハ豫防スル爲メ必要ナル設備ヲ爲サシムルコトアルヘシ
- 第十二條 公益上必要ナル場合ニ於テ築港工事ニ障害ヲ來シ若クハ其設計ノ變更ヲ爲スコトアルモ大阪市ハ之ヲ拒ムヲ得サルノミナラス之カ爲メニ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルヲ得ス
- 第十三條 大阪市ニ於テ築港工事ヲ廢止スルカ若クハ之ヲ竣成スルコト能ハスト本大臣ニ於テ認ムルカ又ハ本訓令ノ條項ニ違背シタル場合ニ於テハ下付シタル國有濱地ノ全部又ハ一部ヲ返納セシメ又ハ之ニ相當スル金額ヲ國庫ニ納付セシメ且國庫補助金ニ相當スル金額ノ全部又ハ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ
- 第十四條 大阪市ニ於テ既定設計ニ係ル工事ノ一部ヲ廢止シタル爲メ工費ヲ減スルトキハ其減額ニ伴ヒ國庫補助金ヲ減スルコトアルヘシ
- 第十五條 公益上必要ト認メタル場合ニ於テハ無償ニテ本訓令ノ條項ヲ増減變更スルコトアルヘシ

● 公舎規程

明治三十八年十二月八日
市長 決 定

第一條 公舎ニ居住シ得ル者ハ當所員ニシテ家族ヲ有スル者ニ限ル

- 第十二條 居住者立退又ハ公舎内移轉スルトキハ第十條ニヨリ工費ヲ施シアルトキハ其増築ニ就テハ原形ニ復シ變更ノ部分ハ原形ニ復スルカ又ハ無償ニテ据置クカハ當所ノ指揮ニ從フヘシ
- 第十三條 居住者ノ過失又ハ失當ニヨリ破損ヲ生シタルトキハ居住者ノ自費ヲ以テ之ヲ修補ナシ當所ノ指定セル掛員ノ検査ヲ受クヘシ
- 第十四條 給水料衛生費其他居住ニ關スル費用ハ居住者ノ負擔トス
- 第十五條 居住者ハ左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ公舎ヲ立退クヘシ
 - 一 本人死去シタルトキハ三十日以内
 - 二 解職又ハ他ニ轉職ノ場合ハ七日以内
 - 三 本人又ハ其家族申刑ニ處セラレ若クハ家資分散ノ決定ヲ受ケタルトキハ立退命令ヲ受ケタル時ヨリ二十四時間以内
 - 四 本則ニ違背シタル場合ハ立退ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ三日以内
- 第十六條 居住者立退ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ノ爲メ立退クトキハ其前日管理者ヘ届出テ豫メ公舎ノ検査ヲ受クヘシ
- 第十七條 水火災其他ノ事變ニ際シテハ直チニ管理者ニ報告ナシ

- 第二條 公舎ニ居住セントスル者ハ書面ヲ以テ管理者ヲ經テ願出テ許可ヲ受クヘシ
- 第三條 公舎居住者ハ當所カ指定シタル家屋ニ對シ異議ヲ申立テ又ハ居住ヲ拒ムコトヲ得ス
- 第四條 公舎居住者ハ指定セラレタル公舎ノ引渡ヲ受ケタルトキハ直ニ其保管ノ責ニ任シ公舎蠶帳ニ記名捺印スヘシ
- 第五條 公舎居住者ハ公舎及其附屬品ヲ鄭重ニ取扱ヒ破損セサル様特ニ注意スヘシ
- 第六條 居住者ハ許可ヲ得スシテ猥リニ公舎ヲ交換シ又ハ潛力ニ其附屬品ヲ取替フルコトヲ得ス
- 第七條 居住者ハ相互ニ親睦ヲ旨トシ風紀又ハ公安ヲ害スル行爲アル可カラズ
- 第八條 居住者ハ衛生上常ニ家屋ノ内外ヲ清潔ニシ衛生ニ關スル府令其他ノ法規ヲ遵守スヘシ
- 第九條 自然ノ腐朽又ハ不可抗力ニヨリ建物ノ破損ヲ生シタルトキハ書面ヲ以テ居住者ヨリ其旨管理者ヲ經テ之ヲ修繕ノ請求ヲナスヘシ
- 第十條 居住者自己ノ便宜ニヨリ自費ヲ以テ建増又ハ建物ノ一部ヲ變更セントスルトキハ設計書及圖面并理由ヲ詳記シ管理者ヲ經テ願出ツヘシ
- 第十一條 水栓ニ關シテハ當所ノ許可ヲ受クルニアラサレハ新設増設又ハ變更スルコトヲ得ス但給水ニ關シテハ本市ノ規程ヲ遵守ス

- 之カ防禦ニ從事シ居住者相互救助スヘシ
 - 第十八條 居住者自己ノ過失ニヨリ火ヲ失シ其他危險ノ行爲アリタルトキハ當所ハ直チニ立退ヲ命シ再ヒ公舎ヲ貸與セス
 - 第十五條第三項第四項ニヨリ立退ヲ命セラレタル者モ亦全シ
- 附 則
- 第十九條 明治三十一年七月二十五日達第三二號當所公舎假規程ハ本規程實施ノ日ヨリ廢止ス

● 港灣附帶事業工場設置

明治四十一年四月十六日
市 參 事 會 議 決

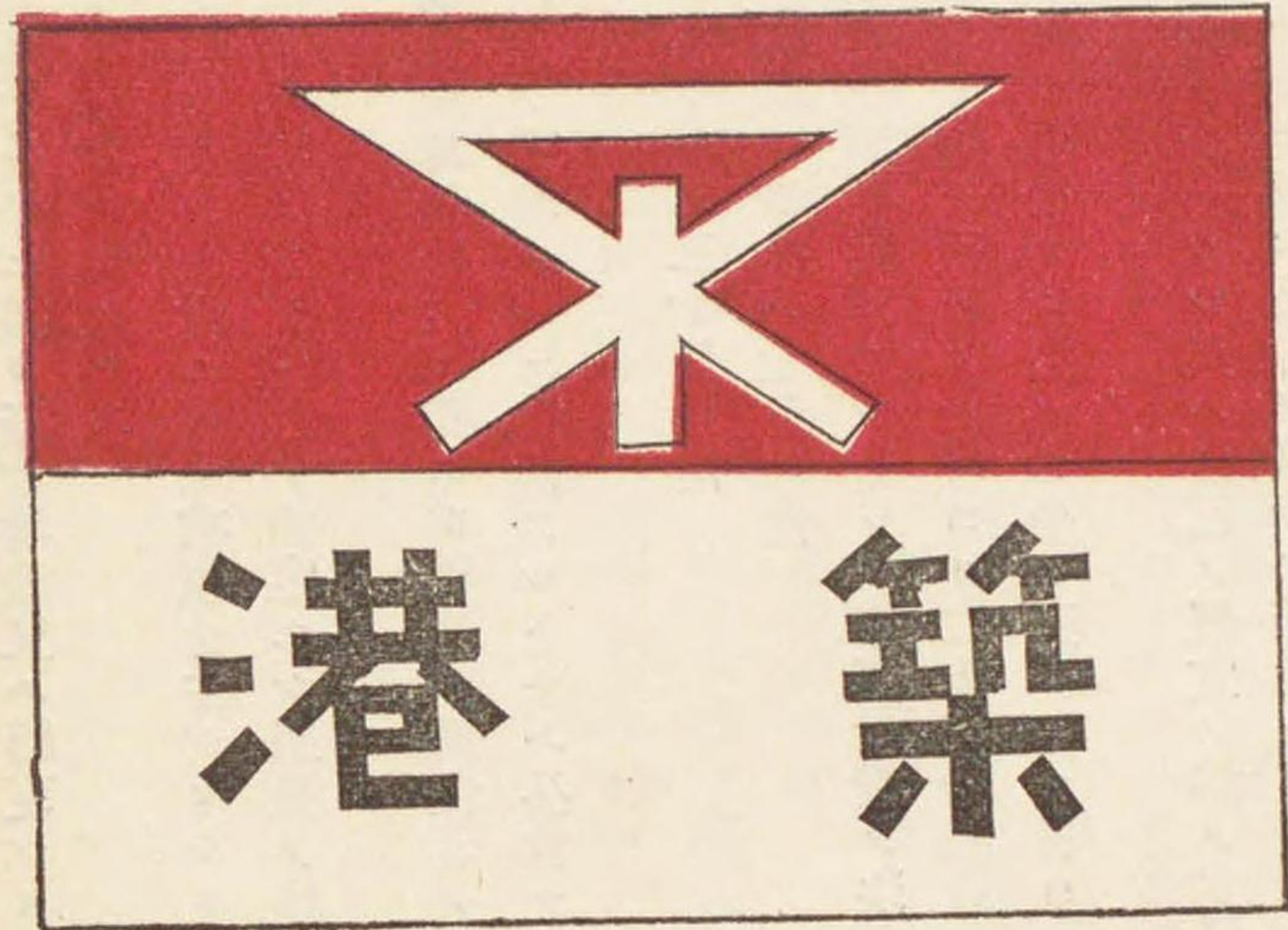
港灣附帶事業ノ爲メ港灣附帶事業工場ヲ設置ス

● 請負人ノ運搬船ニ用フル旗章

明治三十一年二月十八日
築港事務所所長達第一九號

今般大阪府令第十五號ヲ以テ當事務所ノ所有ニ係ル船舶并ニ當所使用ノ船舶ニ對シ入津料ヲ免除セラレタルニ付テハ自今石材其他運搬用ノ船舶ニハ請負人ノ費用ヲ以テ別紙雛形ノ旗章ヲ調製樹立セシムヘシ但請負人ニ於テ調製シタル旗章ノ員數ハ速ニ届出シムヘシ

船舶旗章



貳尺參寸

參尺

第十九類 徵稅、使用料、手數料

第一章 徵稅

●市稅徵收ニ關スル規定

明治卅三年十一月十九日
大阪市告示第八三號

(沿革) 三九年五月告示第三六號、四二年七月告示第五四號改正
本市會ノ議決ヲ經テ市稅徵收ニ關スル規定左ノ通相定ム

市稅徵收ニ關スル規定

第一條 市稅ノ徵收期左ノ如シ但區長ハ其期限內ニ於テ適宜納期日

ヲ定ムルコトヲ得

地價割	第一期 四月一日ヨリ 八月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限
所得稅附加	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限
國稅營業稅附加	國稅納期ニ依ル
賣藥營業稅附加	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限
第一種營業稅	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限
第二種營業稅	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限
雜種稅	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限
割間	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限
藝妓	每月十五日限

第十九類 徵稅、使用料、手數料

府稅附加稅	坪數割	歩一稅	取引所稅	家屋稅	鐵道營業稅	其他	屠畜	遊藝場	演劇行	興行所	遊藝場	耐技
							屠殺前	每翌日限				
				第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限	第一期 四月一日ヨリ 七月卅一日限 第二期 十月一日ヨリ 十二月十四日限

第十九類 徵稅、使用料、手数料

營業稅割 第一期四月一日ヨリ
七月卅一日限
家屋稅割 第二期十月一日ヨリ
十二月十四日限
雜種稅割

本稅ノ年稅ニ係ルモノ
第一期四月一日ヨリ
七月卅一日限
第二期十月一日ヨリ
十二月十四日限
本稅ノ月稅ニ係ルモノ本稅納期後十日以内
其 他 本稅納期ニ依ル

前項ニ依リ難キモノハ區長ニ於テ隨時其徵收期ヲ定ム

第二條 徵收期ヲ二期ニ分チタルモノハ各期ニ年額ノ二分ノ一ヲ又
毎月徵收ノモノハ年額ノ十二分ノ一ヲ各期日ニ徵收スヘキモノト
ス

第三條 徵收期ノ末日休廳日ニ當ルトキハ其翌日ヲ以テ該期ノ末日
トス

第四條 市稅ハ總テ徵收期ノ初日ヲ以テ賦課期日トス但雜種稅中幫
間藝妓酌人遊技場ニ係ルモノハ毎月一日演劇興行遊覽所ハ每徵收
期ノ前日屠畜ハ徵收ノ日ヲ以テ賦課期日トシ所得稅附加稅中第一
種ノ所得ニ課スルモノハ其國稅ノ納期日ヲ以テ賦課期日トス

第五條 本規定ハ告示ノ日ヨリ施行シ明治二十九年大阪府告示參第
四號ハ其日ヨリ廢止ス

取引所ニ賦課ス

第四條 歩一稅ハ土地又ハ建物賣買讓與(家督相續即戶主ノ死亡若
爲ス場合)ノ節其土地建物ニ對シ價格金六十分ノ一ヲ賦課シ其買
得者又ハ其讓受者ヨリ徵收ス但價格金ハ登記料ヲ納メタル賣買代
價又ハ登記料ヲ納メタル時價格ニ依ル

第五條 (消滅)

第六條 (消滅)

第七條 第二條第三條ノ利益金トハ前一年中ノ諸收入金ヨリ其
諸經費(役員賞與)及税金ヲ控除シタルモノトス但前年中半途ニ營
業ヲ開始シタルモノハ其利益金ヲ營業中ノ月數ニ割當テ之ヲ一ケ
年ニ積算シタル金額ニ依リ又其利益金ナキモノ及新ニ設立シタル
モノハ其年ノ利益金豫算額ニ依ル

第八條 (消滅)

第九條 土地建物買得者又ハ讓受者ハ其土地又ハ建物ノ所在町名箇

● 歩一稅賦課標準調査方

明治四十年十二月二日
訓令總第一四五號

左ノ様式ニ據リ歩一稅賦課標準調査書ヲ調製シ歩一稅賦課徵收事務ヲ整理スヘシ

明治 年 月 日
登記受附番號 自第 號 至第 號
日閱覽 閱覽者印
明治 年 月 日再調
再調者印
大阪市參事會 市 長
大阪區裁判所 出張所分
第 號

第十九類 徵稅、使用料、手数料

五八五

五八四

● 特別稅取引所稅新設

明治廿八年四月廿七日
大阪府告示參第一八號

本市會ニ於テ明治二十八年年度以降左ノ特別稅新設ノ件ヲ議決シ市制
第二百二十二條ニ依リ內務大臣大藏大臣ノ許可ヲ得タリ
一 取引所稅 利益金額千分ノ六十以内

● 特別稅取引所稅步一稅ニ關
スル細則

明治廿八年四月廿七日
大阪府條例第一號

本市會ニ於テ特別稅ニ關スル條例改正ノ件ヲ議決シ市制第二百二十一
條及第二百二十二條ニ依リ內務大臣大藏大臣ノ許可ヲ得左ノ通相定ム

第一條 本市ハ左ノ特別稅ヲ賦課ス
國立銀行稅 (消滅)

取引所稅 (消滅)

步一稅 (消滅)

船稅 (消滅)

車稅 (消滅)

第二條 (消滅)

第三條 取引所稅ハ其利益金額千分ノ六十以内トシ本市ニ設立スル

所番號并ニ登記料ヲ納メタル價格金ヲ七日以内ニ所轄區長ニ届出
ツ可シ

第十條 (消滅)

第十一條 第二條第三條第五條第六條ノ賦課額ハ毎年市會ノ議決ニ
依リ之ヲ定ム

● 歩一稅賦課方

明治卅五年十二月五日
南區長ハ指令第五八〇〇號

一 土地建物ノ賣買ニシテ不動産登記法ニ據ラサル權利ノ移轉ニ付テ
ハ明治二十八年本市條例第一號第四條ノ要素ヲ闕クテ以テ歩一稅
ヲ賦課スル限ニアラス

[何]區 役 所

大阪市參事會 市 長

大阪區裁判所 出張所分

堂島濱通大江橋筋ヨリ渡邊橋筋迄
 曾根崎橋南詰ヨリ堂島濱通迄
 渡邊橋北詰東ノ辻ヨリ北ノ北ノ辻迄
 渡邊橋南詰ヨリ南ノ肥後橋北詰迄
 富島町濱通親和橋西詰ヨリ西ノ國津橋東詰迄
 大工町堀川橋筋ヲ南ノ行キ當リ迄
 古川橋北詰ヨリ北ノ濱迄
 吉野屋橋北詰北ノ横堀筋撞木橋南詰迄
 茂左衛門橋北詰北ノ江戸堀下通迄
 雜喉場魚市場
 京町堀通京町橋西詰ヨリ西ノ江ノ子島上ノ町木津川橋東詰迄
 新町橋西詰ヨリ西ノ高橋筋迄
 千代崎橋西詰ヨリ西ノ花園橋東詰迄
 等
 大寶寺町佐野屋橋筋東ノ九ノ助橋西詰迄
 八幡筋中橋筋以西木綿橋東詰迄
 順慶町通界筋以西井池筋迄
 炭屋橋南詰南ノ三池橋筋迄
 佐野屋橋筋順慶町界ヨリ南ノ八幡町迄
 太左衛門橋北詰ヨリ北ノ三休橋南詰迄
 安堂寺橋通界筋東ノ横堀筋迄
 末吉橋通井池筋以西横堀七丁目迄
 阪町表通日本橋筋ヨリ西ノ千日前迄

難波新地六番町戎橋筋
 久左衛門町戎橋筋西ノ金屋橋東詰迄
 難波新地芝居裏筋字塀ノ側筋ヨリ西ノ新蛭子橋筋迄
 難波新地字溝ノ側千日前筋ヨリ西ノ戎橋筋迄
 北炭屋町三池橋東詰ヨリ東ノ佐野屋橋筋迄
 北久太郎町農人橋西詰以西心齋橋筋迄
 唐物町難波橋以西心齋橋筋迄
 京橋一丁目ヨリ西ノ今橋東詰迄
 高麗橋東詰ヨリ東ノ字骨屋町筋迄
 本町橋東詰ヨリ東ノ谷町筋迄
 谷町通天滿橋南詰ヨリ以南内久寶寺町迄
 東横堀筋今橋西詰ヨリ南ノ南本町迄
 難波橋筋高麗橋通南ノ南久寶寺町迄
 三休橋筋博勞町ヨリ北ノ高麗橋通迄
 但安土町備後町瓦町ヲ除ク
 淀屋橋筋平野町南角ヨリ南ノ淡路町北角迄
 平野町中橋筋北ノ高麗橋通迄
 平野町井池筋南ノ順慶町通迄
 筋違橋東詰ヨリ東ノ淀屋橋筋迄
 御堂筋本町通北ノ淡路町南角迄
 本町通御堂筋ヨリ西ノ信濃橋東詰迄
 難波橋筋高麗橋通以北老松町迄
 久寶寺橋西詰ヨリ南ノ久寶寺町陷荷西門筋迄

御靈筋平野町北ノ道修町迄
 西横堀筋遠橋東詰ヨリ南ノ炭屋橋北詰迄
 天神橋北詰北ノ辻ヨリ東ノ河内町迄
 天神表門筋此花町筋ヨリ西ノ天神小橋ヲ經テ西ノ行當リ南ノ老松町一丁目迄
 樽屋橋東詰ヨリ東ノ天神筋町迄
 天神裏門筋天神橋筋ヨリ東ノ此花町迄
 老松町一丁目ヨリ三丁目字長池筋ヲ經テ蛭橋筋迄
 中之島土佐堀川ノ北岸ニ沿ヘル道路
 堂島濱通渡邊橋北詰ヨリ西ノ柳橋筋迄
 天神橋北詰西ノ難波橋北詰迄
 富島町裏通一圓
 南安治川通一丁目ヨリ二丁目迄
 安治川上通一丁目ヨリ二丁目迄
 天神橋筋二丁目(天神表門筋ヨリ北ノ字溝ノ側北界迄)
 淀屋橋北詰ヨリ北ノ大江橋北詰北ノ辻南角迄
 曾根崎新地親橋北詰ヨリ西ノ櫻橋筋迄
 土佐堀通三丁目常安橋南詰ヨリ以西湊橋筋迄
 靱中通羽子板橋筋ヨリ西ノ永代濱迄
 北堀江下通宇和島橋筋ヨリ以西白髮橋筋迄
 北堀江通高臺橋筋ヨリ以西千代崎橋西詰迄
 西道頓堀通金屋橋西詰ヨリ以西木津川濱ノ行キ當リ迄
 湊町浪芳橋西詰ヨリ西ノ幸町通ノ日吉橋筋迄

三

新町南通立賣堀川高橋筋以西松島橋迄
 西長堀北通一丁目ヨリ五丁目西長堀南通一丁目ヨリ五丁目及北堀江三番町濱通ノ千代崎橋筋迄
 尖喰屋橋南詰南ノ新町通迄
 犬齋橋南詰以南新町北通行キ當リ迄
 常安橋北詰北ノ辻ヨリ以南紀ノ國橋北詰迄
 問屋橋筋新町通ヨリ南ノ高臺橋北詰迄
 立賣堀川高橋南詰ヨリ南ノ玉造橋北詰迄
 松島町一丁目二丁目
 日吉橋北詰ヨリ北ノ北堀江二番町行キ當リ迄
 梅本橋西詰ヨリ北ノ大涉橋筋迄
 靱中通三丁目永代橋ヨリ西ノ茂左衛門橋筋迄
 立賣堀北通中橋筋ヨリ西ノ江島橋迄新町字塀ノ側南北筋
 宇和島橋北詰ヨリ北ノ新町南通迄
 南堀江通及上通隆平橋筋東ノ辻西ノ瓶橋筋迄
 仲之町一丁目二丁目
 梅本橋東詰ヨリ東ノ松島橋筋迄
 阿波橋南詰南ノ新町通迄
 御池橋西詰ヨリ西ノ行キ當リ民有地界迄
 等
 土佐堀通西國橋西詰以西常安橋筋迄
 江戸堀北通一丁目ヨリ以西崎吉橋北詰迄
 但犬齋橋筋阿波殿橋筋ヲ除ク

江戸堀南通一丁目横堀筋以西雜喉場市場迄

但犬齋橋筋阿波殿橋筋ヲ除ク

江戸橋下通西横堀筋以西雜喉場市場迄

但犬齋橋筋阿波殿橋筋ヲ除ク

江戸堀橋南詰ヨリ南へ立賣堀北通尖喰屋橋北詰迄

但京町堀通筋中筋立賣堀北通筋ヲ除ク

京町堀上通西横堀筋ヨリ以西茂左衛門橋筋迄

但犬齋橋筋阿波殿橋筋ヲ除ク

靱中通羽子板橋筋以東西横堀筋迄

靱南通西横堀筋以西岡崎橋筋迄

阿波座下通(字日向町)西横堀筋ヨリ尖喰屋橋筋迄

但槌橋筋ヲ除ク

阿波座上通江達橋西詰ヨリ以西岡崎橋筋迄

但槌橋筋ヲ除ク

立賣堀北通中橋筋以東西横堀筋迄

但槌橋筋ヲ除ク

立賣堀南通西横堀筋ヨリ尖喰屋橋筋迄

但槌橋筋阿波橋筋ヲ除ク

新町北通一丁目全二丁目

但字堀ノ側ヲ除ク

新町南通問屋橋筋ヨリ西へ立賣堀川高橋筋迄

但白髮橋筋ヲ除ク

北堀江上通問屋橋筋以東行キ當リ迄

阿彌陀池表門筋問屋橋筋迄

富田屋橋南詰ヨリ南へ賑江橋ヲ經テ南堀江上通迄

但南堀江通筋北堀江下通筋ヲ除ク

白髮橋筋北堀江裏通ヲ西へ行キ當リ北へ曲リ西へ玉造橋筋迄

玉造橋南詰ヨリ南へ鐵橋筋迄

北堀江通高臺橋筋以東西横堀筋迄

南堀江通一丁目隆平橋東ノ辻ヨリ東へ横堀筋迄

南堀江通五丁目瓶橋筋ヨリ西へ南堀江三番町行キ當リ迄

但鐵橋筋ヲ除ク

南堀江上通一丁目隆平橋筋東ノ辻ヨリ東へ行キ當リ迄

南堀江上通瓶橋西へ南堀江一番町行キ當リ迄

宇和島橋南詰南へ隆平橋ヲ經テ南堀江上通迄

本田町通一丁目ノ内一等地(坪數割等)界ヨリ西へ本田町通三丁目國津橋界迄

大涉橋西詰ヨリ以北本田一番町居留地界迄

梅本橋西詰ヨリ南へ常盤橋筋迄

江之子島上之町

但木津川橋筋ヲ除ク

江ノ子島東之町

但舊龜井橋筋ヲ除ク

茂左衛門橋南詰以南立賣堀北通迄

吉野屋橋南詰ヨリ以南金屋橋迄

越中橋南詰ヨリ以南千秋橋北詰迄

但京町堀筋ヲ除ク

犬齋橋筋江戸堀北通ヨリ北へ筑前橋南詰迄

茂左衛門橋筋江戸堀下通ヨリ北へ西北橋湊橋ヲ經テ北へ堂島川ノ濱へ行キ當リ之レヲ西へ船津橋迄

北濱内通一丁目ヨリ五丁目

但界筋難波橋筋淀屋橋筋ヲ除ク

心齋橋通高麗橋筋ヨリ北へ今橋通迄

今橋一丁目ヨリ五丁目

伏見町中橋筋以東横堀筋迄

但横堀筋界筋難波橋筋ヲ除ク

道修町字一丁目筋以東横堀筋迄

道修町井池筋以西横堀筋迄

但心齋橋筋淀屋橋筋ヲ除ク

平野町二丁目難波橋筋以東横堀筋迄

但界筋ヲ除ク

平野町中橋筋南へ中橋北詰迄

但本町通南本町通北久太郎町南久寶寺町通順慶町通ヲ除ク

淡路町一丁目ヨリ五丁目

但界筋難波橋筋三休橋筋中橋筋井池筋心齋橋筋御靈筋ヲ除ク

瓦町一丁目ヨリ五丁目

但界筋難波橋筋中橋筋三休橋筋井池筋心齋橋筋御靈筋ヲ除ク

備後町一丁目ヨリ五丁目

但界筋難波橋筋中橋筋井池筋心齋橋筋御靈筋ヲ除ク

安土町一丁目ヨリ四丁目

但界筋難波橋筋ヲ除ク

南本町一丁目ヨリ心齋橋筋迄

南本町四丁目心齋橋筋ヨリ西へ座摩前筋迄

南久太郎町一丁目ヨリ四丁目

唐物町界筋ヨリ西へ難波橋筋迄

北久寶寺町一丁目ヨリ四丁目

南久寶寺町稻荷神社西門筋ヨリ西へ横堀迄

博勢町一丁目ヨリ四丁目

農人橋通農人橋東詰ヨリ以東谷町筋迄

内久寶寺町久寶寺橋東詰ヨリ以東舊市郡界迄

東區上本町筋

島町一丁目ヨリ二丁目字骨屋町筋迄

島町二丁目字骨屋町筋南へ内安堂寺町通迄

釣鐘町一丁目全二丁目

船越町一丁目全二丁目

内平野町一丁目全二丁目

内淡路町一丁目全二丁目

大手通一丁目全二丁目

德井町一丁目全二丁目

鎗屋町一丁目ヨリ西へ横堀筋迄

今橋東詰南へ平野橋東詰迄

材木町

御被筋大手通ヨリ南へ南農人町迄
 谷町五丁目久寶寺橋筋ヨリ以南字墓ノ谷迄
 北濱一丁目字八百屋町筋ヨリ東へ築地迄
 順慶町通界筋ヨリ東へ横堀筋迄
 安堂寺橋界筋ヨリ以西横堀筋迄
 内安堂寺町安堂寺橋東詰以東行當リ迄
 高津北阪ヨリ西へ松屋町通迄
 高津表門筋松屋町以東舊市郡界迄
 鰻谷濱通東横堀筋ヨリ西横堀筋迄
 西清水町
 空堀町松屋町以東上本町迄
 鍛冶屋町
 竹屋町
 清水町中橋筋北へ鰻谷迄
 千年町
 安綿橋北詰ヨリ北へ行當リ西へ唐物町字一丁目筋迄
 笠屋町
 但左衛門橋筋八幡筋ヲ除ク
 南綿屋町
 疊屋町
 炭屋町南
 北御池橋水綿橋筋ヲ除キ一圓
 九郎右衛門町角新蛭子橋筋ヨリ南へ行當リ迄
 難波新地一番町字塀ノ側ヨリ南へ字溝ノ側行當リ迄
 日本橋筋一丁目ヨリ三丁目

下大和橋南詰南角ヨリ南へ高津町字溝ノ側行當リ迄
 吉田橋筋高津十番町ヨリ東へ下大和橋筋迄
 末廣橋東詰ヨリ東へ高津四番町通迄(字鐘筋)
 下寺町高津表門筋ヨリ南へ舊市郡界迄
 末吉橋東詰南へ二ツ井戸町迄
 板屋橋北詰ヨリ北へ今橋通迄
 末吉橋通字八百屋町筋北へ北濱迄
 天満市場裏町筋河内町以東行當リ迄
 相生町
 市ノ町魚棚筋東へ信保町迄
 天神橋筋三丁目字溝ノ側ヨリ北へ寺町筋迄
 天神橋筋三丁目寺町筋以西寺町筋ヲ經テ木幡町舊市郡界迄
 難波橋北詰ヨリ西へ難波小橋ヲ經テ西へ大江橋筋迄
 柳橋西詰ヨリ西へ堂島大橋北詰迄
 北安治川通一丁目ヨリ三丁目
 古川町
 曾根崎新地三丁目櫻橋ヨリ出入橋迄
 船大工町
 但蜆橋筋ヲ除ク
 大平橋西詰北ノ辻ヨリ西へ行當リ迄
 但難波橋筋ヲ除ク
 堂島中町一丁目二丁目
 但渡邊橋筋ヲ除ク

四

堂島北ノ町
 堂島裏一丁目ヨリ三丁目
 但蜆橋筋曾根崎橋筋櫻橋筋ヲ除ク
 南安治川通三丁目
 等
 搦町通一丁目ヨリ西へ横堀七丁目迄
 末吉橋通井池筋ヨリ東へ横堀筋迄
 鰻谷内通東横堀筋ヨリ西横堀筋迄
 久左衛門町(元大黒橋筋ヲ北へ周防町迄)
 日本橋筋四丁目五丁目
 瓦屋町二番丁ト三番丁トノ境界道路中細合筋ヨリ松屋町筋迄
 瓦屋町四番丁地藏阪ノ舊市郡界ヨリ西へ松屋町筋迄
 周防町心齋橋筋ヨリ西へ佐野屋橋西ノ辻迄
 三津寺町心齋橋筋ヨリ西へ西横堀筋迄
 久左衛門町字新屋敷
 問屋町瓦屋橋西詰北へ東清水町筋迄及横丁筋
 難波新地二番町三番町四番町ノ遊廓内一圓
 南區上本町
 三休橋北詰ヨリ北へ博勢町通迄
 御靈筋道修町ヨリ北へ浮世小路迄
 今橋五丁目淀屋橋筋西ノ辻ヨリ北へ大川町迄
 今橋四丁目淀屋橋筋東ノ辻ヨリ北へ大川町迄
 心齋橋筋高麗橋筋ヨリ北へ今橋通迄

北久太郎町筋篠橋東詰ヨリ東へ心齋橋筋迄
 字善庵筋石町ヨリ南へ内安堂寺町迄
 糸屋町
 南農人町
 但御被筋ヲ除ク
 和泉町
 北新町
 南新町
 北久寶寺町四丁目御靈筋ヨリ西へ横堀迄
 南本町座磨筋ヨリ西へ横堀迄
 南本町字一丁目筋ヲ南へ末吉橋通迄
 唐物町心齋橋筋ヨリ西へ横堀迄
 字御被筋大手通ヨリ北へ京橋二丁目通迄
 南農人町字御被筋ヲ南へ内安堂寺町通迄
 唐物町字帶屋町以西界筋迄
 西國橋東詰ヨリ南へ筋違橋東詰迄
 白髮橋西詰ヨリ南へ阪榮橋北詰迄
 高臺橋南詰ヨリ南へ幸橋迄
 住吉橋北詰ヨリ北へ行キ當リ南堀江上通迄
 沙見橋北詰北へ瓶橋南詰迄
 阿波堀通太郎助橋南詰ヨリ以東西横堀筋迄
 京町堀新中橋筋南角ヨリ南へ阿波堀川ヲ經テ立賣堀川迄
 土佐堀裏町

第十九類 徵稅、使用料、手數料

江戸堀上通一丁目二丁目

靱北通一丁目ヨリ西へ兩國橋筋迄

但橋筋ヲ除ク

靱上通一丁目二丁目

京町堀通新難波橋筋ヨリ南へ太助橋ヲ經テ南へ明治橋迄

新町通西二橋筋南へ鯉座橋ヲ經テ南へ瓶橋北詰迄

土佐堀通五丁目湊橋南詰西ノ辻ヨリ西へ江戸堀北通迄

阿波橋北詰ヨリ北へ阿波座上通行キ當リ迄

立賣堀北通中橋筋ヲ北へ阿波座上通迄

中之島堂島川ノ南岸ニ沿ヘル道路

但大江橋筋渡邊橋筋田箕橋筋玉江橋筋ヲ除ク

常安橋北詰北ノ辻ヨリ北へ浄正橋南詰迄

田箕橋南詰南ノ辻角ヨリ西へ常安橋筋迄

堀川東側ノ筋

堀川西側ノ筋

天神橋筋四丁目寺町筋ヨリ北へ夫婦橋ヲ經テ北へ舊市郡界迄

筑前橋北詰ヨリ北へ田箕橋南詰迄

老松町一丁目難波橋筋北角ヨリ北へ伊勢町舊市郡界迄

野田町

網島町

常安橋北詰北角ヨリ北へ北ノ辻迄

五

空堀町筋松屋町通ノ西へ濱迄

高津町三番町

但末廣橋筋ヲ除ク

高津町四番町

高津町五番町

高津町六番町

高津町七番町

高津町八番町

高津町九番町

高津町十番町

但道頓堀筋及吉田橋筋ヲ除ク

御藏跡町

千日前竹林寺北横筋ヲ西へ字溝ノ側筋迄

日本橋筋一丁目ヨリ五丁目迄ノ西裏筋及横丁

難波新地四番町ノ内溝ノ側北側及戎橋筋ト新川筋ヲ除キ一圓

難波新地五番町ノ内戎橋筋及新川筋ヲ除キ一圓

難波新地六番町

但戎橋筋及新川筋ヲ除ク

御靈裏筋淡路町ヨリ大川町迄

井池筋平野町ヨリ北へ大川町迄

三休橋筋高麗橋通ヨリ北へ北濱迄

三休橋筋安土町ヨリ瓦町迄

中橋筋高麗橋筋ヨリ北へ北濱迄

難波橋筋南久寶寺町ヨリ南へ末吉橋通迄

第十九類 徵稅、使用料、手數料

南桃谷町

但空堀筋ヲ除ク

東賑町

西賑町

田島町

但松屋町通ヲ除ク

瓦屋町一番丁三番丁四番丁五番丁

但松屋町筋濱通及瓦屋町二番丁ト三番丁トノ境界道路中細合

筋ヨリ松屋町筋迄ヲ除ク

末吉橋通御堂筋ヨリ北へ博勞町迄

久左衛門町御堂筋ヨリ北へ鰻谷濱通迄

順慶町通座摩前筋ヨリ南へ末吉橋通迄

九之助橋西詰ヨリ南へ上大和橋西詰迄及横丁

下大和橋筋清水町ヨリ北へ長堀鰻谷迄

板屋橋南詰ヨリ南へ清水町迄

清水町字八百屋町筋北へ長堀鰻谷迄

清水町難波橋筋北へ長堀鰻谷迄

清水町井池筋北へ長堀鰻谷迄

八幡町佐野屋橋筋南へ久左衛門町通迄

高津町一番町

但高津表門筋及松屋町ヲ除ク

高津町二番町

但下大和橋筋ヲ除ク

東横堀筋豊後町ヨリ南へ本町橋詰町ヲ經テ農人橋詰町ヲ過キ材

木町迄及豊後町横丁ニタ筋共

島町字骨屋町筋ヲ北へ字八軒屋濱迄

内淡路町字高倉筋ヨリ北へ八軒屋濱迄

谷町四丁目字小谷町ヨリ南へ内安堂寺町迄

内久寶寺町二丁目字銅座筋南へ内安堂寺町迄

廣小路町

龍造寺町

谷町五丁目西裏筋及字十二軒町

十二軒町

博勞町座摩前筋ヲ西へ横堀迄

神崎町

粉川町

石町東西筋及高倉筋ヨリ八軒屋濱迄

北久太郎町四丁目字狐小路

北渡邊町

住吉町

但松屋町筋ヲ除ク

兩替町一丁目ヨリ東横堀筋迄

久寶寺橋東詰ヨリ南へ内安堂寺町迄

川崎町

白屋町

今井町

第十九類 徴税、使用料、手數料

天満橋筋一丁目ヨリ四丁目
 空心中一丁目二丁目
 金屋町一丁目二丁目
 但朝日町濱筋ヲ除ク
 信保町一丁目二丁目
 但濱筋ヲ除ク
 岩井町一丁目二丁目
 但濱筋及裏町筋魚ノ棚筋ヲ除ク
 龍田町
 但濱筋裏町筋魚ノ棚筋ヲ除ク
 壺屋町一丁目二丁目
 但濱筋裏町筋魚ノ棚筋ヲ除ク
 河内町一丁目二丁目
 但濱筋裏町筋魚ノ棚筋ヲ除ク
 瀧川町
 但濱筋裏町筋種上橋筋魚ノ棚筋ヲ除ク
 此花町一丁目二丁目
 但濱筋裏町筋種上橋筋魚ノ棚筋ヲ除ク
 市之町
 但濱筋裏町筋種上橋筋魚ノ棚筋ヲ除ク
 松ヶ枝町
 紅梅町
 但大工町ノ内堀川橋筋以南ヲ除ク

菅原町

但太平橋筋及堀川筋ヲ除ク
 種上橋筋天神橋筋東へ河内町行キ當リ迄
 魚ノ棚天神筋町ヨリ西へ行當リ迄
 興門小路(種上町北ノ筋ヲ云フ)河内町筋ヨリ西へ堀川筋迄
 鳴尾町樽屋橋筋ヨリ南ノ筋堀川ヨリ東へ行當リ迄
 地下町天神小橋ノ南ノ筋堀川ヨリ東へ天神筋行當リ迄
 天神小橋北ノ筋堀川ヨリ東へ天神橋筋迄
 堀川橋筋堀川ヨリ東へ天神橋筋迄
 天神橋筋三丁目夫婦橋ヨリ南へ寺町橋筋迄
 但裏筋ヲ除ク
 天神裏門筋此花町ヨリ天満橋筋二丁目迄
 南森町天神表門筋及裏門筋ヲ除キ一圓
 北森町寺町筋ヲ除キ一圓
 旅籠町天神表門筋及裏門筋ヲ除キ一圓
 綿屋町堀川筋及寺町筋ヲ除キ一圓
 末廣町堀川筋及寺町筋ヲ除キ一圓
 菅原町堀川筋及東西筋ヲ除キ一圓
 種上町濱通及濱通ノ北ノ筋難波橋筋ヲ除キ一圓
 老松町一丁目二丁目三丁目ノ横ノ筋
 但堀川筋難波橋筋長池筋ヲ除ク
 源藏町堀川筋難波橋筋天神裏門筋ヲ除キ一圓
 伊勢町難波橋筋堀川筋ヲ除キ一圓

富田町寺町筋ヲ除キ一圓
 木幡町寺町筋ヲ除キ一圓
 堀川橋筋堀川橋西詰ヨリ西舊市郡界迄
 眞砂町字長池筋ヲ除キ一圓
 絹笠町
 若松町表通ヲ除キ一圓
 曾根崎新地一丁目ヨリ三丁目表通及櫻橋筋ヲ除キ一圓
 中之島二丁目三丁目及六丁目
 但濱通及橋筋ヲ除ク
 堂島濱通二丁目
 但濱通及曾根崎橋筋渡邊橋北詰東ノ辻ヨリ北ノ辻渡邊橋筋ヲ除ク
 堂島濱通三丁目四丁目
 但濱通及浄正橋筋ヲ除ク
 宗是町筑前橋筋及濱通ヲ除キ一圓
 常安橋北筋西ノ辻ヨリ北へ曲リ東へ常安橋筋迄
 北安治川通一丁目二丁目三丁目
 但濱通ヲ除ク
 安治川上通一丁目二丁目
 但濱通ヲ除ク
 安治川南通一丁目ヨリ三丁目
 但濱通ヲ除ク

第十九類 徴税、使用料、手數料

西國橋西詰ヨリ南へ撞木橋北詰迄
 肥後橋南詰ヨリ一丁目西ノ筋南へ江戸堀川迄
 江戸堀北通犬齋橋筋東ノ辻北へ土佐筋通迄
 江戸堀船町橋ト尼ヶ崎橋ノ間ノ筋東西
 江戸堀上通一丁目ト江戸堀北通一丁目ノ間ノ筋
 筑前橋南詰西ノ辻ヨリ南へ江戸堀北通迄
 土佐堀通三丁目常安橋ト越中橋ノ間ノ辻ヲ南へ江戸堀川迄
 越中橋南詰西ノ辻ヨリ南へ江戸堀北通迄
 江戸堀橋北詰ヨリ北へ土佐堀通迄
 京町堀新中橋北詰ヨリ北へ江戸堀川迄
 京町堀新中橋筋ト羽子板橋筋ノ間ノ筋
 羽子板橋筋ト紀ノ國橋筋ノ間ノ筋
 京町堀通三丁目新難波橋筋ヲ北へ江戸堀川迄
 千秋橋筋ト兩國橋筋ノ間ノ筋
 兩國橋筋ト茂左衛門橋筋ノ間ノ筋
 靱北通上通中通下通南通
 但靱北通一丁目ヨリ西へ兩國橋筋迄ノ通筋
 全南通西横堀筋ヨリ西へ岡崎橋筋ノ通筋
 全中通西横堀筋ヨリ西へ永代濱迄
 全上通二丁目ノ通筋
 新中橋筋ヨリ南へ阿波堀川迄
 羽子板橋ヨリ南へ花屋橋迄
 新難波橋南詰ヨリ南へ太郎助橋迄

第十九類 徴税、使用料、手数料

兩國橋筋ヨリ南へ岡崎橋迄

茂左衛門橋南詰ヨリ南へ豊橋迄

右ノ各筋ヲ除ク

薩摩堀北ノ町

但下ノ橋筋ヲ除ク

薩摩堀南ノ町

但下ノ橋筋ヲ除ク

薩摩堀東ノ町

但尖喰屋橋筋ヲ除ク

薩摩堀裏町

但下ノ橋筋ヲ除ク

薩摩堀西ノ町

阿波堀通五丁目子島橋筋ヨリ東へ鳴戸橋ヲ經テ阿波堀通四丁目

松榮橋筋迄

江ノ子島舊龜井橋筋

立賣堀裏町

但下ノ橋筋ヲ除ク

立賣堀北通五丁目六丁目

但通筋及下ノ橋筋ヲ除ク

阿波堀通一丁目ヨリ三丁目松榮橋筋迄

但阿波堀橋ヨリ西へ太郎助橋筋ト花屋橋筋及新中橋筋ヲ除ク

阿波堀裏町

但花屋橋筋新中橋筋ヲ除ク

裏新町

但横堀筋字堀ノ側宇和島橋筋ヲ除ク

西長堀北通三丁目ヨリ五丁目

但通筋及間屋筋白髮橋筋鯉座橋筋玉造橋筋ヲ除ク

西長堀南通一丁目ヨリ五丁目

但通筋及横堀筋宇和島橋筋富田屋筋筋問屋筋筋白髮橋筋鯉座

橋筋玉造橋筋ヲ除ク

北堀江上通一丁目ヨリ三丁目

但通筋及宇和島橋筋富田屋筋筋問屋筋筋ヲ除ク

北堀江御池通一丁目ヨリ六丁目

但三池橋筋及二丁目ト四丁目ノ通筋隆平橋筋賑江橋筋高臺橋筋瓶橋筋ヲ除ク

筋阪榮橋筋瓶橋筋ヲ除ク

北堀江通一丁目ヨリ六丁目

但通筋及横堀筋隆平橋筋賑江橋筋高臺橋筋瓶橋筋ヲ除ク

北堀江一番丁ヨリ三番丁

但鐵橋筋玉造橋筋及濱通ヲ除ク

南堀江通一丁目ヨリ六丁目

但通筋及横堀筋隆平橋筋高臺橋筋瓶橋筋鐵橋筋ヲ除ク

南堀江上通一丁目ヨリ五丁目

但通筋及横堀筋隆平橋筋賑江橋筋高臺橋筋瓶橋筋鐵橋筋ヲ除ク

南堀江下通一丁目ヨリ四丁目

第十九類 徴税、使用料、手数料

阿波座上通一丁目ヨリ三丁目

但通筋及横堀通京町堀川新中橋筋槌橋筋明治橋筋阿波橋筋ヲ

除ク

阿波座中通一丁目二丁目

但京町堀川新中橋筋花屋橋筋太郎助橋筋ヲ除ク

立賣堀北通一丁目ヨリ四丁目

但横堀筋及通筋京町堀川新中橋筋槌橋筋明治橋筋阿波橋筋尖

喰屋橋筋ヲ除ク

阿波座下通一丁目二丁目

但横堀筋通筋京町堀川新中橋筋槌橋筋明治橋筋ヲ除ク

阿波座一番町二番町三番町四番町

但新渡邊橋筋岡崎橋筋ヲ除ク

新町字道者横町南北筋

立賣堀南通一丁目ヨリ六丁目

但横堀筋阿波橋筋槌橋筋尖喰屋橋筋西二橋筋高橋筋ヲ除ク

新町北通一丁目二丁目

但字堀ノ側槌橋筋阿波橋筋及通筋ヲ除ク

新町通一丁目新町橋ヨリ西へ五丁目高橋筋迄

但通筋及横堀筋堀ノ側筋道者横町阿波橋筋問屋橋筋尖喰屋橋

筋西二橋筋高橋筋ヲ除キ南北筋及高橋筋ヲ西へ一圓

新町南通一丁目ヨリ五丁目

但通筋及横堀筋字堀ノ側宇和島橋筋問屋橋筋尖喰屋橋筋白髮

橋筋鯉座橋筋玉造橋筋ヲ除ク

但横堀筋日吉橋筋幸橋筋沙見橋筋ヲ除ク

西道頓堀通一丁目ヨリ六丁目

但通筋及横堀筋日吉橋筋幸橋筋沙見橋筋ヲ除ク

南堀江一番町ヨリ三番町

但日吉橋及道頓堀川筋堀江川ノ濱通ヲ除ク

幸町通一丁目ヨリ五丁目

但幸榮橋ヨリ西へ日吉橋筋迄ノ表通ヲ除ク

幸町裏通一圓

高砂町花園橋筋ヨリ北へ行當リ及梅本橋筋ヲ除ク一圓

十返町

花園町千代崎橋筋及天神表門筋ヲ除キ一圓

本田一番町ヨリ三番町

但木津川濱通及大涉橋古川橋筋ヲ除ク

本田町通一丁目ヨリ三丁目

但通筋及木津川濱通ヲ除ク

一道路ノ交叉ニヨリ等級ノ跨ルモノハ其上位ニ依ルモノトス

一町名ヲ以テ區分セルモノハ其町ノ全体ヲ指シタルモノナリ

●家屋税割税率輕減ノ件

明治四十三年九月一日
大阪市告示第六九號

本市會ノ議決ヲ經大阪府參事會ノ許可ヲ得テ明治四十三年度ヨリ全
四十七年度ニ至ル五ヶ年間左ノ區域ニ對スル市稅家屋稅割ハ其ノ稅
率ヲ輕減シテ本稅壹圓ニ付金拾八錢ヲ賦課ス

一區域

西區一條通、二條通、三條通、四條通、五條通、六條通、七條通
八條通、出崎町、北福崎町、全區櫻島町地先市埋立地

●所得金(第一種)決定額届出方

明治卅二年九月十六日
大阪市告示第四三號

一本市内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ又ハ營業ヲ爲ス法人ニシテ所得稅
法第三十五條ニ依リ政府ヨリ所得金額決定ノ通知ヲ受ケタルトキ
ハ十日以内ニ其金額ヲ所轄區長ヘ届出ツ可シ

但市制第九十四條ニ依リ控除ヲ受ケヘキモノアルトキハ其所得
金額及事由ヲ詳記スヘシ

一本告示以前ニ於テ前項ニ該當スルモノハ九月三十日迄ニ届出ツ可
シ

●營業稅附加稅賦課方

明治卅七年六月廿八日
訓令總第二七號

區 役 所

(沿革) 三十七年一月訓令總第三三號、三十九年三月訓令第一五號

改正

市内及市外ニ營業所ヲ置キ營業稅法第十五條第二項ニ依リ營業稅ヲ
合算シテ納付スル者ニ對スル附加稅ノ賦課方左ノ通心得可シ

一 本年大阪市告示第三十六號ノ規定ニ依リ届出ヲ不相當ト認メタル
トキ又ハ其届出ナキトキハ左ノ區別ニ依リ本稅額ヲ算定ス

(一) 銀行業

資本金額ハ收入金額ノ比例ニ依リ建物賃貸價格及從業者ハ
事實ニ依リ各營業所毎ニ之ヲ算出シ其本稅額ヲ算定ス

(二) 保險業

資本金額ハ保險料收入額ノ比例ニ依リ之ヲ算出スルノ外前
ニ全シ

(三) 金錢貸付業及物品貸付業

資本金額ハ利子若クハ損料收入額ノ比例ニ依リ之ヲ算出ス
ルノ外前ニ全シ

(四) 倉庫業

資本金額ハ保管料收入額ノ比例ニ依リ之ヲ算出スルノ外前
ニ全シ但保管料收入額ハ之ヲ生セシメタル倉庫ニ屬ス

第十九類 徵稅、使用料、手数料

●所得稅(第三種)附加稅納 稅義務者届出方

明治卅七年六月十四日
大阪市告示第三四號

一 市内ニ於テ第三種所得稅ヲ納ムル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當ス
ル者ハ政府ヨリ所得金額決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ
其所有、營業、住居若クハ滞在ノ事實ヲ所轄區長ニ届出ツ可シ

(一) 他市町村ニ土地又ハ家屋ヲ所有スル者

(二) 他市町村ニ營業所ヲ置キテ營業スル者

(三) 他市町村ニ住居スル者

(四) 他市町村ニ三ヶ月以上滞在スル者

二 本市外ニ於テ第三種所得稅ヲ納ムル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當
スル者ハ政府ヨリ所得金額決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内
ニ其納稅地ノ稅務署ヲ經テ所轄區長ニ届出ツ可シ

(一) 本市ニ住居スル者

(二) 本市ニ三ヶ月以上滞在スル者

(三) 本市ニ土地又ハ家屋ヲ所有スル者

(四) 本市ニ營業所ヲ置キテ營業スル者

(五) 製造業

資本金額ハ製造品價額ノ比例ニ依リ之ヲ算出スルノ外前ニ
全シ

(六) 印刷業及寫眞業

資本金額ハ收入金額ノ比例ニ依リ之ヲ算出スルノ外前ニ全シ

(七) 運送業、運河業、棧橋業、船渠業、船舶定繫場業及貨物陸揚
場業

資本金額ハ營業收入金額ノ比例ニ依リ從業者ハ事實ニ依リ各
營業所毎ニ之ヲ算出シ其本稅額ヲ算定ス

(八) 鐵道業

收入金額ハ各停車場毎ニ之ヲ算出シ從業者ハ其收入金額ノ比例
ニ依リ之ヲ算出シ其本稅額ヲ算定ス

一 前各號ノ内資本金額ヲ各區別ニ依リ算定スルコト能ハサルトキハ
建物賃貸價格及從業者ノ比例ニ依リ資本金額ヲ算出ス

●營業稅附加稅納稅義務者 届出方

明治卅七年六月廿九日
大阪市告示第三六號

(沿革) 三十七年一月大阪市告示第四十號改正

第十九類 徵稅、使用料、手數料

六〇二

本市ノ内外ニ營業所ヲ置キ營業稅法第十五條第二項ニ依リ營業稅ヲ合算シテ納付スルモノハ左ノ區別ニ依リ毎年三月二十日迄ニ市内各營業所々在地ノ區長ニ届出ヲ爲ス可シ
但本年ニ在ツテハ七月十日迄ニ届出ツヘシ
一 銀行業、保險業、金錢貸付業及物品貸付業ハ別紙第一號樣式ニ依ル

二 倉庫業ハ別紙第二號樣式ニ依ル
三 製造業印刷業及寫真業ハ別紙第三號樣式ニ依ル
四 運送業、運河業、棧橋業、船渠業、船舶定繫場業及貨物陸揚場業ハ別紙第四號樣式ニ依ル
五 鐵道業ハ別紙第五號樣式ニ依ル

第一號樣式 (銀行業、保險業、金錢貸付業及物品貸付業)

營業稅區分届

住所 何所

何々會社 (何

某)

營業稅納付地	何府縣郡市町村
營業名	何々業
營業所	何所(本店) 何所(支店) 何所(支店) 計 備 考
營業稅額	何千圓
資本金額	何拾萬圓
建物賃貸價格	何萬圓
從業者	何百人 何百人 何百人 何千人
收入金額(銀行業ニ限ル)	何萬圓
保險料收入額(保險業ニ限ル)	何萬圓
利子收入額(金錢貸付業ニ限ル)	何千圓
損料收入額(物品貸付業ニ限ル)	何千圓
前年一月ヨリ十二月迄一ケ年分	前年一月ヨリ十二月迄一ケ年分

右及御届候也
年 月 日

右 (右代表者)

何

某印

第二號樣式 (倉庫業)
大阪市何區長何某殿
營業稅區分届

住所 何所
何々會社 (何 某)

營業名	
營業稅納付地	

第十九類 徵稅、使用料、手數料

六〇三

第十九類 徵稅、使用料、手数料

倉庫所在地	營業稅額	資本金額	建物賃貸價格	從業者	保管料收入額
何					
所					
何					
所					
何					
所					
計					
備					
考					

右
及御届候也
年 月 日
(備考) 欄内記入方ハ第一號様式ニ同シ

大阪市何區長何某殿

第三號様式 (製造業、印刷業及寫眞業)
營業稅區分届

右 (右代表者)
何

某印

住所何所
何々會社(何

某)

營業名	營業稅納付地	營業所	營業稅額	資本金額	建物賃貸價格	普通從業者	職工勞役者	製造品價格(製造業ニ限ル)	收入金額(印刷業及寫眞業ニ限ル)
		何							
		所							
		何							
		所							
		何							
		所							
		計							
		備							
		考							

右
及御届候也
(備考) 欄内記入方ハ第一號様式ニ同シ
第十九類 徵稅、使用料、手数料

第十九類 徵稅、使用料、手数料
年 月 日

大阪市何區長何某殿

第四號樣式 (運送業、運河業、棧橋業、船渠業、船舶定繫揚場業及貨物陸揚場業)
營業稅區分局

右 (右代表者)
何
住所何所
何々會社(何
某印

營業稅納付地	營業名

營業所	營業稅額	資本金額	從業者	營業收入金額
何所				
何所				
何所				
何所				
計				
備				
考				

(備考) 欄內記入方ハ第一號樣式ニ同シ
右 及 御 届 候 也
年 月 日

右 (右代表者)
何
住所何所
何々會社(何
某印

第五號樣式 (鐵道業)
大阪市何區長何某殿
營業稅區分局

住所何所
何々會社(何
某)

營業稅納付地	營業名

營業所	營業稅額	收入金額	從業者
何々停車場			
何々停車場			
何々停車場			
計			
備			
考			

第十九類 徵稅、使用料、手数料

(備考) 欄内記入方ハ第一號様式ニ同シ

右 及 御 届 候 也
年 月 日

大阪市何區長何某殿

●營業稅附加稅納稅義務者届出ヲ爲ササルトキ附加稅賦課方

明治三十七年八月廿九日
大阪市告諭第二號

本市ノ内外ニ營業所ヲ置キ營業稅法第十五條第二項ニ依リ營業稅ヲ合算シテ納付スル者本年六月二十九日附大阪市告示第三十六號ノ届出ヲ爲サ、ルトキハ附加稅ハ認定ヲ以テ之ヲ賦課スヘキニ由リ納稅義務者ハ此旨了知セララルヘシ

右 (右代表者)

何 某 印

●報償金額ヨリ市稅控除方

明治四十二年七月八日
市會 議 決

大阪巡航株式會社ニ對シ府稅雜種稅ヲ課稅標準トシテ賦課スル市稅雜種稅割ニ相當スル金額ハ同會社ヨリ納付セシムル報償金額ヨリ之ヲ控除スルモノトス

●郵便振替貯金ニ依ル收納規程

明治四十二年五月廿一日
告示 第三〇號

(沿革) 四四年一〇月大阪市告示第六〇號改正

第一條 國稅、府稅、市稅、區費及其他ノ收納金ハ郵便振替貯金ノ拂込又ハ振替ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得

第二條 法令其他ノ規程ニヨリテ定マリタル納期ヲ經過シタルトキハ前條ノ方法ニ依ルコトヲ得ス

第三條 本規程ハ明治四十二年五月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

納付書ヲ用フヘシ但シ納付書ニハ本市主務課長其ノ他之ニ準スヘキモノ、認印アルモノニ限ル

第二條 郵便振替貯金ニ依ル納入ノ通知ヲ受ケタルトキハ相當帳簿ニ收入ノ旨ヲ登記スヘシ

第三條 前條ノ納金正當ニ受領スヘキモノナラサルトキハ直ニ之ヲ納入ニ還付スヘシ
但府ノ收入ニ屬スル場合ハ便宜之ヲ府金庫ニ拂込ムコトヲ得
前項ノ納金ハ一時取扱金トシテ之ヲ整理スヘシ

第四條 郵便振替貯金受拂通知票記載ノ現在高ハ現金ト看做シ市現金取扱人保管ノ現在高ト共通ニ之ヲ整理スヘシ

第五條 區收入役ノ口座ニ屬スル貯金ヲ市收入役ニ送納スルトキハ振替ノ方法ニ依ルヘシ
但臨時急施ヲ要スル場合ハ直接市現金取扱人ニ對シテ振替ヲ爲スコトヲ得

●郵便振替貯金ニ依ル收納規程施行細則

明治四十二年五月廿一日
廳 達 第一四號

(沿革) 四四年一〇月廳達第二〇號改正

第一條 郵便振替貯金ニ依リ各種ノ收納金ヲ納付セシムヘキ場合ハ別紙様式ノ納稅告知書、徵稅傳令書、徵稅令書、納額告知書又ハ

●郵便振替貯金ニ依ル納稅告知書、徵稅傳令書、徵稅令書、納額告知書及納付書様式

明治四十四年十月一日
大阪市告示第六二號

郵便振替貯金ニ依ル納稅告知書、徵稅傳令書、徵稅令書、納額告知書及納付書様式左ノ通相定メ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十九類 徵稅、使用料、手数料

第十九類 徵稅、使用料、手数料

知 書

右 年 月 日 限リ郵便振替貯金ニ依リ當市役所ニ納付スヘシ
 但直接當市役所ニ納付スルコトヲ得

明治 年 月 日

大阪市長 何 某 團

郵便貯金支 局日附印	入郵便局 日附印受
---------------	--------------

原 符

考 備	者入加	一金 何 程	第 號	大 振 替 貯 金 口 座 番 號 阪 何 番 號	何 所
	大 阪 市 收 入 役				
	印日支貯郵 附局金便				
	附入局郵 印日受便				
		何 々			何 某 納
日 計	口 數	金 額			圓

領 收 證 書

大 振 替 貯 金 口 座 番 號 阪 何 番 號	何 所	一 金 何 程	何 々	何 某 納
		右 領 收 候 也	大 阪 市 收 入 役	
一此領收證書ハ市現金取扱人郵便局又ハ郵便貯金局若クハ同支局ノ受入日附印ノ押捺ニ由リテ其効力ヲ生ス				
		大 阪 市 收 入 役		何 某 團
		印 附 日 入 受		

納

主 務 課 長 (又ハ之ニ 準スヘキ者) 認 印	何 所	大 振 替 貯 金 口 座 番 號 阪 何 番 號	何 某 納
-----------------------------	-----	------------------------------	-------

第十九類 徵稅、使用料、手数料

付		書	
入金者	右納付候也	入金者	大阪市何區收入役
一金何程		何	
款		項	
郵便局受附日入		郵便貯金支附日局	

符	原	振替貯金口座番號	何所	何	某納
考備	者入加	大阪何區收入役			
日附印	支貯郵便				
日附印	局受郵便				
口數	金額				
日計					

●郵便振替貯金加入口座ニ表示スヘキ名義

明治四十四年十月一日
大阪市告示第六十一號

郵便振替貯金加入口座ニ表示スヘキ名義左ノ如ク變更セリ

- 大阪特第一番 大阪市收入役
- 大阪特第二番 大阪市東區收入役
- 大阪特第三番 大阪市西區收入役
- 大阪特第四番 大阪市南區收入役

●府稅ノ徵稅傳令書樣式

大阪特第五番 大阪市北區收入役

明治四十二年五月廿八日
大阪市告示第三四號

大阪府知事ノ認可ヲ受ケ明治三十九年告示第十九號府稅徵稅傳令書樣式ノ別紙樣式ノ通變更ス

領	第何號	明治何年度府稅	何市町村	何某	納
收	(款) 何稅	(項) 何稅	(目) 何稅	第何期	分
證	右領收候也				

第十九類 徵稅、使用料、手数料

大阪府知事 何 某

第十九類 徵稅、使用料、手數料

一此領收證書ハ市現金取扱人ノ受入日附印ノ押捺ニ由リテ其効力ヲ生ス

大阪市何區長 何 某區

書

印附日入受

徵稅令書

第何號	明治何年度府稅	何市町村何某納
(款) 何	(項) 何	(目) 何
税金 何程	稅	稅
右明治 年 月 日 限リ納付セラルヘシ		
明治 年 月 日		
大阪市何區長		

別符

(款) 何	稅	(項) 何	稅	(目) 何	稅	第何期分
一金 何程						
明治 年 月 日						

市稅滯納處分取扱方

明治三十年九月十一日
大阪市訓令參第四〇號
區 役 所

- 市稅滯納處分取扱方左ノ通心得ヘシ
- 第一條 國稅徵收法第九條其他ニ掲クル收稅官吏ノ事務ハ區長之ヲ取扱フヘシ
 - 第二條 國稅徵收法第十一條及同施行細則第九條ノ證票ニハ區役所ノ印ヲ押捺スヘシ
 - 第三條 國稅徵收法第二十四條ノ買受望人ナキカ又ハ其價格見積價格ニ達セサル物件ノ買上ヲ要スル場合アルトキ市參事會ノ指揮ヲ

第十九類 徵稅、使用料、手數料

乞フヘシ

- 第四條 國稅徵收法施行規則第十九條ノ場合ハ其財産所在地ノ市參事會又ハ區長及町村長ニ囑託スヘシ
- 第五條 市稅ノ督促ハ市制第二百二條ニ據ルヘシ

賦課徵收及滯納處分ニ關スル書類送達ニ關スル條例

明治卅七年二月十八日
大阪市條例第一號
市稅其他公法上ノ收入金ノ賦課徵收及滯納處分ニ關スル書類ノ送達

第十九類 徵稅、使用料、手數料

ニ付テハ國稅ニ關スル規定ヲ準用ス

●市稅其他徵收事務ニ關スル帳簿樣式

明治卅六年二月十三日
訓令 第八號

市稅其他徵收事務ニ關スル帳簿樣式別紙ノ通改正明治三十六年度ヨリ施行ス
(別紙ハ略ス)

●特別稅及使用料ヲ賦課徵收セサル件

明治卅六年五月四日
大阪市條例第四號

本市會ノ議決ヲ經タル特別稅及使用料ヲ賦課徵收セサル件ニ關スル條例內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通之ヲ定ム
特別稅使用料ヲ賦課徵收セサル件
左記各號ノ一二該當スル者ニ對シテハ市會ノ議決ニ依リ其行爲、物

●市稅及區費徵稅令書記入方

明治三十六年一月廿二日
訓令 第三號

市稅及區費ノ徵稅令書ニシテ金額ヲ列記シ發布スル場合ハ合計金額ヲ記入スヘシ
但本令ハ明治三十六年度ヨリ施行ス

第二章 使用料

●河川使用料規程

明治四十三年五月廿七日
大阪市告示第四十五號

本市會ノ議決ヲ經テ河川使用料規程左ノ通相定ム
河川使用料規程

- 第一條 本市內川中ノ使用又ハ河川法ニ規定シタル事項ヲ準用セル河川占用ノ許可ヲ受ケタルモノニ對シテハ此規程ニ據リ使用料若クハ占用料ヲ徵收ス可シ
- 第二條 使用料及占用料ハ別表ノ區分ニ依リ徵收ス可シ
- 第三條 使用料又ハ占用料ノ徵收期左ノ如シ
- 一年ヲ以テ使用又ハ占用ヲ許可シタルモノハ左ノ二期ニ徵收ス

- 但徵收期限後新クニ使用又ハ占用ノ許可ヲ受ケタルモノハ其許可ノ日ヨリ十日以内トス
- 第一期 其年 四月ヨリ 四月一日ヨリ
九月マテ 其年 全月十五日限
- 第二期 其年 十月ヨリ 十月一日ヨリ
三月マテ 其年 全月十五日限
- 二月又ハ日ヲ以テ使用又ハ占用ヲ許可シタルモノハ其許可ノ日ヨリ十日以内ニ全額ヲ徵收ス
- 第四條 公益ノ爲メ使用又ハ占用スルモノニ對シテハ市參事會ニ於テ特ニ其料金を輕減又ハ免除スルコトアル可シ
- 第五條 明治二十四年五月本市告示第十六號川中使用料徵收法ハ本規程施行ノ日ヨリ廢止ス

(別表) 河川使用及占用料表

等級	河川名	使用目的	諸廣告		工作物施設 竹木浮場 居住ニ類スル 船理物掛出 船繫場	貯藏場ニ類スル 船、遊船、釣船、水貸 船、遊船、晒場、船棧、橋生 洲、船生洲籠	回漕ヲ業トスル諸船及 以上列記外ノモノ
			年	円			
第一等	東横堀川		年	円			
	西横堀川		年	円			
	道頓堀川		年	円			
	長堀川		年	円			
	江戸堀川		年	円			
	京町堀川		年	円			

第十九類 徵稅、使用料、手數料

二 等										三 等									
阿波堀川	海部堀川	薩摩堀川	百間堀川	立賣堀川	堀江川	曾根崎川	天満堀川	難波新堀川	猪間川	櫻入堀川	高津入堀川	馳堀川	十三間川	木場川	鯉江川	逆川	古川	天保町堀割	
年					年					年					年				
二〇〇〇					一五〇〇					一五〇〇					一三〇〇				
年					年					年					年				
一五〇〇					一〇〇〇					七〇〇					三〇〇				
年					年					年					年				
五〇〇					五〇〇					三〇〇					三〇〇				

●公園地使用料條例

明治三十四年七月廿四日 大阪市條例第一號

(沿革) 四二年二月條例第一號改正

本市會ニ於テ公園地使用料條例ヲ議決シ市制第二百二十一條及第二百二十二條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

公園地使用料條例

第一條 使用料ハ左ノ金額ノ範圍内ニ於テ實地ヲ參酌シ市參事會之ヲ定ム但公益事業ノ爲メ使用スルモノハ之ヲ徵收セサルコトアル

一ヶ月未満ハ一ヶ月ニ付年額ノ十分ノ一、一ヶ月未満ハ一日ニ付月額ノ二十分ノ一トシ厘位ハ總テ錢位ニ繰上ケルモノトス廣告ノ爲メニ使用若クハ占用スルモノニシテ其廣告板ノ面積カ敷地ノ面積ヨリ廣キトキハ廣告板ノ面積ニ依リ徵收ス但裏面及側面ノ一方ハ面積中ニ算入セス

- 一 年ヲ以テ使用ヲ許可スルモノハ一ヶ月ニ付金八圓
- 二 月ヲ以テ使用ヲ許可スルモノハ一ヶ月ニ付金八拾錢
- 三 日ヲ以テ使用ヲ許可スルモノハ一日一坪ニ付金參錢
- 四 公園管理規則第七條第十條第十一條及第十三條第二項ニ違背シ若クハ第九條ノ命令ニ違背シタルモノ又ハ許可ヲ得スシテ使用シタルモノヨリ徵收スル特別使用料ハ一日一坪ニ付金參拾錢

第二條 使用料ノ計算方法ハ左ノ如シ

- 一 年ヲ以テ使用料ヲ定メタルモノニシテ其使用期間ノ四月ニ起リ三月ニ終了スルモノハ年額トシ五月以後ニ起リ若クハ二月以前ニ終了スルモノハ年額ノ月割ヲ以テ算定ス
- 二 月ヲ以テ使用料ヲ定メタルモノハ初月終月ヲ問ハス總テ全月額トス

第三條 使用料ノ徵收期ハ左ノ如シ

- 一 年ヲ以テ使用料ヲ許可シタルモノハ會計年度ニ依リ全年度分ヲ其年度ノ四月中ニ徵收ス但四月以後新ニ許可シタルモノハ初年度分ニ限り許可ノ日ヨリ十日以内ニ徵收ス
- 二 月又ハ日ヲ以テ使用料ヲ許可シタルモノハ其許可ノ日ヨリ十日以内ニ全額ヲ徵收ス

第四條 本市ノ都合ニヨリ使用ノ許可ヲ取消シタル爲メ土地ノ原狀ニ復シタル旨届出タル場合ニ於テ其使用料ノ年又ハ月ヲ以テ定メ

第十九類 徵稅、使用料、手数料

●渡船使用料條例

明治四十一年十二月三日 大阪市條例第六號

本市會ニ於テ渡船使用料條例ヲ議決シ市制第二百二十一條及第二百二十二條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

渡船使用料條例

第一條 渡船使用料ハ別表ノ區別ニ據リ乘船ノ都度使用者ヨリ之ヲ徵收ス但別表記載セサル重量二十貫目以下ト認ムヘキ物若クハ法令ニ別段ノ規定アルモノニ就テハ總テ料金を徵收セス 學校幼稚園其他多數團體員ノ乘船ニ關シテハ特ニ料金を割引ヲ爲スヘシ

第二條 常時乗船者ニ對シテハ回数乘船券ヲ發行シ前條ノ料金を相當ノ割引ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ乘船券ト引換ニ料金ヲ徵收スヘシ

六二五

渡船使用料定額表

川名	安 治 川									
	富	立	西	一	源	二	中	三	松	天
渡	島	石	九	丁	兵	丁	丁	日	鼻	保
船	島	條	日	日	日	日	日	日	山	山
場	島	條	日	日	日	日	日	日	山	山
乗客一人	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
人力車一輛	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
牛馬車一輛	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
牛馬一頭	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
荷車一輛	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
駕籠一挺	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
貨物重量二十貫目以上	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘

川名	津 川				
	下	瀨	今	難	船
船	津	木	木	二	二
場	津	木	木	二	二
乗客一人	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
人力車一輛	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
牛馬車一輛	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
牛馬一頭	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
荷車一輛	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
駕籠一挺	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘
貨物重量二十貫目以上	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘	金五厘

● 渡船使用料條例施行細則

明治四十二年四月一日
大阪府告示第一九號

(沿革) 四四年二月告示第八號改正
本市渡船使用料條例施行細則左ノ通り相定ム

渡船使用料條例施行細則

第一條 學校幼稚園其他多人數一團ヲ爲シ通行スル者乗船セントス
ル場合ニ於テ其代表者ヨリ請求アリタルトキハ左ノ區別ニ從ヒ料

第十九類 徵稅、使用料、手數料

金ノ割引チナスヘシ

一 參拾人以上五拾人未滿

二 五拾人以上百人未滿

三 百人以上

第二條 常時乗船者ノ爲メ發行スヘキ回数乗船券ハ料金ノ五割引ト

第三條 前條ニ依リ發行シタル回数乗船券ハ同一川筋ニシテ使用料

ノ同一ノモノニ限リ共通使用スルコトヲ得

第十九類 徵稅、使用料、手数料

但尻無川ハ木津川ト同一川筋ト看做ス

●公會堂使用規程

明治卅六年十二月廿七日 市會議決

(沿革) 三十七年九月市會議決改正

- 第一條 中ノ島公會堂ハ之本市直接ノ使用ニ供ス
- 第二條 公會堂ハ本市直接ノ使用ニ供セサル場合ハ之ヲ貸貸スルコトヲ得
- 第三條 但行政廳ノ求アル場合ハ無償ニテ其使用ニ供スルコトヲ得
- 第四條 公會堂ノ貸貸料ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム
- 第五條 本規程施行ニ關スル細則ハ市參事會之ヲ定ム

(別表)

中之島公會堂貸貸料定額表

使用時間種別	公益ヲ目的トスルモノ		公益ヲ目的トセサルモノ
	會合者ニ入場料其他金錢ヲ請求セサルモノ	會合者ニ入場料其他金錢ヲ請求スルモノ	
(午前) 自日出至正午前	三〇〇〇	七〇〇〇	一〇〇〇〇
(午後) 自正午至日没	五〇〇〇	一〇〇〇〇	一五〇〇〇
(晝) 自日出至日没	七〇〇〇	一五〇〇〇	二〇〇〇〇
(夜) 自日没至午後十二時	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	三〇〇〇〇
(晝) 自日出至午後十二時	一五〇〇〇	三〇〇〇〇	四五〇〇〇

實際ノ使用時間規定ノ使用時間ニ滿タサルモ貸貸料ハ之ヲ減額スルコト無シ

●市費支辨ニ屬スル道路使用料評價格表

明治三十三年四月卅日市參事會議決
 全年五月廿九日大阪府知事認可

等級	級	使用一年一坪ニ付料	使用一月一坪ニ付料	使用一日一坪ニ付料
壹	等	金七圓五拾六錢	金九拾四錢五厘	金四錢壹厘
貳	等	金六圓	金七拾五錢	金參錢參厘
參	等	金四圓五拾六錢	金五拾七錢	金貳錢五厘
四	等	金參圓	金參拾七錢五厘	金壹錢六厘
五	等	金壹圓八拾錢	金貳拾貳錢五厘	金壹錢

右等級別實地ノ區域ハ別冊ノ通トス
 (別冊) 一 等

- 道頓堀筋字松屋町筋ヨリ西へ戎橋東角迄
- 道頓堀筋字千日前筋ヲ南へ榎神社ノ辻迄
- 順慶町字井池筋ヨリ西へ新町橋東詰迄
- 西區雜喉場橋東詰北角ヨリ北へ江戸堀下通迄
- 茂左衛門橋北詰ヲ北へ京町堀上通筋ヨリ西へ行當リ迄
- 江戸堀下通茂左衛門橋筋ヨリ西へ濱迄
- 千代崎橋西詰西へ花園橋東詰迄

第十九類 徵稅、使用料、手数料

新町橋西詰ヨリ西へ堀ノ側筋迄

- 東區本町橋西詰ヨリ西へ心齋橋筋迄
- 高麗橋二丁目難波橋筋西角ヨリ西へ淀屋橋筋迄
- 北濱濱通二丁目難波橋筋東角ヨリ東へ行當迄及ヒ難波橋ノ東ノ辻ヲ南へ内通筋ヲ東へ八百屋町筋ノ東ノ辻迄
- 平野町五丁目御靈筋ヲ南へ淡路町通迄
- 北區中ノ島山崎ノ鼻難波橋際ヨリ西へ豐國神社門前筋迄
- 船大工町大江橋筋ヲ北へ蛸橋ヲ經テ行當東へ字長池筋迄
- 天神表門前筋ヨリ南へ濱通迄

第十九類 徵稅、使用料、手数料

天神橋一丁目天神橋北詰東角ヨリ東へ河内町筋迄
古川橋北詰北へ富島町濱波止場迄

二 等

西區吉野屋橋南詰ヨリ御池橋筋迄
西長堀南通二丁目宇和島橋筋ヨリ西へ玉造橋筋迄
北堀江上通二丁目宇和島橋筋ヨリ西へ問屋橋筋迄
北堀江御池通二丁目宇和島橋筋ヨリ西へ問屋橋筋迄
北堀江通四丁目高臺橋筋ヨリ西へ坂榮橋筋ノ西ノ辻及鐵橋筋ヨリ西へ千代崎橋東詰迄
富田屋橋東詰ヨリ南へ北堀江通筋迄
吉野屋橋北詰北へ新一橋、阿波堀橋、東上橋ヲ經テ榎木橋南詰迄

西長堀北通一丁目吉野屋橋筋ヨリ西へ玉造橋筋迄
新町南通一丁目横堀筋ヨリ西へ字狸小路迄
新町通一丁目字堀ノ側筋ヨリ西へ立賣堀高橋筋迄
新町北通榎橋筋ヲ北へ阿波座中通筋迄
新町通三丁目中橋筋ヲ南へ問屋橋北詰迄
新町通五丁目高橋筋ヲ南へ行キ新町南通筋西へ松島橋東詰迄
松島橋西詰ヨリ西へ梅本橋東詰迄
大湊橋西詰ヲ西へ字妙見筋ヲ北へ曲リ西へ古川橋筋迄
松島仲ノ町千代崎橋筋ヨリ北へ行當迄
富島裏町中津橋北詰ヲ北へ波止場濱迄及中津橋筋ノ東ノ辻ヲ北へ波止場濱迄

靱中通茂左衛門橋筋ヨリ東へ永代濱ヲ經テ花屋橋筋迄
靱南通字永代濱門樋橋東ノ辻ヲ北へ靱上通筋迄
京町堀上通五丁目茂左衛門橋筋ヲ北へ江戸堀下通筋迄
紀伊國橋北詰ヨリ北へ阿波殿橋ヲ經テ常安橋南詰迄
江戸堀北通犬齋橋筋ヲ南へ京町堀通北ノ辻迄
常安橋北詰ヨリ北へ府立病院前筋迄
肥後橋北詰ヨリ北へ渡邊橋南詰迄
淀屋橋北詰ヨリ北へ大江橋南詰迄
中ノ島一丁目淀屋橋及大江橋筋以東豐國神社門前筋迄
曾根崎新地二丁目櫻橋筋ヨリ東へ字狸小路筋迄
堂島濱通一丁目渡邊橋筋東ノ辻ヲ北へ全中通筋迄
但米穀取引所ノ横手

若松町濱通難波橋筋ヨリ東へ大平橋ヲ經テ天神橋筋西ノ辻筋迄
天神橋筋一丁目樋上橋筋ノ南ノ辻ヲ東へ河内町通迄
大工町堀川橋筋ヲ南へ天神裏門前迄
天神橋筋二丁目ヨリ東へ此花町通筋迄
但天神表門東西筋
北濱濱通淀屋橋筋ヨリ東へ難波橋筋迄
北濱内通淀屋橋筋ヨリ東へ堺筋迄
横堀一丁目尼ヶ崎橋東詰ヨリ東へ今橋西詰迄
筋違橋東詰ヨリ東へ淀屋橋筋迄
備後町御堂筋ヨリ東へ堺筋迄
本町心齋橋筋ヨリ東へ本町橋ヲ經テ天神橋筋迄

南久寶寺町井池筋ヨリ東へ久寶寺橋西詰迄

淡路町御堂筋ヲ南へ行當迄

淀屋橋南詰ヲ南へ平野町通筋迄

高麗橋筋ノ心齋橋筋ヲ南へ平野町通筋迄

備後町御堂筋ヲ南へ順慶町通筋迄

本町座摩前筋ヲ南へ順慶町通筋迄

順慶町井池筋ヲ東へ堺筋迄

安堂寺橋通二丁目堺筋ヲ東へ安堂寺橋西詰迄

御池橋東詰ヨリ東へ三休橋筋迄

鰻谷濱通竹屋町筋ヲ東へ安綿橋筋迄

安綿橋南詰ヨリ南へ大寶寺町東ノ丁九之助橋筋迄

佐野屋橋南詰ヨリ南へ字八幡町通迄

相合橋北詰北へ八幡筋迄

太左衛門橋北詰北へ八幡筋迄

瓦屋町瓦屋橋筋南へ行キ東へ高津表門筋迄

東櫓町字竹横町筋及相合橋筋ヲ南へ裏坂町筋迄

坂町表通字千日前筋ヨリ東へ日本橋筋迄

難波新地二番丁字中筋新戎橋筋ヨリ東へ堀ノ側筋迄

九郎右衛門町戎橋筋ヨリ西へ浪吉橋ヲ經テ湊町東榮橋東詰迄

難波難波銀行南角ヨリ南へ八坂神社前ヲ鷗橋筋迄

木津鷗橋南詰ヨリ南へ行當迄

木津鷗橋南詰ヨリ南へ二筋ノ辻各東大國筋迄

九條花園橋西詰ヨリ西へ二丁目橋筋迄

第十九類 徵稅、使用料、手数料

三 等

北區天滿橋筋一丁目濱通ヲ西へ河内町筋迄

天神筋町櫓屋橋筋ヲ西へ老松町一丁目難波橋筋迄

天神橋筋二丁目ヨリ東へ此花町通筋迄但古手屋筋

天神橋筋二丁目堀川橋筋ノ南ノ辻ヲ東へ行當北へ曲リ東へ此花町通筋迄但天神裏門筋

船大工町大江橋筋ヨリ西へ助成橋筋迄

曾根崎橋南詰ヲ南へ船大工町通筋迄及夫ヨリ一丁目西ノ辻角ヨリ南へ堂島仲通筋迄

曾根崎新地櫻橋筋ヨリ西へ綠橋筋迄

堂島仲通曾根崎橋筋ヲ西へ助成橋筋迄

堂島濱通二丁目助成橋筋ヲ北へ曾根崎新地三丁目通迄

堂島濱通一丁目曾根崎橋筋ヲ北へ船大工町通迄

中ノ島二丁目大江橋筋ノ堂島川沿道ヲ西へ渡邊橋筋迄

中ノ島二丁目淀屋橋筋ノ土佐堀川沿道ヲ西へ端建藏橋筋迄

中ノ島四丁目田養橋筋ヲ堂島濱且ツ沿道ヲ西へ船津橋筋ヲ南へ土佐堀川沿道迄

筑前橋北詰北へ田養橋ヲ經テ堂島濱通迄

玉江橋南詰ヨリ南へ府立病院前筋迄

富島裏町中津橋筋ノ西ノ辻ヨリ東へ行當迄

中津橋南詰ヨリ南へ本田町通迄

本田町通國津橋西詰西角ヨリ東へ通筋ヲ字妙見筋迄

本田三番丁古川橋筋ノ字妙見筋ヲ北へ本田二番丁通筋及妙見筋

第十九類 徵稅、使用料、手数料

ノ西ノ迂ナ北へ本田二番丁筋迄

本田町通二丁目濱筋ナ北へ本田二番丁通迄及濱通ナ南へ梅本橋筋ナ東へ橋筋迄

高砂町一、二丁目梅本橋筋ナ除キ一圓

仲ノ町一丁目二丁目通筋及千代崎橋筋、梅本橋筋、松ヶ鼻ナ除キ一圓

古川橋南詰ナ西へ中津橋筋迄

松島町一丁目二丁目千代崎橋筋ナ除キ一圓

花園町花園橋筋及字堀割兩側ノ筋ナ除キ一圓

幸町表通日吉橋筋ナ東へ幸榮橋西詰迄但幸橋、住吉橋、日吉橋

沙見橋ノ兩詰ヲ含有ス

日吉橋北詰ヨリ北へ鐵橋ヲ經テ行當迄

日吉橋ノ北詰ナ東へ金屋橋ノ西詰迄但沙見橋、幸橋、住吉橋各

北詰ヲ含有ス

南堀江上通瓶橋筋ヨリ東へ行當迄

南堀江通瓶橋筋ナ東へ高臺橋筋迄及同所隆平橋筋ナ東へ突當迄

御池橋ノ西詰ヨリ南へ堀江橋ヲ經テ西道頓堀通迄

北堀江通横堀筋ヨリ西へ高臺橋筋迄及坂榮橋筋ノ西ノ辻ヨリ西

へ鐵橋筋迄

横堀筋ノ御池橋筋ナ西へ堀江座芝居前迄

西長堀南通字和島橋筋ナ東へ横堀筋迄

南堀江上通隆平橋筋ヨリ北へ隆平橋、字和島橋ヲ經テ新町南通

迄

裏新町字道者横町ナ北へ行當迄

裏新町字堀ノ側筋ナ北へ行當迄

新町北通二丁目阿波橋筋ナ東へ行當迄但字九軒

新町通二丁目阿波橋筋ナ北へ阿波橋ヲ經テ字日向町ナ東へ横堀

筋迄

阿波堀裏町太郎助橋筋ナ北へ太郎助橋、上ノ橋、新難波橋ヲ經テ

京町堀通迄

阿波座上通花屋橋筋ナ北へ花屋橋、羽子板橋ヲ經テ京町堀通迄

靱下通花屋橋筋ナ西へ永代濱迄

靱上通花屋橋筋ナ西へ永代濱迄

靱上通花屋橋筋ナ西へ兩國橋筋迄

靱北通羽子板橋筋ヨリ西へ兩國橋筋迄

靱南通岡崎橋筋ノ西辻ヨリ東へ門樋橋ヲ經テ花屋橋筋迄

千秋橋北詰ヨリ北へ大目橋ヲ經テ越中橋南詰迄

江戸堀北通犬齋橋筋ヨリ北へ筑前橋南詰迄

江戸堀通撞木橋北詰北へ西國橋筋迄

土佐堀裏町船町橋西詰ヨリ西へ土佐堀濱通迄

西國橋東詰ヨリ東へ淀屋橋筋迄

横堀一丁目西國橋ヨリ南へ京町橋筋迄

横堀三丁目京町橋筋ナ南へ炭屋橋ヲ經テ字御池橋筋迄

本町難波橋筋ナ南へ平野町通迄

船町橋東詰ヨリ東へ淀屋橋筋迄

第十九類 徵稅、使用料、手数料

北堀江裏通阿彌陀池裏門筋ヨリ西へ行當北へ曲リ西へ鐵橋筋迄

北堀江三番丁玉造橋筋ヨリ西へ行當南へ千代崎橋筋迄

玉造橋南詰ヨリ南へ行當迄

西長堀北通玉造橋筋ナ西へ行キ北へ行當迄

玉造橋筋ノ同橋北詰ヨリ北へ松島橋筋迄

新町通五丁目玉造橋筋ナ北へ高橋ヲ經テ立賣堀北通迄

大湊橋東詰ヨリ東へ行當南へ江島橋ノ西詰迄

江島橋東詰ヨリ東へ高橋筋迄

西長堀北通鯉座橋筋ナ北へ西二橋ヲ經テ立賣堀北通迄

西長堀北通白髮橋筋ナ北へ尖喰屋橋、岡崎橋、下ノ橋及兩國橋

ヲ經テ京町堀通迄

茂左衛門橋南詰ナ南へ豊橋、下ノ橋ヲ經テ立賣堀北通迄

江戸堀下通五丁目茂左衛門橋筋ナ北へ西北橋ヲ經テ江戸堀北通

迄及西北橋南詰ヨリ西へ行當迄

立賣堀南通尖喰屋橋筋ヨリ東へ横堀筋迄

中橋南詰ナ南へ新町通迄

新町南通高橋筋ヨリ東へ問屋橋筋迄及問屋橋筋ヨリ東へ字狸小

路迄

新町通二丁目字砂場筋ナ南へ行當リ迄

裏新町字砂場筋ナ東へ横堀筋迄

新町通二丁目阿波橋筋ノ東ノ辻ナ南へ行當迄及全町字樋屋横町

ナ南へ行當迄

新町通二丁目字道者横町ナ南へ行當迄

伏見町二丁目界筋ヨリ西へ御靈筋迄

道修町一丁目東横堀筋ヨリ西へ横堀筋迄

北濱通一丁目八百屋町筋ノ東ノ辻ナ南へ行當迄及八百屋町筋ナ

南へ今橋通迄

北濱内通二丁目界筋ナ南へ今橋通迄

今橋一丁目今橋西詰ヨリ南へ南本町一丁目通迄

平野橋西詰ヨリ西へ界筋迄

高麗橋二丁目難波橋筋ナ南へ本町橋通迄

備後町横堀筋ヨリ西へ界筋迄

安土町二丁目界筋ヨリ西へ御靈筋迄

淡路町四丁目心齋橋筋ヨリ西へ横堀筋迄

平野町五丁目御靈筋ノ東ノ辻ナ南へ行當迄

道修町御靈筋表門筋ナ南へ行當リ迄

淡路町五丁目御靈筋ナ南へ備後町通迄及御靈筋ノ西ノ辻ナ南へ

信濃橋筋迄

信濃橋東詰ヨリ東へ心齋橋筋迄

南本町心齋橋筋ナ東へ界筋迄

唐物町心齋橋筋ナ東へ長堀橋筋迄

北久太郎町心齋橋筋ヨリ東へ農人橋ヲ經テ松屋町筋迄

北久寶寺町界筋ヨリ西へ御堂筋迄

南久寶寺町字井池筋ヨリ西へ佐野屋橋筋迄

高麗橋詰町天神橋筋ヨリ東へ骨屋町筋迄
豊後町平野橋筋ヨリ南へ博物館北横筋迄及忠案橋南詰ヨリ東へ
骨屋町筋迄

内本町松屋町筋ヨリ東へ骨屋町筋迄
谷町一丁目京橋二丁目通ヨリ南へ内安堂寺町通迄
農人橋詰町農人橋筋ヨリ南へ瓦屋町筋迄
但農人橋、久寶寺橋、安堂寺橋、九之助橋、瓦屋橋ノ各橋筋
ヲ包含ス

唐物町一丁目通横堀筋ノ北ノ辻ヨリ南へ安綿橋北詰迄
本町一丁目板屋橋筋ヨリ南へ板屋橋ヲ經テ鰻谷濱通迄
本町三丁目中橋筋ヨリ南へ中橋ヲ經テ八幡筋迄
本町三丁目三休橋筋ヲ南へ三休橋ヲ經テ八幡筋迄
本町四丁目井池筋ヲ南へ末吉橋通迄
北久寶寺町佐野屋橋筋ヲ南へ同橋ノ北詰迄
順慶町二丁目堺筋ヨリ東へ横堀筋迄

安堂寺橋通二丁目堺筋ヨリ西へ佐野屋橋筋迄
順慶町四丁目御藏筋ヲ南へ末吉橋通迄
安堂寺橋通二丁目難波橋筋ヲ南へ末吉橋通迄
鹽町一丁目横堀筋ヨリ西へ佐野屋橋筋迄
末吉橋通四丁目井池筋ヨリ西へ末吉橋筋迄
鰻谷濱通竹屋町筋ヲ西へ炭屋橋筋迄
大寶寺町東ノ町九之助橋西詰ヨリ西へ三休橋筋迄
北炭屋町御池橋筋ヨリ南へ大黒橋ヲ經テ九郎右衛門町通迄

松屋町通空堀筋ヲ東へ谷町筋迄
難波叶橋西詰ヨリ南へ行キ西へ字古手屋筋ヲ難波銀行角迄
難波難波銀行前橋筋ヲ北へ浪吉橋筋迄
九條抽水場東角ヨリ南へ花園橋筋迄
三軒家胡神社ノ北横筋ヨリ東へ行キ濱通ヲ北へ行當迄
北野萬歲橋筋ヨリ南へ太融寺南ノ辻迄
生國魂神社表門前ヨリ東へ谷町筋迄
天王寺表門(主國魂)前筋ヨリ南へ字綿屋町筋及天王寺西門前筋
ヨリ西へ下寺町筋迄
瓦屋橋東詰ヨリ東へ行當リ北へ内安堂寺町通迄

四 等
難波新地字千日前竹林寺ノ横筋南ノ辻ヲ西へ行當リ南へ溝ノ側
筋迄及竹林寺ノ横町南ノ辻ヲ東へ行當迄
阪町表通以南横町及東西筋各壹圓
日本橋一丁目阪町表通筋ノ南ノ辻ヲ西へ阪町界迄
東椿町字黒門筋ヲ南へ高津九番丁行當迄
二ツ井戸町清津橋東詰東ノ辻ヲ南へ行當迄及下大和橋筋ヲ南へ
行當迄

高津橋南詰ヨリ北へ行當迄
高津町八番丁吉田橋筋ヲ南へ行當迄
日本橋筋三丁目御藏跡町筋ヲ東へ行當北下寺町筋ヲ高津表門筋
迄
御藏跡町堀初橋筋ノ東角ヲ北へ行當リ迄

第十九類 徴税、使用料、手数料

東清水町堺筋ヨリ西へ佐野屋橋筋迄
周防町心齋橋筋ヨリ西へ佐野屋橋筋迄
間屋町瓦屋橋西詰ヨリ西へ木綿橋西詰迄
笠屋町太左衛門橋筋ヨリ西へ佐野屋橋筋迄
疊屋町清水橋筋ヨリ南へ宗右衛門町通迄
大和町上大和橋西詰ヨリ西へ日本橋筋迄
九郎右衛門町大黒橋筋ヲ南へ叶橋筋迄及大和橋筋ノ東ノ辻ヲ南
へ行キ東ニ曲リ南へ小澤橋筋迄
難波新金比羅前通字關屋口ヲ東へ日本橋筋迄
九郎右衛門町新戎橋筋ヲ南へ行當迄及新戎橋筋ノ東ノ辻ヲ南へ
行キ西へ曲リ南へ叶橋筋迄
西椿町字堀ノ側筋ヲ南へ字溝ノ側筋迄及其北ノ辻ヲ東へ千日前
筋迄
難波新地一番丁字堀ノ側筋ヨリ西へ新川筋迄
難波新地二番丁新戎橋筋ヲ西へ新川筋迄
難波新地三番丁堀ノ側筋ヨリ西へ小澤橋筋迄及同町小澤橋筋ノ
南ノ辻ヨリ東へ行當リ迄
難波新地四番丁堀ノ側筋ヨリ西へ新川筋迄及同町千日前筋ヨリ
西へ新川筋迄
難波新地五番丁但戎橋筋及堀ノ側筋ヲ除キ一圓
難波新地六番丁戎橋筋ヨリ東へ千日前筋迄
坂町(道頓堀通)裏町東西筋迄
瓦屋町五番丁字松屋町筋ヨリ東へ行當迄

日本橋筋二丁目字圓妙寺筋ヲ東へ行當迄
高津九番丁字圓妙寺筋ノ北ノ辻ヲ東ニ行當迄及末廣橋西詰ヲ東
へ行當迄
御藏跡町堀初橋西詰ヲ北へ行當迄
高津町八番丁吉田橋筋ヲ南へ行當迄
高津表門筋生國魂神社北門筋ヲ東へ舊市郡界迄及高津神社表門
正面筋生國魂神社北門筋
高津西阪ヨリ北へ瓦屋町一番丁行當迄
瓦屋町濱通瓦屋橋筋ヨリ南へ行當迄及上大和橋筋ノ北ノ辻ヲ東
へ舊市郡界迄
松屋町筋瓦屋橋筋ノ北ノ辻ヲ東へ行キ北へ曲リ東字墓ノ谷筋ヲ
舊市郡界迄
松屋町筋ノ瓦屋町五番丁高津表門前筋ヲ西へ行當リ北西へ折曲
リ北へ道頓堀筋迄
空堀町田島町筋ヲ南へ墓ノ谷筋迄
内安堂寺町谷町筋ヲ南へ墓ノ谷筋迄
空堀町谷町筋ヲ東へ上本町通迄
大和町横堀筋ヲ北へ瓦屋橋筋迄
大和町下大和橋筋ヲ北へ鰻谷濱通迄及板屋橋筋ト日本橋筋ノ東
ノ辻ヲ各北へ鰻谷濱通迄
宗右衛門町字難波橋筋ヲ北へ鰻谷通迄
疊屋町字井池筋ヲ北へ鰻谷濱通迄
笠屋町三ツ寺筋ノ太左衛門橋筋ヲ東ニ横堀筋迄

六三五

御藏跡町堀初橋筋ノ東角ヲ北へ行當リ迄

日本橋筋二丁目字圓妙寺筋ヲ東へ行當迄
高津九番丁字圓妙寺筋ノ北ノ辻ヲ東ニ行當迄及末廣橋西詰ヲ東
へ行當迄
御藏跡町堀初橋筋ノ東角ヲ北へ行當リ迄

日本橋筋二丁目字圓妙寺筋ヲ東へ行當迄
高津九番丁字圓妙寺筋ノ北ノ辻ヲ東ニ行當迄及末廣橋西詰ヲ東
へ行當迄
御藏跡町堀初橋筋ノ東角ヲ北へ行當リ迄

日本橋筋二丁目字圓妙寺筋ヲ東へ行當迄
高津九番丁字圓妙寺筋ノ北ノ辻ヲ東ニ行當迄及末廣橋西詰ヲ東
へ行當迄
御藏跡町堀初橋筋ノ東角ヲ北へ行當リ迄

日本橋筋二丁目字圓妙寺筋ヲ東へ行當迄
高津九番丁字圓妙寺筋ノ北ノ辻ヲ東ニ行當迄及末廣橋西詰ヲ東
へ行當迄
御藏跡町堀初橋筋ノ東角ヲ北へ行當リ迄

日本橋筋二丁目字圓妙寺筋ヲ東へ行當迄
高津九番丁字圓妙寺筋ノ北ノ辻ヲ東ニ行當迄及末廣橋西詰ヲ東
へ行當迄
御藏跡町堀初橋筋ノ東角ヲ北へ行當リ迄

日本橋筋二丁目字圓妙寺筋ヲ東へ行當迄
高津九番丁字圓妙寺筋ノ北ノ辻ヲ東ニ行當迄及末廣橋西詰ヲ東
へ行當迄
御藏跡町堀初橋筋ノ東角ヲ北へ行當リ迄

第十九類 徵稅、使用料、手數料

東清水町界筋ヲ東へ横堀筋迄

心齋橋筋二丁目新屋敷ヲ西へ行當迄

長堀橋壹丁目鰻谷内通筋ヲ東へ横堀筋迄

久左衛門町字御堂筋ヲ北へ鰻谷濱通迄及同町ノ北ノ辻ヲ西へ行當迄

八幡町佐野屋橋ヲ南へ久左衛門町通迄及三ツ寺筋ヲ西へ横堀筋迄

周防町佐野屋橋筋ヲ西へ横堀筋迄

西清水町佐野屋橋筋ヲ西へ清水橋東詰迄

心齋橋筋壹丁目鰻谷内通ヲ西へ横堀筋迄

大寶寺町西ノ町元大黒橋筋ヲ南へ久左衛門町通迄

鹽町四丁目佐野屋橋筋ヲ西へ横堀筋迄

末吉橋西詰ヨリ西へ字井池筋迄

末吉橋通四丁目吉野屋橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ順慶町通迄

安堂寺橋四丁目佐野屋橋筋ヲ西へ横堀筋迄

末吉橋通壹丁目字八百屋町筋ヲ北へ今橋通迄及同町字竹屋町筋ヲ北へ南本町通

松屋町濱通末吉橋筋ト安堂寺橋筋ノ南ノ辻ヲ各東へ骨屋町筋迄

内安堂寺町字善安筋ヲ南へ行當迄

内安堂寺町二丁目谷町筋ノ東ノ辻ヲ南へ行當迄

上本町三丁目墓ノ谷筋ヨリ北へ内久寶寺町通迄

空堀筋新瓦屋町筋ヲ北へ内本町通迄

内安堂寺町三丁目骨屋町筋ヲ北へ内本町通迄

辻ヲ北へ行當迄

唐物町心齋橋筋ヨリ西へ横堀筋迄

南本町心齋橋筋ヨリ西へ横堀筋迄

本町四丁目字井池筋ヨリ北へ北濱々通迄

本町三丁目三休橋筋ヲ北へ北濱々通迄

本町三丁目中橋筋ヲ北へ北濱々通迄

安土町二丁目界筋ヲ東へ横堀筋迄

敷津橋東詰ヨリ東へ行當迄

備後町四丁目御堂筋ヨリ西へ相生橋筋迄

瓦町東横堀筋ヨリ西へ横堀筋迄

淡路町東横堀筋ヨリ西へ心齋橋筋迄

伏見町界筋ヨリ東へ横堀筋迄

高麗橋二丁目界筋ヲ北へ今橋通迄

平野町五丁目御靈筋ヨリ北へ行當迄

道修町御靈裏筋ヨリ北へ大川町通迄

今橋四丁目心齋橋筋ヨリ北へ北濱々通迄

北濱内通淀屋橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ大川町通迄及淀屋小路東西筋

南堀江上通一丁目横堀筋ヨリ西へ行キ南へ行當迄

南堀江上通二丁目住吉橋筋ヨリ南へ道頓堀筋迄

南堀江通一丁目横堀筋ノ東ノ辻ヲ南へ木綿橋西詰迄

南堀江下通住吉橋筋ノ東ノ辻ヨリ西へ全堀江三番丁濱迄

南堀江上通五丁目瓶橋筋ヨリ西へ鐵橋筋迄

第十九類 徵稅、使用料、手數料

六三六

農人橋詰町農人橋筋ヨリ北へ行當迄

内久寶寺町久寶寺橋東詰ノ東角ヨリ東へ舊市郡界迄

和泉町御秋筋ヨリ西へ松屋町筋迄

南農人町御秋筋ヨリ西へ松屋町筋迄

南農人町二丁目松屋町筋ヨリ東へ行當迄

本町橋東詰ヨリ南へ行當迄及東角ヨリ北へ博物場北横筋迄

内本町壹丁目字骨屋町筋以東

南新町字松屋町筋ヨリ東へ御秋筋迄

北新町字松屋町筋ヨリ東へ御秋筋迄

大手通二丁目字骨屋町筋以東

内淡路町横堀筋ヨリ東へ御秋筋迄

平野橋東詰ヨリ東へ谷町筋迄及横堀筋ヲ北へ高麗橋筋迄

豐後町濱通ヨリ船越町筋ヲ東へ谷町筋迄

釣鐘町字松屋町筋ヲ東へ御秋筋迄

島町二丁目字骨屋町筋以東

博勢町壹丁目東横堀筋ヨリ西へ横堀筋迄

助右衛門橋東詰ヨリ東へ佐野屋橋筋迄

北久寶寺町壹丁目横堀筋ヨリ西へ界筋迄及心齋橋筋ヨリ西へ横堀筋迄

南久太郎町二丁目界筋ヨリ西へ横堀筋迄

唐物町界筋ヨリ西へ横堀筋迄及其筋ノ東ノ辻ヲ西へ字竹屋町筋

迄南本町二丁目界筋ヨリ東へ横堀筋迄

北久太郎町四丁目心齋橋筋ヨリ西へ横堀筋迄及摩羅前筋ノ東ノ

西道頓堀通日吉橋筋ヨリ西へ行キ南へ曲リ西へ行當リ北へ水分

橋南詰迄

幸町五丁目日吉橋筋ヨリ南へ裏町筋迄

南堀江通五丁目鐵橋筋ヨリ西へ水分橋筋迄

沙見橋北詰北へ行當迄

瓶橋南詰ヨリ南へ行當迄

西道頓堀通四丁目阪榮橋筋ヲ北へ阪榮橋ヲ經テ白髮橋北詰迄

高臺橋南詰ヨリ南へ幸町ヲ經テ全裏町筋迄

南堀江通三丁目高臺橋筋ヲ東へ隆平橋筋迄

西道頓堀通貳丁目賑江橋筋ヲ北へ全橋ヲ經テ北堀江通迄

北堀江通壹丁目但横堀筋、通筋、隆平橋筋ヲ除キ一圓

北堀江御池通壹丁目但横堀筋、御池橋筋、宇和島橋筋ヲ除キ壹

圓

北堀江上通壹丁目但宇和島橋筋ヲ除キ壹圓

西長堀南通壹丁目但横堀筋、通筋、宇和島橋筋ヲ除キ壹圓

西長堀南通三丁目富田屋橋筋ノ西ノ辻ヲ南へ北堀江通迄

西長堀南通四丁目阿彌陀池表門筋ヲ南へ北堀江通迄及表門筋ヲ

東へ問屋橋筋迄

北堀江御池通四丁目問屋橋筋ノ南ノ辻ヲ北へ行當迄

北堀江御池通五丁目白髮橋筋ヨリ西へ行當迄

北堀江通六丁目瓶橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ行當迄及鐵橋筋ノ東ノ辻

ヲ北へ阿彌陀池裏門筋迄

六三七

北堀江一番丁鐵橋筋ノ行當ヨリ西へ行キ南へ曲リ千代崎橋迄及
千代崎橋筋ノ北ノ辻ヲ西へ濱通迄

松島十返町南北筋

新町南通五丁目長堀川高橋筋ヲ南へ高橋ヲ經テ行當迄

立賣堀南通尖喰屋橋筋ヨリ西へ行當迄及尖喰屋橋筋ノ西ノ辻西

二橋ノ西ノ辻各南へ西長堀北通迄

立賣西南通四丁目中橋ノ西ノ辻ヲ南へ西長堀北通迄

立賣堀南通三丁目中橋筋ノ東ノ辻ヲ南へ新町通迄及阿古屋小路
迄

新町通二丁目字狸小路阿波橋筋ノ東ノ辻ヲ北へ字九軒迄

立賣堀南通二丁目明治橋筋ノ東ノ辻ヲ南へ新町通迄及榎橋筋ノ
西ノ辻ヲ南へ新町通迄

新町北通字塀ノ側筋ヨリ西へ行當迄

立賣堀北通横堀筋ヨリ西へ中橋筋迄

阿波座下通日向町筋ヨリ西へ尖喰屋橋筋迄

薩摩堀東ノ丁尖喰屋橋筋ヨリ西へ薩摩堀南ノ丁ヲ經テ西へ行當
リ南へ江島橋筋迄

立賣堀北通西二橋筋ヨリ北へ行キ東へ曲リ北へ中橋南詰迄

薩摩堀東ノ丁上ノ橋東詰ヨリ東へ横堀筋迄

阿波堀一番丁阿波橋筋ヨリ東へ横堀筋迄及阿波橋筋ノ字日向町
筋ヲ北へ行當迄

阿波堀通壹丁目横堀筋ヨリ西へ鳴戸橋東詰迄及松榮橋筋ヲ北へ
松榮橋、中ノ橋ヲ經テ觀北通迄

京町堀上通壹丁目横堀筋ヨリ西へ茂左衛門橋筋迄
江戸堀下通壹丁目横堀筋ヨリ西へ茂左衛門橋筋迄
江戸堀南通壹丁目横堀筋ヨリ西へ西北橋筋迄
江戸堀上通五丁目西北橋ノ東ノ辻ヨリ北へ土佐堀通迄
江戸堀北通四丁目江戸堀橋筋ノ東ノ辻ヲ北へ土佐堀通迄
江戸堀北通二丁目犬齋橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ土佐堀通迄
江戸堀上通横堀筋ヨリ西へ行當迄
江戸堀上通壹丁目尼ヶ崎橋筋ノ北ノ辻ヲ西へ行當迄
新難波橋北詰ヨリ北江戸堀南通迄
京町堀通五丁目兩國橋筋ヲ北へ江戸堀橋ヲ經テ土佐堀通五丁目
湊橋筋ヨリ西へ行當崎吉橋筋迄
安治川南通壹、貳、參丁目各横町
安治川北通三丁目各通筋
富島町中津橋筋ヲ西ノ辻ヨリ北へ波止場濱迄及其辻ヨリ西へ國
津橋筋迄
西芦分橋西詰南角ヨリ西へ安治川北三丁目通町界迄
中ノ島六丁目越中橋筋ノ西ノ辻ヲ玉江町通迄
宗是町秋月橋ノ西ノ辻府立病院前筋ヲ西へ常安橋筋迄
堂島濱通三丁目玉江橋ノ北詰ヨリ北へ淨正橋迄及田饗橋北詰ヨ
リ梅田橋迄
曾根崎新地三丁目助成橋筋ヨリ北へ舊市郡界迄
堂島中二丁目助成橋筋ヨリ西へ綠橋筋迄
堂島裏町蛭橋筋ヨリ西へ櫻橋筋迄及蛭橋筋ノ西ノ辻ヲ南へ堂島

靱南通三、四丁目但太郎助橋筋、松榮橋筋、茂左衛門筋以西及
通筋、岡崎橋筋ヲ除キ一圓

靱中通三丁目但通筋、上ノ橋筋、下ノ橋筋、茂左衛門橋筋ヲ除
キ一圓

靱南通五丁目但茂左衛門橋筋及全橋筋西ヲ除キ一圓

薩摩堀北ノ丁但シ裏町下ノ橋筋ヲ除キ一圓

阿波堀通五丁目豐橋筋ヲ除キ一圓

江ノ子島東ノ丁但シ舊龜井橋筋ヲ除キ一圓

江ノ子島西ノ丁但舊龜井橋筋ヲ除キ一圓

江ノ子島上ノ丁但木津川橋筋ヲ除キ一圓

本田通壹丁目妙見筋ヲ南へ常盤橋筋迄及常盤橋西詰ヨリ西へ南
安治川通裏筋迄

國津橋西詰南ノ辻ヨリ西へ舊市郡界迄

靱南通一丁目横堀筋及花屋橋筋ヲ除キ一圓

靱中通一丁目横堀筋及花屋橋筋ヲ除キ一圓

靱上通壹丁目横堀筋、羽子板橋筋ヲ除キ一圓

靱北通壹丁目横堀筋、羽子板橋筋ヲ除キ一圓

靱南通貳丁目下奈良屋橋南詰ヨリ北へ靱北通迄

靱上通二丁目紀伊國橋ノ西ノ辻ヲ北へ靱北通迄

靱北通三丁目千秋橋南詰ヨリ南靱上通迄中ノ橋筋ヲ南へ中ノ橋
北詰迄

靱北通四丁目兩國橋筋ノ東ノ辻ヲ南へ行當及兩國橋ヲ西へ劍尖
橋迄

濱通迄
堂島裏貳丁目曾根崎橋筋ノ西ノ辻ヲ南へ全北町通迄
曾根崎新地一、二丁目但通筋及蛭橋北詰ヨリ北へ行當リ東へ長
池筋迄及櫻橋筋ヲ除キ一圓
絹笠町控訴院ノ西横町眞砂町筋ノ南ノ辻ヲ西へ行當迄
眞砂町字長池筋ヨリ東へ堀川筋迄及長池筋東ノ辻ヲ南へ行キ西
へ行當迄及其筋ヨリ南へ行當迄
東堀川町堀川橋筋ヨリ南へ大平橋筋迄
西堀川町堀川橋筋ヨリ南へ大平橋筋迄
若松町控訴院ノ東横町裏町筋ヲ東へ堀川筋迄
柳橋西詰ヨリ西へ堂島大橋筋迄及堂島小橋南詰ヲ南へ堂島大橋
ヲ經テ玉江町通迄
老松町難波橋筋ヨリ西へ舊市郡界ヲ南へ眞砂町筋迄
鳴尾町堀川橋筋ノ西ノ辻ヨリ南へ行當迄
老松町壹丁目難波橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ行當迄
西堀川町堀川橋筋ヨリ西へ鳴尾町通迄
源藏町天神小橋西詰ヨリ難波橋筋迄
菅原町樋上橋筋ノ南ノ辻ヨリ東へ天神橋筋迄
菅原町樋上橋筋ヨリ東へ河内町行當迄
天神橋筋壹丁目樋上橋筋ノ北ノ辻ヲ西へ行當迄
菅原町樋上橋筋ノ北ノ辻ヲ東へ河内町行當迄
東堀川町天神小橋筋ノ南ノ辻ヲ東へ行當迄
菅原町元區役所ノ裏町筋

東堀川町堀川橋ノ東詰ヨリ東へ天神橋筋迄
 旅町寺町橋筋堀川濱ノ東ノ辻ヲ南へ大川濱通迄
 北森町寺町橋筋ヨリ南へ天神橋筋迄
 大工町堀川橋筋ヨリ北へ字溝ノ側筋迄
 天神橋筋樋上橋筋ノ北ノ辻ヲ東へ行當迄
 市ノ町濱通ヨリ北へ行當リ迄
 此花町濱通ヨリ北へ堀川橋筋迄
 瀧川町濱通ヨリ北へ字溝ノ側迄
 河内町濱通ヨリ北へ行當迄
 壺屋町濱通ヨリ北へ行當迄
 瀧田町濱通ヨリ北へ行當迄
 岩井町濱通ヨリ北へ行當迄
 信保町濱通ヨリ北へ行當迄
 朝日町濱通ヨリ北へ行當迄
 金屋町濱通ヨリ北へ字溝ノ側筋迄
 空心町濱通ヨリ北へ字溝ノ側筋迄
 信保町濱通ノ北ノ辻ヲ西へ行當迄
 瀧田町濱通ノ北ノ辻ヲ西へ行當迄
 河内町濱通ノ北ノ辻ヲ東へ行當迄
 空心町濱通ヨリ北へ三筋目ノ辻ヲ西へ行當迄
 壺屋町濱通橋筋ノ南ノ辻ヲ東へ空心町通迄
 此花町天神小橋筋ヲ空心町通迄
 空心町天神小橋筋ノ北ノ辻ヲ西へ天神東門迄
 天神橋二丁目堀川橋筋ヲ西へ此花町通迄

相生町京橋ノ北詰北角北へ備前島橋ヲ經テ鯉江川沿道ヲ東へ大
 長寺内前筋ヲ北へ行當リ迄
 天満橋筋一丁目、貳丁目通筋
 九條常盤橋西詰ヨリ西へ水田橋東詰迄
 曾根崎大阪歌舞伎座北角ヨリ東へ行當迄
 心齋橋筋二丁目周防町筋ヲ東へ横堀筋迄
 堂島北町助成橋筋ヨリ西へ緑橋筋迄

五 等

北安治川通一、二、三丁目但通筋ヲ除キ一圓
 安治川上通一、二丁目但通筋ヲ除キ一圓
 古川町但中津橋南詰ヨリ以東及中津橋筋ヲ除キ一圓
 曾根崎新地三丁目ノ内裏町筋
 堂島裏町蜷橋筋ヨリ東へ行キ南へ曲リ全濱通迄
 堂島裏三丁目櫻橋筋ヨリ西へ緑橋筋迄
 堂島濱通三丁目浄正橋南詰西角ヨリ西へ汐津橋筋迄及汐津橋筋
 ヨリ南へ表通筋迄
 堂島小橋北詰ヨリ南へ全大橋北詰迄
 中ノ島七丁目湊橋筋ノ東ノ辻ヲ北へ行當迄
 中ノ島五丁目常安橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ行當東へ常安橋筋迄
 宗是町中ノ島橋筋ヨリ南へ濱通迄
 中ノ島三丁目肥後橋ノ東ノ辻ヲ北へ行當迄
 宗是町田菱橋筋ノ東ノ辻ヲ南へ行當迄
 中ノ島二丁目淀屋橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ行當迄

老松町三丁目控訴院西横筋ノ西ノ辻南北筋及全筋ノ西ノ辻ヲ南
 へ行當迄
 絹笠町難波小橋東詰東角ヨリ北へ行當迄
 眞砂町控訴院西横筋ノ東ノ辻ヲ北へ行當迄
 若松町控訴院東横筋ヲ北へ舊市郡界迄及其辻ノ東西筋行當其辻
 ノ南北筋
 老松町一丁目難波橋筋ノ西ノ辻及其西ノ辻左南へ行當迄
 樋上町難波小橋筋東ノ辻ヲ北へ行當迄
 西堀川町天神小橋筋ノ北ノ辻ヲ西へ行當迄
 木幡町堀川橋筋ヨリ西へ舊市郡界迄及其辻ノ南北筋
 木幡町堀川橋筋ノ南北筋兩横筋ヲ西へ舊市郡界迄
 西堀川町堀川橋筋ヨリ北へ舊市郡界迄及堀川橋北ノ辻ヲ西へ舊
 市郡界迄及向ホ其辻ヲ北へ寺町橋筋迄
 富田町堀川橋北ノ辻西横筋ヲ北へ二筋目ノ辻及其東ノ辻共北へ
 行當迄及天神橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ樽屋橋筋迄
 豊後町濱通博物館ノ北横筋ヲ東へ字松屋町筋迄
 鳴尾町濱通樽屋橋筋ノ南ノ辻ヲ東へ行當迄
 東堀川町堀川橋筋ノ東ノ辻ヲ東へ行當迄及堀川橋筋ヨリ北へ寺
 町橋筋迄
 末廣町一圓
 天神橋三丁目寺町橋以北通筋ヲ除キ一圓
 綿屋町堀川橋筋ノ北ノ筋ヲ北へ大工町ノ西町界迄
 大工町 但溝ノ側筋以南ヲ除キ一圓
 紅梅町一圓

此花町二丁目河内町二丁目壺屋町二丁目岩井町二丁目信保町二
 丁目金屋町二丁目空心町二丁目ノ各堀川橋筋以北一圓松ヶ枝
 町一圓
 空心町堀川橋筋以南但堀川橋筋通筋以西ヲ除キ一圓
 天満橋筋一二丁目通筋ヲ除キ其他一圓
 今井町白屋町川崎町各一圓
 石町横堀筋ヨリ東へ谷町筋迄
 石町善安筋ヲ南へ内安堂寺町通迄
 釣鐘町横堀筋ヨリ東へ松屋町筋迄
 内淡路町高倉筋ヲ北へ八軒家濱通迄
 釣鐘町御被筋ヨリ西へ松屋町筋迄
 豊後町濱通恩案橋筋ノ南ノ辻ヲ東へ松屋町筋迄
 糸屋町松屋町筋ヨリ東へ谷町筋迄
 北新町字御被筋ヨリ東へ谷町筋迄
 南新町字御被筋ヨリ東へ谷町筋迄
 徳井町松屋町筋ヨリ東へ谷町筋迄
 内本町骨屋町筋ヨリ北へ八軒家濱通迄及御被筋ヲ北へ八軒家濱
 通迄
 石町善安筋ヲ南へ内安堂寺町通迄
 鎗屋町御被筋ヲ東へ谷町筋迄
 常盤町松屋町筋ヨリ東へ谷町筋迄
 両替町谷町筋ヨリ西へ横堀筋迄
 本町橋詰町濱通本町筋ノ南ノ辻ヲ東へ行當迄

南農人町御被筋ヨリ東へ谷町筋迄及松屋町筋ヨリ西へ横堀筋迄
 和泉町御被筋ヨリ東へ谷町筋迄及松屋町筋ヲ西へ横堀筋迄
 粉川町谷町筋ヨリ西へ行當迄及谷町筋ノ西ノ辻ヲ南へ行キ西へ
 曲リ南へ行當東へ谷町筋迄
 神崎町南北筋ヲ除キ一圓
 十二軒町東西筋
 谷町五丁目通筋以東
 谷町四丁目裏横筋
 谷町三丁目裏横筋
 大手町大手前ノ町谷町筋ノ東ノ辻ヲ北へ行當迄
 内久寶寺町一丁目二丁目通筋ヲ除キ一圓
 龍造寺町一圓
 上本町筋一丁目但通筋及内安堂寺町通ヲ除キ一圓
 内安堂寺町通一丁目通筋ヲ除キ一圓
 内安堂寺町通二丁目但北桃谷筋以南東新瓦屋町筋通ヲ除キ一圓
 上本町二丁目通筋ヲ除キ一圓
 南桃谷町通筋及北桃谷筋及墓ノ谷筋ヲ除キ一圓
 北桃谷町通筋ヲ除キ一圓
 谷町六丁目通筋ヲ除キ一圓
 東賑町南北筋ヲ除キ一圓
 西賑町但御被筋末吉橋筋西ノ辻以西ヲ除キ一圓
 松屋町濱通末吉橋筋ノ南ノ辻ヲ東へ新瓦屋町界迄
 空堀町字善安筋ノ西ノ辻ヲ南へ行當迄及御被筋ヲ南へ行キ西へ

曲リ南へ瓦屋町四番丁通筋迄
 瓦屋町一、二番丁通筋
 瓦屋町一番丁松屋町筋ノ東ノ辻ヲ南へ行當及其辻ノ北ノ辻ヲ東
 へ行當迄
 瓦屋町三番丁瓦屋橋筋ノ北ノ辻ヲ西へ濱通迄
 瓦屋町四番丁松屋町筋ノ東ノ辻及其辻ノ東ノ筋ヲ南へ行當迄
 瓦屋町五番丁道頓堀筋ヲ東へ行當迄
 大和橋東詰ヨリ東へ松屋町筋迄
 二ツ井戸町下大和橋筋ノ東ノ辻ヲ南へ行東へ曲リ南へ行當迄
 高津町四番丁高津表門筋ノ南ノ辻ヲ東へ行當迄及松屋町筋ノ西
 ノ辻ヲ南へ行當迄
 吉田橋東詰南ノ辻ヲ東へ下大和橋筋迄
 末廣橋東詰北ノ辻東へ行當迄
 高津町五番丁濱通以東但寺町筋、御藏跡町筋ヲ除キ一圓
 高津町三番丁末廣橋筋ノ南ノ辻ヲ東へ行當迄
 高津町五番丁堀初橋東ノ辻ヨリ南へ舊市郡界迄但御藏跡町ヲ除
 キ一圓
 高津町六番丁濱通筋ヲ除キ一圓
 高津町七番丁高津橋筋ノ西ノ辻南北筋ヲ除キ一圓
 高津町九番丁字圓妙寺筋及黒門筋ヲ除キ一圓
 高津町八番丁吉田橋筋ノ南ノ辻ヲ西へ行當及其辻ノ北ノ辻ヲ西
 へ日本橋筋迄
 日本橋筋二丁目通筋及圓妙寺筋ヲ除キ一圓

日本橋筋三丁目但通筋及御藏跡町筋ヲ除キ一圓
 日本橋筋四丁目通筋ヲ除キ一圓
 日本橋筋五丁目通筋ヲ除キ一圓
 難波新地二番丁字千日前筋溝ノ側筋、堀ノ側筋千日前筋ノ西ノ
 辻ヲ北へ行當東、相合橋筋ヲ除キ一圓
 難波新地六番丁但南海ステーション北横筋東西通筋ヲ除キ一圓
 難波新地五番丁叶橋筋ヨリ以南ヲ除キ一圓
 久左衛門町佐野屋橋筋濱通ノ北ノ辻ヲ西横堀筋迄
 北炭屋町炭屋橋筋ノ東ノ辻ヲ南へ行當迄
 幸町通一、二、三、四丁目各通筋ヲ除キ一圓
 幸町五丁目但表通及日吉橋筋ヲ除キ一圓
 南堀江上通隆平橋筋ノ東ノ辻ヲ北へ南堀江通迄
 西道頓堀通住吉橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ南堀江下通迄
 南堀江通三丁目賑江橋筋ノ西ノ辻ヲ南へ行當迄
 全三丁目高臺橋筋ノ西ノ辻ヲ南へ行當迄
 南堀江通四丁目坂榮橋筋ノ西ノ辻ヲ南へ行當迄
 全五丁目瓶橋筋ノ西ノ辻ヲ南へ南堀江下通筋迄及其辻ノ南ノ辻
 ヨリ南へ行當迄
 西道頓堀通五丁目目汐見橋筋ヲ西三筋目ノ辻ヨリ北へ南堀江通迄
 及日吉橋ノ東ノ辻ヲ北へ南堀江下通筋迄
 南堀江通五丁目鐵橋筋ノ東ノ辻ヲ南へ南堀江下通筋迄
 南堀江一番丁字橋筋ノ南ノ辻ヲ西へ行當迄

南堀江通六丁目鐵橋筋ノ西ノ辻ヲ南西道頓堀通迄
 松島町二丁目東雲橋筋共西尻無川筋迄
 松島仲之町字松ヶ鼻但松島橋筋及仲ノ町通ヲ除キ一圓
 新町通五丁目高橋ヲ西へ濱通迄
 立賣堀北通槌橋筋ノ東ノ辻ヲ北へ阿波堀通迄
 立賣堀北通二丁目槌橋筋ノ西ノ辻ヲ北下奈良屋橋南詰迄
 立賣堀北通二丁目明治橋筋ノ東ノ辻ヲ北へ阿波堀通迄
 阿波堀裏町横堀筋ヨリ西へ太郎助橋筋迄
 阿波堀通三丁目太郎助橋筋西ノ辻ヲ南へ行當迄及松榮橋筋ノ東
 ノ辻ヲ南へ行當迄
 阿波座一番丁阿波堀橋筋字日向町筋ノ北ノ辻ヲ西へ行當迄
 立賣堀北通三丁目阿波橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ行當迄
 阿波堀通四丁目中橋筋ノ南ノ辻ヲ西へ行當迄
 阿波座四番丁上ノ橋筋岡崎橋筋ノ東ノ辻ヲ北阿波堀通迄
 立賣堀通五丁目尖喰屋橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ行當西、薩摩堀西ノ
 丁濱迄
 薩摩堀南ノ町中筋橋筋ノ東ノ辻ヲ南へ行當迄
 立賣堀北通西二橋筋ノ西ノ辻ヲ北へ行當迄
 立賣堀裏町中筋橋筋ヲ東へ行當迄及西二橋筋ヲ西へ薩摩堀西ノ
 丁濱迄
 立賣堀北通六丁目高橋筋ヲ北へ行當迄
 薩摩堀北之町廣教寺西門前筋ヲ西へ行當迄
 駒南通五丁目豐橋筋以西一圓

第十九類 徵稅、使用料、手数料

靱中通茂左衛門橋筋西以一圓
 京町堀新中橋北詰ヨリ北へ江戸堀南通迄
 京町堀通二丁目羽子板橋筋西ノ辻北へ江戸堀南通迄
 京町堀通四丁目千秋橋筋西ノ辻北へ江戸堀南通迄
 京町堀通五丁目兩國橋筋ノ西ノ辻北へ江戸堀南通迄
 江戸堀北通一丁目横堀筋ノ西ノ辻北へ土佐堀通迄
 土佐堀通一丁目肥後橋筋ノ西ノ辻南へ江戸堀北通迄
 江戸堀北通北通ト上通トノ間ノ町東西筋

六四四

江戸堀北通犬齋橋筋東ノ辻北へ土佐堀通迄
 江戸堀北通三丁目阿波橋筋ノ西ノ辻北へ土佐堀通迄
 江戸ノ子島東ノ丁ト西ノ丁舊龜井橋筋
 本田町通一丁目ヨリ三丁目迄但通筋及妙見筋常盤橋筋ヲ除キ一
 圓
 本田三番丁但古川橋筋古川橋筋南ノ辻以西梅本町
 梅本橋筋ヨリ南へ常盤橋筋迄
 前記等級外ノ場所ハ總テ五等トス

●堤防使用料

(明治廿四年十二月大阪府訓令第五十三號ニ基ク堤塘使用料)

川名	料金 (一ヶ年一坪)	川名	料金 (一ヶ年一坪)
難波入堀川	一八〇〇	鮎川	一八〇〇
逆川	一五〇〇	木場川	一五〇〇

明治四十二年四月二十二日市參事會議決
 全 年六月二十一日府知事認可

櫻川	一二〇〇	猫間川	八〇〇
十三間川	八〇〇	鮎江川	五〇〇

●曳船道使用料及徵集方

明治四十二年四月廿二日市參事會議決
 全 年六月八日通牒

曳船道使用料別表ノ通増額ノ儀本年五月廿六日付ヲ以テ其筋ヨリ認可相成候條認可ノ日ヨリ日割計算ヲ以テ増徴スルコトニ御取計相成度此
 段及通牒候也

四區役所宛

川名	料金 (一ヶ年一坪)	川名	料金 (一ヶ年一坪)
道頓堀川	二二〇〇 ^四	東横堀川	二二〇〇 ^四
西横堀川	二二〇〇	長堀川	二二〇〇
曾根崎川	一八〇〇	江戸堀川	一八〇〇

土木課

第十九類 徵稅、使用料、手数料

堀江川	一八〇〇	立賣堀川	一八〇〇
京町堀川	一八〇〇	海部堀川	一三〇〇
阿波堀川	一三〇〇	薩摩堀川	一三〇〇
百間堀川	一三〇〇	高津入堀川	一〇〇〇
古川	一〇〇〇	鯉江川	五〇〇

料金徴收ニ關シテハ河川使用料規程ヲ準用ス

市立大阪屠場使用料條例

明治四十三年九月一日
大阪市條例第一號

本市會ニ於テ市立大阪屠場使用料條例ヲ議決シ明治四十年勅令第三百二十一號ニ依リ大阪府知事ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

市立大阪屠場使用料條例

第一條 市立大阪屠場使用料ハ本條例ニ依リ使用出願者ヨリ徴收ス

第二條 屠場使用料ハ甲乙ノ二種トシ其使用料ハ左ノ種別ニ從ヒ徴收ス

一 甲種 (普通屠室)

一牛 馬 壹頭ニ付 金 貳圓

二豚 犢羊 壹頭ニ付 金壹圓貳拾錢

二 乙種 (病畜屠室)

一牛 馬 壹頭ニ付 金 參圓

二豚 犢羊 壹頭ニ付 金壹圓八拾錢

第三條 病畜隔離室使用料ハ牛、馬、豚、犢、羊壹頭壹日ニ付金拾錢ヲ徴收ス

第四條 畜舎使用料ハ牛、馬、豚、犢、羊壹頭壹日ニ付金五錢ヲ徴收ス

收ス

第五條 第四條ノ使用料ハ一箇月引續キ五區劃以上ノ使用出願者ニ限リ其料金額ノ十分ノ二ヲ減額ス但使用中途ニ於テ其申込ヲ取消シタル場合ト雖既收ノ料金ハ還付セス

第六條 本條例中犢ト稱スルハ生後壹年未滿ノ牛ヲ謂フ

第七條 本條例施行ニ關スル細則ハ市參事會ニ於テ之ヲ定ム

附 則

第八條 屠場使用料ハ當分ノ内其半額迄ニ減額スルコトヲ得

第三章 手数料

● 手数料條例

明治四十一年八月十三日
大阪府條例第四號

本市會ニ於テ明治三十三年大阪府條例第六號手数料條例改正ノ件ヲ
議決シ大阪府知事ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

手数料條例

- 第一條 市ニ徵收スル手数料ハ別ニ規定アルモノ、外本條例ニ依リ
請求者ヨリ之ヲ徵收ス
- 第二條 事務ニ關スル手数料ハ左ノ種別ニ從ヒ徵收ス
- 一 租稅公課ニ關スル證明 一件ニ付 金貳拾錢
 - 二 土地、建物、船車、牛馬、其他動產不動産ニ關スル證明 一件ニ付 金貳拾錢
土地ハ一筆建物ハ一棟其他ハ一件ニ付
 - 三 營業及職業ニ關スル證明 一件ニ付 金貳拾錢
 - 四 法人ニ關スル證明 全 金貳拾錢
 - 五 身分ニ關スル證明 全 金貳拾錢
 - 六 品行經歷ニ關スル證明 全 金貳拾錢
 - 七 身元ニ關スル證明 全 金貳拾錢
 - 八 本籍、住所居所及寄留ニ關スル證明 全 金貳拾錢
 - 九 生存、不在、失踪ニ關スル證明 全 金貳拾錢
 - 十 出產、死亡、死產、婚姻、相續ニ關スル證明 全 金貳拾錢

- 十一 身代限、家資分散、破產ニ關スル證明 一件ニ付 金貳拾錢
- 十二 褒賞ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 十三 刑罰懲戒處分ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 十四 家族、親族、親權者後見人及隣佑ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 十五 在學、修學ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 十六 兵役ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 十七 資格ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 十八 公權能力ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 十九 面識ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 二十 雇人ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 二十一 差配人、納稅代人ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 二十二 種痘ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 二十三 里程ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 二十四 印鑑ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 二十五 社寺、宗教ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 二十六 小學校教員檢定ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 二十七 埋火葬ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 二十八 土地其他ノ被害ニ關スル證明 全 金貳拾錢
- 二十九 難破船ニ關スル證明（水難救護法ニ依リ認證ナラスモ
ノヲ除ク） 全 金貳拾錢
- 三十 漂流物沈没品ニ關スル證明 全 金貳拾錢

● 濱地圖面閱覽手数料徵收ノ件

明治四十三年五月三日
市長 決定

濱地圖面ノ閱覽者ニ對シテハ一人一回ノ閱覽ヲ一件トシ課長專決ヲ
以テ手数料ヲ徵收スルモノトス

● 鑛夫ノ兵役ニ關スル證明
手数料不徵收ニ關スル件

明治四十三年八月三十日
市參事會議決

所在不明ノ徵兵處分未濟者調査ノ爲メ鑛山主ヨリ請求スル鑛夫ノ徵
兵關係證明ニハ手数料ヲ徵收セサルコト、可致旨本府內務部長ヨリ
通牒有之候就テハ該證明ハ明治四十一年本市條例第四號手数料條例
第五條ニ該當スルモノトシ手数料ヲ徵收セサルコトニ決定相成候條
御了知相成度此段及通牒候也

各區長宛

財務課長

- 三十一 文書ノ受理ニ關スル證明 一件ニ付 金貳拾錢
 - 三十二 公簿公文書圖面ニ關スル證明 全 金貳拾錢
 - 三十三 公簿公文書及圖面ノ謄本抄本交付 全 金貳拾錢
 - 三十四 墓地使用證券ノ書換及再交付 全 金貳拾錢
 - 三十五 市稅其他諸收入金ニ關スル證明 全 金貳拾錢
 - 三十六 公簿公文書圖面及印鑑ノ閱覽照合 全 金貳拾錢
 - 三十七 徵稅傳令書賦課令狀納入告知書ノ再交付 一件ニ付 金貳錢
- 第三條 前條二種以上ノ事件ヲ同時ニ請求スル場合ト雖モ其手数料
ハ各種ノ金額ヲ併セ徵收ス
- 第四條 手数料ヲ徵收スヘキ公簿公文書圖面ノ閱覽及諸證明ハ公衆
ノ閱覽ニ供シ支障ナキモノニ限ル
- 第五條 法律命令ノ規定ニ依リ取扱フモノハ手数料ヲ徵收セス
- 第六條 公費ヲ以テ救助ヲ受クル者又ハ手数料ヲ納付スル資力ナシ
ト認ムル者ハ手数料ヲ免除ス
- 第七條 明治三十九年八月大藏省令第三十六號行賞賜金取扱規則ニ
依ル證明ニハ手数料ヲ徵收セス
- 第八條 手数料ハ總テ請求ノ際ニ之ヲ徵收ス

●督促手数料條例

明治卅三年八月廿八日
大阪市條例第二號

(沿革) 三六年四月條例第三號、四一年三月條例第二號改正
本市會ニ於テ督促手数料條例ヲ議決シ市制第二百一一條及第二百一
二條ニ依リ內務大臣大藏大臣ノ許可ヲ得テ左ノ通相定ム

督促手数料條例

第一條 市稅其他ノ收入金ヲ期限內ニ完納セサル者アルトキハ期限
後直チニ更ニ七日以内ノ期限ヲ指定シテ之ヲ督促ス
前項ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ハ手数料トシテ督促令狀一通ニ付
金貳拾錢ヲ徵收ス

市外ニ在ル滯納者ニ對シテハ前項ノ外使丁ヲ以テスル場合ハ其里
程ニ應シ一里毎ニ金拾錢郵便ヲ以テスル場合ハ其實費ヲ增手数料
トシテ之ヲ徵收ス

第二條 手数料ハ滯納金ト同時ニ之ヲ徵收ス

第三條 督促令狀ニ指定シタル期限內ニ其手数料及滯納金ヲ完納セ
サルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分ス

第二十類 報償契約

●對大阪巡航株式會社報償

契約

明治卅九年八月卅一日
合資株式會社ニ變更

大阪巡航合資會社カ其目的タル事業ノ遂行ニ關シ大阪市ノ管理ニ屬
スル河川ノ使用及占用ヲナスノ必要ニ基キ大阪市トノ間ニ左ノ條項
ヲ締約ス

一、會社ハ各決算期日ヨリ二十日以内ニ左ノ金額ヲ每期大阪市ニ
納付スル事

各決算期ニ於ケル運輸總收入金額ノ百分ノ九ニ相當スル金額
但開業ヨリ明治三十九年三月迄運輸收入金額ノ百分ノ六トス
(四十二年七月八日市會議決改正)

前項ノ金額ハ會社ノ營業區域ニ屬スル河川全延長ニ相當スル
モノト看做シ營業區域內ニ市ノ管理ニ屬セサル河川ヲ包含ス
ル間ハ其延長ニ比例シテ之ヲ遞減ス但其遞減額ハ前項金額ノ
半ヲ超過スルコトヲ得ス

二、會社ハ其組織變更、合併、任意解散及營業區域停船場ノ増減
變更并ニ賃錢増加ノ場合ニ於テ豫メ大阪市ノ承諾ヲ得ヘキ事
三、會社ハ營業ノ方法船舶ノ構造及速力其他營業上重要ナル事項

第二十類 報償契約

ニ關シ公衆ノ安全又ハ公共ノ利益ヲ保持スルニ必要ナル大阪
市ノ告示及申込ニ從フヘキ事

四、會社ハ大阪市ニ對シ各決算期日ヨリ二十日以内ニ每期其事業
及財産ニ關スル報告ヲ爲スヘキ事

五、會社ハ其帳簿財産及事業ニ關シ何時ニテモ大阪市ノ検査ニ應
スヘキ事

六、大阪市ハ會社ノ所有スル營業用ノ船舶ニ對シ市稅ヲ賦課セサ
ル事

七、大阪市ハ會社ヨリ河川ノ使用料及占用料ヲ徵收セサル事

八、大阪市ハ會社ノ營業區域內ニ於テ左ノ行爲ヲ爲ササル事
(イ) 會社ノ營業ニ類似スル事業ヲ營ムコト
(ロ) 會社ノ營業ニ類似スル第三者ノ事業ヲ保護獎勵又ハ協賛ス
ルコト

九、以上ノ契約ハ會社ハ營業開始ノ日ヨリ滿十ヶ年間其効力ヲ有
ス尙終了期ニ至リテハ協定ノ上此契約ヲ繼續スルコトアルヘ
シ

以上

此契約ノ確實ナルヲ證スル爲メ本證ニ通テ作製シ双方記名捺印ノ上
各一通ヲ領收シ置者也

明治三十六年二月十四日

●對大阪瓦斯株式會社 報償契約

契約書

明治三十六年八月六日大阪市(以下單ニ市ト稱ス)ト大阪瓦斯株式會社(以下單ニ會社ト稱ス)トノ間ニ左ノ契約ヲ締結ス

第一條 會社ハ道路、橋梁及公園ニ於テ公共用ニ供スル瓦斯代ニ付市ニ對シ普通料金ヨリ二割ノ割引ヲ爲スヘキ事

第二條 會社ハ開業ノ日ヨリ滿五十年ノ後ニ至リ市ノ希望ニ依リ買收ニ應スヘキ事

前項ノ價額ハ大阪市内ノ株式取引所ニ於ケル會社株式ノ其時ヨリ前三年ノ平均相場ニ依ル但其平均相場カ右三ヶ年間ノ利益配當平均年額二十倍以上ナルトキハ其二十倍額ヲ以テ買收價格ト定ムヘシ

第三條 會社ハ其純益金ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ市ニ納付スヘキ事前項ノ純益金ハ各事業年度ニ於ケル總益金ヨリ總損金ヲ引去リタルモノトス

但總損金中ニハ各種ノ積立金及賞與金其他之ニ類スル支出ヲ包含セサルモノトス

損益計算ハ會社ニ於テ證明ノ責アルモノトス

第四條 會社カ純益金中前條ノ納付金ヲ控除シタル殘額ヨリ拂込資本額ニ對シ年一割二分ニ相當スル金額并ニ法定準備金最低額ヲ差引キ過剩金アルトキハ其過剩金ノ四分ノ一ニ相當スル金額ヲ前條ノ外市ニ納付スル事

明治三十六年八月六日大阪市ト大阪瓦斯株式會社トノ間ニ締結シタル契約書ノ趣旨ヲ明ニスル爲メ當事者間ニ此覺書ヲ爲取換置クモノトス

契約書第一條ノ割引ハ道路上ノ公共用便所ニ點火スル瓦斯代ニモ亦適用スルモノトス

同第三條ノ納付金納付ノ時期ハ株主定時總會ニ於テ會社ノ計算ヲ決議シタル日ヨリ一週間内トス

同條第二項中ニ所謂各事業年度トハ會社ノ各計算期ヲ云フ又總損金中ニハ正當ナル減價償却金ヲ包含スルモノトス

同第四條但書中法定準備金ノ極度ハ法律ノ改正ニ從ヒ増減スルモノトス

●對大阪電燈株式會社 報償契約

契約書

大阪市參事會市長山下重威ト大阪電燈株式會社取締役社長土居通夫トノ間ニ市及會社ノ爲メニ左記ノ條項ニ付茲ニ契約ヲ締結ス

第一條 會社ハ市ノ所有又ハ管理ニ屬スル道路橋梁公園及公設便所ニ點火スル電燈料ハ普通料金ヨリ三割ヲ減スル事

第二條 會社ハ毎年大阪市内ニ於ケル電燈料金ノ前五ヶ年平均年額ニ對シ左記ノ率ニ相當スル金額ヨリ電柱及埋線管ノ敷地ニ關スル

第二十類 報償契約

六五三

但法定準備金ノ差引ハ會社カ資本四分ノ一ニ相當スル準備金ヲ有スルニ至リタルトキハ之ヲ止ムルモノトス

第五條 會社カ開業ノ日ヨリ五ヶ年ノ後ニ於テ瓦斯代價ヲ引上ケントスル場合ニハ其都度市ト協議スヘキ事但協議不調トキハ市及會社ニ於テ各自二名ノ調停委員ヲ選定シ其裁決ニ從フヘク萬一其調停委員ノ意見一致セサルトキハ該委員四名ニ於テ更ニ選定スル一名ノ判定者ノ裁決ニ依リ之ヲ決ス

第六條 會社ノ資本増加、會社株金拂込額ノ半額以上ノ社債募集及會社ノ合併ノ場合ニハ會社ヨリ市ニ協議スヘキ事若シ協議不調ノ場合ニハ前條但書ニ據リ調停委員四名又ハ判定者一名ノ裁決ニ從フヘキ事

第七條 市ハ一般ノ市稅ヲ除クノ外瓦斯事業ニ關シ特許料免許料又ハ何等ノ料金若クハ特別稅ヲ賦課徵收セサルモノトス

第八條 市ハ其所有又ハ管理スル道路、橋梁及土地等ノ使用及工作物等ノ附替其他ニ關シ正當ナル十分ノ便宜ヲ無償ニテ會社ニ與フヘキ事但市ニ於テ便宜ヲ供スル爲メ特ニ要スル費用ハ會社ニ於テ負擔シ又之カ爲メニ市ノ受ケタル損害ハ會社ニ於テ賠償スルモノトス

第九條 市ハ自カラ瓦斯事業ヲ經營セス又他ニ向ツテ瓦斯會社ノ設立ヲ承認セサル事

右契約ノ正確ナル事ヲ證スル爲メ本證ニ通テ製シ當事者双方署名捺印スルモノ也

府納金(參于圓ヲ最高限度トス)ヲ控除シタル殘額ヲ市ニ納付スルコト

但前條ノ電燈料金ハ本條ノ電燈料ニ加算セス
一 年額壹百萬圓迄ニ對シテハ 一百分ノ六
一 年額壹百萬圓以上貳百萬圓迄ハ壹百萬圓ヲ超過スル額ニ對シテハ 一百分ノ四
一 年額貳百萬圓以上ハ貳百萬圓ヲ超過スル額ニ對シテハ 一百分ノ二

前項壹百萬圓ニ對スル率ハ明治四十年十二月迄ハ一百分ノ三、五トシ以後一百分ノ六ニ達スル迄ハ一年毎ニ一百分ノ〇、五ヲ遞加スルモノトス

本條ニ於ケル電燈料ニハ點燈ノ用ニ供スル電力料金ヲ包含ス

第三條 市納金ハ其年額ヲ二分シ毎年六月及十二月ニ於テ各其一分ヲ納付スル事

第四條 會社ハ毎年一月限前五箇年間ニ於ケル電燈ノ種類箇數及電燈料月別表及其年別表ヲ市ニ届出ツル事

第五條 市ハ前條ノ届出事項ノ當否ヲ調査スル必要アル場合ニ於テハ之ニ關スル會社ノ帳簿財產及事業ヲ検査スル事ヲ得

會社ニ於テ前項ノ検査ヲ拒ミタルトキハ市ハ其意見ヲ以テ届出事項ノ當否ヲ決スルコトヲ得

第六條 會社ニ於テ將來電燈料ヲ引上ケントスル場合又ハ電燈申込ニ關スル規定ヲ變更スル場合ニハ豫メ市ノ承認ヲ經ヘキ事

會社ニ於テ水力ヲ原動力ニ使用セントスル場合ハ豫メ電燈料金ニ

第二十類 報償契約

關シ市ノ承認ヲ經ヘキ事

第七條 市ハ必要ト認メタルトキハ會社ニ對シ電燈線路ノ延長ヲ要求スルコトヲ得此場合ニ於テ會社ハ電燈十箇ニ對シ線路百間ノ割合ヲ以テ其要求ニ應スル事

第八條 市ハ一般市税ノ外電燈事業ニ關スル特別税及市ノ所有又ハ管理ニ屬スル市内ノ道路橋梁堤塘公園其他ノ土地又ハ工作物ニ建設スル電柱若シクハ敷設セル埋線管ノ敷地及工作物ノ使用料ヲ賦課徴收セサル事

第九條 市ハ會社ノ電柱又ハ埋線管ノ爲メニ必要ナル前條ノ土地又ハ工作物ノ使用ニ關シテハ會社ニ對シ無償ニテ相當ノ便宜ヲ與フルコト

第十條 市ハ公衆ノ需用ニ應スル目的ヲ以テ電燈事業ヲ經營セス又他ノ公共團體又ハ私法人若クハ個人ノ經營ニ係ル電燈事業ニ對シ第八條ノ物件ノ使用ヲ承認セサル事

第十一條 此契約ノ有効期間ハ明治四十年一月一日ヨリ三十箇年トス

會社ハ明治四十年一月一日ヨリ滿十五年ノ後ニ至リ市ノ希望アルトキハ買取ニ應スヘキ事
前項ノ賣買價格ハ大阪市内ノ株式取引所ニ於ケル會社株券ノ最近

三箇年平均相場ニ據ル但其平均相場カ右三箇年間ノ利益配當平均年額二十倍以上ナルトキハ其二十倍額ヲ以テ買收價格ト定ムヘシ右契約ノ正確ナルコトヲ證スル爲メ本證二通ヲ製シ當事者双方署名捺印スルモノ也

明治三十九年七月二十八日

大阪市參事會

山下重威

大阪電燈株式會社

取締役社長 土居通夫

覺書

一明治四十四年十二月迄ハ第二條ニ依リ會社カ市ニ納付スル金額カ市内ニアル電柱ノ本支柱、支線ノ總數ニ金六圓ヲ乘シタル金額ヨリ少キトキハ會社ハ別ニ其差額ヲ納付スルモノトス

箕面有馬電氣軌道株式會社
梅田野江間軌道敷設契約

(明治四十年八月六日契約)

(格孤内軌道經過地名明治四十三年十月八日變更承認)
契約書

第一條 本契約書ニ於テハ大阪市ヲ甲ト稱シ箕面有馬電氣軌道株式會社ヲ乙ト稱ス

第二條 甲ハ市内ニ於テ乙ノ延長軌道(市内北區角田町ヨリ北野西之町、北野高垣町、本庄横道町、本庄東權現町、本庄葉村町、本庄中野町、本庄黑崎町、本庄浮田町、天神橋筋西二丁目、天神橋筋六丁目、天神橋筋東四丁目、天滿橋筋西三丁目、天滿橋筋七丁目ヲ經テ樋ノ口上ノ町ニ於テ澁川ヲ渡リ善源寺町ヲ過キ東成郡榎並村大字野江ニ達シ京阪電氣鐵道株式會社線路ニ接続)ヲ敷設スルコトヲ承諾シ其道路使用ニ關シ充分ノ便宜ヲ供スヘシ但道路使用ニ必要ナル費用ハ乙之ヲ負擔スヘシ

第三條 左記ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ乙ハ豫メ甲ノ承諾ヲ經ヘシ
一 合併又ハ商法第二百二十一條第二號ニ由リテ解散セントスルトキ
二 存立時期 解散ノ事由 取締役ノ員數ニ關スル定款ノ設定又ハ變更ヲ爲サムトスルトキ
三 第二條ノ線路ヲ變更シ又ハ之ヲ延長セントスルトキ
第四條 乙ハ軌道ヲ敷設スル道路及新設ノ軌道敷チ全部幅八間以上トナスヘシ
乙ハ新設ノ橋梁及軌道敷チ全部ノ自由通行ノ用ニ供シ其設備ヲ爲スヘシ

第五條 乙ノ營業開始ノ日ヨリ十ヶ年以上經過ノ後甲ニ於テ自ラ營業センカ爲メ第二條ノ線路ノ全部又ハ一部(營業權ヲ含有ス)ノ買

第二十類 報償契約

取テ冀望スルトキハ乙ハ何時ニテモ建設費ヲ以テ之ヲ甲ニ讓渡スヘシ

前項ノ場合ニハ甲ハ乙ニ其冀望チ六ヶ月以前ニ豫告スヘシ乙ハ營業開始ノ日ヨリ三ヶ月以内ニ建設費ノ金額ヲ甲ニ通告スヘシ但甲ノ請求アルトキハ乙ハ建設費ノ細目ヲ證明スヘシ

第六條 乙ハ營業開始ノ後天神橋筋以西梅田ニ至ル線路ノ建設費ノ一千分ノ二十五ニ相當スル金額ヲ毎年甲ニ納付スヘシ

但最初ノ一ヶ年ハ千分ノ十トス
前項ノ金額ハ之ヲ二分シ毎年六月及十二月ノ二十日迄ニ各其一半ヲ納付スヘシ

第七條 前二條ニ於テ建設費ト稱スルハ用地費、土工費、橋梁費、溝渠費、伏樋費、軌道費、停留場費、電線路費、信號線費及以上ノ工事監督費ヲ合算シタル金額ヲ謂フ

第八條 乙ハ特許狀下付ノ日ヨリ四ヶ年以上經過ノ後第六條ノ線路ニ於テ營業ヲ開始セサルトキハ其開始ニ至ル迄毎年五千圓ヲ甲ニ納付スヘシ

第九條 甲ハ乙ノ全線營業開始後ニ於テ乙ノ冀望アルトキハ相當ノ條件ノ下ニ甲ノ指定ニ係ル甲ノ經營線路ニ乙ノ電車ヲ運轉セシムルコトヲ承諾スヘシ
第五條第一項ノ規程ニヨリ甲カ乙ノ線路ノ一部ヲ買收シタルトキ

モ亦前項ニ準ス

第十條 乙ハ本契約ニ違背シタルトキハ違約金參拾萬圓ヲ甲ニ納付スヘシ

乙ニ於テ商法第二百二十一條第三號ニ依リ解散シ甲ニ對シ第五條第一項ノ義務ヲ履行スル能ハサルトキハ甲ニ損失補償金參拾萬圓ヲ納付スヘシ

明治四十年八月六日

大阪市參事會

大阪市長 山下 重 威

箕面有馬電氣軌道株式會社

社長 岩下 清 周

第二條 市ハ會社ノ特許線ノ内大阪市北區北野角田町二百四十八番地先ヨリ帝國鐵道廳大阪停車場東方鐵道線路ヲ橫斷シ全區北野茶屋町二百七番地先ニ至ル地點ニ市ノ事業トシテ有効幅員八間ノ道路ヲ新設シ線路橫斷ノ箇所ニハ全一ノ幅員ヲ以テ徑間百尺ニ涉ル跨線橋ヲ架設スルモノトス

第三條 會社ハ新設道路ノ西側ニ無償ニテ軌道ヲ敷設スルコトヲ得ルモノトス

第四條 道路新設ニ要スル土地ハ市ニ於テ買收スヘキヲ以テ會社ハ鐵道廳ノ所管ニ屬スル土地以外ノ用地費トシテ金八萬八千四百七拾圓ヲ本年十月三十一日ト同年十一月三十日トノ兩度ニ平分シテ市ニ納付スルモノトス

但本金額ハ剩餘ヲ生スルコトアルモ還付セス
用地買收ニ關シテ生スヘキ一切ノ費用ハ前項ノ金額以外ニ於テ市ノ決定ニ從ヒ別ニ會社ニ於テ負擔スルモノトス

第五條 道路及跨線橋工事ノ設計ニ就テハ双方協議ノ上之ヲ定ムルモノトス

第六條 道路築造工費ハ總テ會社ニ於テ負擔シ跨線橋ニ屬スル工費ハ双方平分シテ之レヲ負擔スルモノトス

第七條 本道路新設ノ爲必要ナル道路溝渠ノ附換其他ノ附帶事業ハ市自ラ其負擔ニ於テ施行スルモノトス

第八條 市ニ於テ政府ヨリ跨線橋費ノ下附ヲ受ケタルトキハ其半額ニ相當スル金額ヲ會社ニ交付スルモノトス

第九條 將來道路及跨線橋ノ維持修繕工事ハ市ニ於テ施行シ會社ハ

箕面有馬電氣軌道株式會社道路新設契約

明治四十一年十月十三日市會議決
全四十一年十月廿二日 契約

北區北野角田町ヨリ全區北野茶屋町ニ至ル道路新設ニ關シ箕面有馬電氣軌道株式會社ト左記ノ契約ヲ締結スルモノトス

契約書

第一條 本契約ニ於テハ大阪市市ト稱シ箕面有馬電氣軌道株式會社ヲ會社ト稱ス

市ノ定ムル處ニ從ヒ其費用ノ半額ヲ市ニ納付スルモノトス

第十條 將來鐵道線路増設等ノ爲メ跨線橋ノ擴築ヲ要スルトキハ會社ニ於テ其費用ノ全部ヲ負擔スルモノトス

第十一條 本事業ニ關シ主務官廳ノ許可ヲ得サルトキハ本契約ハ其効力ヲ失フモノトス事業ニ變更ヲ生シタル時ハ本契約ニ準シ更ニ協定ヲ爲スモノトス

右契約ノ正確ヲ證スル爲メ本書二通ヲ作成シ双方署名調印ノ上各其一通ヲ保管スルモノ也

年 月 日

大阪市參事會

市長 名

箕面有馬電氣軌道株式會社

代表者 名

契約書

第一條 本契約ニ於テハ大阪市市ト稱シ箕面有馬電氣軌道株式會社ヲ乙ト稱ス

第二條 甲ハ明治四十年八月六日付ヲ以テ兩者間ニ締結セル契約書(以下單ニ前契約書ト稱ス)ノ道路(橋梁ヲモ包含ス以下同シ)ヲ新設シ乙ヲシテ該道路ニ軌道ヲ敷設スルコトヲ得セシムルモノトス

第三條 乙ハ前條ノ權利取得ノ對價トシテ道路新設ニ要スル一切ノ費用ヲ甲ニ納付スルモノトス但乙カ甲ノ指定テ受ケタル時ハ工事費ノ納付ニ換ヘ自ラ其工事ヲ施行スルコトアルヘシ

第四條 前條ノ金額ハ甲ニ於テ決定スルモノトシ乙ハ甲ノ指定スル所ニ遵ヒ納付スヘキモノトス

第五條 當該官廳ノ許可ヲ得タル時ハ淀川鐵橋以東ノ新設道路職員ヲ六間ト爲スモノトス

第六條 乙ハ北區北野茶屋町二百七番地先以北市郡境界ニ至ル新設軌道ヲ自己ノ費用ヲ以テ幅員八間ニ變更シ甲ト協議ノ上完全ナル道路敷トシテ甲ニ寄附スルモノトス

第七條 本契約書第三條ニ依リ乙ノ納付シタル金額ハ前契約書ニ記載セル乙ノ建設費中ニ包含スルモノトス

右契約ノ正確ヲ證スル爲メ本書二通ヲ作り署名捺印ノ上各自一通ヲ保管スルモノトス

明治四十二年 月 日

大阪市參事會

大阪市長

六五七

箕面有馬電氣軌道株式會社道路新設契約

明治四十二年八月九日市會議決
全四十二年八月十四日 契約

道路新設ニ關シ箕面有馬電氣軌道株式會社ト別紙ノ通契約ヲ締結スルモノトス

第二十類 報償契約

箕面有馬電氣軌道株式會社

社長

對南海鐵道株式會社軌道共用契約及電車運轉契約解除ニ關スル件

明治四十四年十二月二十七日

市會 議 決

全年十二月二十八日會社株主總會議決
四十五年二月十二日主務官廳許可

契約書

大阪市下南海鐵道株式會社トノ間ニ存スル大阪市ノ電氣軌道中天王寺西門前ヨリ天滿橋南詰ニ至ル軌道共用ニ關スル契約(以下單ニ軌道共用契約ト稱ス)及天王寺西門前ヨリ難波停車場前、湊町停車場前、梅田停車場前並梅田停車場前ヨリ天滿橋南詰ニ至ル線路ニ南海鐵道株式會社ノ電車ヲ運轉スル契約(以下單ニ電車運轉ト稱ス)ヲ解除スル爲メ更ニ大阪市(以下單ニ市ト稱ス)ト南海鐵道株式會社(以下單ニ會社ト稱ス)トノ間ニ契約スルコト左ノ如シ

第一條 軌道共用契約第七條ニ依リ市ニ於テ會社ヨリ受取リタル金百參拾萬圓ハ本契約第七條ニ定メタル契約終了期日後市ノ都合ニ

依リ會社ニ返付スヘシ但シ本金額ニ對シテハ利子ヲ付セサルモノトス

第二條 軌道共用契約及電車運轉契約ヲ實施スル爲メ會社ニ於テ所有スル電車三十輛ハ一輛ニ付金四千五百拾圓ノ割合ヲ以テ本契約實行ノ日ニ於テ市ハ之ヲ會社ヨリ買受クルモノトス

前項ノ買受代金ハ第一條ノ金百參拾萬圓ト共ニ市ヨリ會社ニ支拂フヘシ但シ此ノ買受代金ニハ利子ヲ付セサルモノトス

第三條 市ハ其經營ニ係ル電氣軌道營業線全部ノ一車一哩ニ對スル毎月平均收入額ノ十分ノ八ヲ八萬五千八百哩ニ乘シタル金額ヲ毎月會社ニ交付スヘシ但シ本文平均收入額ニ就テハ市ノ計算ニ對シテ會社ハ異議ヲ申出テサルモノトス

第四條 會社ハ毎月金五千五百圓ヲ經費トシテ市ニ納付スヘシ

第五條 將來市ニ於テ狀態ノ變化ニ依リ他ノ私設會社ノ電車ヲ市ノ軌道ニ運轉セシムルトキ(京阪電氣鐵道株式會社ノ電車ヲ天滿橋南詰ニ運轉セシムル場合ヲ除ク)ハ市ハ會社ニ對シ天王寺西門前ヨリ難波停車場前、湊町停車場前、梅田停車場前、空町、天滿橋谷町及上本町ヲ經テ天王寺西門前ニ至ル線路ニ會社ノ電車ヲ往復運轉スルコトヲ承認スルモノトス但シ其運轉回数ハ會社ト同一又ハ同一以上トシ電車ノ使用料ハ同一ノ割合タルヘシ而シテ其ノ他ノ條件ハ其ノ際更ニ協定スルモノトス前項ノ運轉ヲ開始スル場合ニ於テ會社ノ希望アルトキハ其必要トスル期間市ハ第二條ニ依リ會社ヨリ買受タル車輛ノ内其際現存スル車輛ヲ限度トシテ會社ニ貸與スヘシ但シ會社ハ使用料トシテ一日一車ニ付金四圓ノ割合ヲ以テ毎月市ニ納付スヘシ

第六條 前三條ニ依ル金額ハ各每一ヶ月分ヲ翌月十日マテニ五ニ支拂フヘシ

第七條 本契約ハ明治四十九年八月十九日ヲ以テ終了スルモノトス但シ本期日後ト雖モ市ニ於テ第一條及第二條ノ金額ヲ會社ニ交付スル日マテハ本契約ノ効力ヲ繼續スルモノトス

第八條 本契約ハ大阪市會及會社株主總會ノ承認ヲ得タル上其効力ヲ生スルモノトス

第九條 本契約カ主務官廳ノ許可ヲ得サルトキハ其効力ヲ失フモノトス

第十條 本契約實行ノ期日ハ主務官廳ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内トシ市ト會社トノ間ニ於テ協定スルモノトス

附 則

本契約カ主務官廳ノ許可ヲ得サル以前ニ於テ市カ現行ノ區間賃金制ヲ均一賃金制ニ變更シタルトキハ其變更シタル日ヨリ現行軌道共用契約ニ基ク會社ノ電車運轉ニ依ル賃金及經費ハ左ノ三項ニヨリ取扱フモノトス

一、會社ノ電車運轉ニ依リ收入シタル西門前、天滿橋南詰間ノ乘客賃金ハ總テ市ノ所得トスルコト

二、市ハ前項ノ區間ニ於ケル會社所屬電車ノ毎月運轉哩數ニ市ノ經營ニ係ル電氣軌道營業線全部ノ一車一哩ニ對スル毎月平均收入額(前項ニ記載シタル)ノ十分ノ八ヲ乘シタル金額ヲ翌月十日迄ニ會社ニ支拂フコト但本文平均收入額ニ就テハ市ノ計算ニ對シテ會社ハ異議ヲ申出テサルモノトス

三、經費ノ負擔ハ總テ現行軌道共用契約ノ通りトスルコト

明治四十四年十二月十一日

以上

大阪市長 植村 俊平

南海鐵道株式會社

取締役社長 大塚 惟明

覺 書

大阪市ニ於テ均一賃金制ヲ施行シタル日及本契約履行ノ日カ月ノ中途ニアルトキハ本契約第三條第四條及附則第二項ノ計算ハ日割ニ依ルモノトス

本契約終了ノ月ニ於ケル計算ニ就テモ亦同シ

明治四十四年十二月十一日

大阪市長 植村 俊平

南海鐵道株式會社

取締役社長 大塚 惟明



對京阪電氣鐵道株式會社軌道共用契約並對京阪電氣鐵道株式會社電車運轉契約解除ニ關スル件

明治四十四年十二月二十七日 市會 議決
四十五年一月十三日會社 株主總會 議決

契約書

明治四十一年九月二十六日付テ大阪府市京阪電氣鐵道株式會社及阪神電氣鐵道株式會社トノ間ニ締結シタル大阪府市梅田停車場前今橋東詰間電車運轉ニ關スル契約ニ關シ大阪府市(以下單ニ市ト稱ス)ト京阪電氣鐵道株式會社(以下單ニ會社ト稱ス)トノ間ニ契約スルコト左ノ如シ
第一條 市及會社ハ本契約ヲ條件トシテ前記契約ヲ解除スルコトニ同意ス
第二條 市ハ前記契約第九條ニ依リ會社ヨリ受取リタル金貳拾壹萬圓ヲ大江橋天滿橋南詰間營業開始ノ翌日ヨリ起算シ五ヶ年以内ニ隨時會社ニ返付スヘシ
第三條 市ハ前條ノ金額ニシテ返付未済ニ係ルモノニ對シ一ヶ年一百分ノ六ニ相當スル金額ヲ利子トシテ毎年三月末日及九月末日ノ

二回ニ日割計算ヲ以テ之ヲ會社ニ支拂フヘシ
第四條 本契約ハ大阪府市會及會社株主總會ノ同意ヲ得タル上其効力ヲ生スルモノトス
第五條 本契約ハ阪神電氣鐵道株式會社カ前記契約ニ依リ有スル權利ノ行使ヲ妨ケサルモノトス
明治四十四年十二月十四日

契約書

大阪市長 植村俊平
京阪電氣鐵道株式會社 取締役社長 田邊貞吉
明治四十一年九月二十六日付テ大阪府市(以下單ニ市ト稱ス)ト京阪電氣鐵道株式會社(以下單ニ會社ト稱ス)ト締結シタル大阪府市今橋東詰天滿橋南詰間電車運轉共用ニ關スル契約(以下單ニ前契約ト稱ス)ハ總ア之ヲ解除スル爲メ更ニ契約スルコト左ノ如シ
第一條 市ハ前記契約第八條及第十三條ニ依リ會社ヨリ受取リタル金參拾八萬五千圓ヲ今橋東詰天滿橋南詰間線路落成ノ翌日ヨリ起算シ五ヶ年以内ニ隨時會社ニ返付スヘシ
第二條 市ハ前條ノ金額ニシテ返付未済ニ係ルモノニ對シ一ヶ年一百分ノ六ニ相當スル金額ヲ利子トシテ毎年三月末日及九月末日ノ二回ニ日割計算ヲ以テ之ヲ會社ニ支拂フヘシ
第三條 天滿橋南詰ニ於ケル別紙圖面ノ用地ハ市ニ於テ收得シ市ハ之ニ要シタル實費ヲ以テ更ニ之ヲ會社ニ讓渡スヘシ但シ之レカ爲メニ要スル費用ハ會社ヨリ市ニ豫納スルモノトス

第四條 會社ハ前條ニ依リ讓受ケル用地ノ一部ヲ電氣軌道用トシテ市ニシテ無償使用セシムルモノトス但シ其ノ使用上ニ關スル設計ニ就テハ豫メ協議ノ上決定スルモノトス
第五條 前契約第十一條ノ趣旨ヲ繼續シ市ハ會社ノ希望ニ依リ本契約締結ノ日ヨリ起算シ十ヶ年間ハ今橋天滿橋間ノ電氣軌道ニ左ノ條件ヲ以テ會社ノ電車ヲ運轉セシムルモノトス
一 運轉回數ハ市ノ電車機軸ニ支障ヲ及ボササル程度ニ於テ決定スルコト
二 本區間ノ乘車賃金ハ總ア市ノ所得トシ會社ハ市ニ對シ電車ノ使用料修繕費及其他運轉ニ關スル費用ヲ一切要求セサルコト
三 會社ノ電車運轉ノ爲メ今橋附近ニ相當ノ設備ヲ要スルトキハ該費用ハ會社ノ負擔トスルコト
四 會社ハ本線路ニ運轉スル電車ノ設備及運轉ノ方法ニ關シテハ市ノ同意ヲ得ルコト

第六條 本契約ハ大阪府市會及會社株主總會ノ同意ヲ得タル上其効力ヲ生スルモノトス
第七條 本契約ノ全部又ハ一部ノ履行ニ就キ主務官廳ノ認可ヲ得サルコトキハ其ノ全部又ハ一部ハ其ノ効力ヲ失フモノトス
第八條 會社カ天滿橋南詰ニ於ケル電氣鐵道基點ノ變更及之ニ伴フ線路ノ變更ニ就キ主務官廳ノ認可ヲ得ルコト能ハサルコトキハ本契約ハ其ノ効力ヲ失フモノトス
第九條 本契約第三條ノ用地買収カ契約締結ノ日ヨリ三ヶ年間ニ完了セサルコトキハ本契約ハ其ノ効力ヲ失フモノトス

第十條 前二條ニ依リ本契約カ其ノ効力ヲ失ヒタルコトキハ前契約ハ當然復活スルモノトス
第十一條 本契約カ其ノ第六條ニ依リ効力ヲ生スルニ至ルマテ前契約ハ其効力ヲ中斷スルモノトス
第十二條 前契約解除ノ結果市及會社ハ本契約ニ定メタルモノノ外前契約ニ關シテハ互ニ何等ノ要求ヲ爲ササルモノトス
以上
明治四十四年十二月十四日

大阪市長 植村俊平
京阪電氣鐵道株式會社 取締役社長 田邊貞吉

對阪神電氣鐵道株式會社軌道共用契約並對京阪電氣鐵道株式會社及阪神電氣鐵道株式會社電車運轉契約解除ニ關スル件

明治四十四年十二月二十七日 市會 議決

四十五年一月十二日
會社株主總會議決

契約書

明治四十三年五月二十五日付テ大阪府(以下單ニ市ト稱ス)ト阪
神電氣鐵道株式會社(以下單ニ會社ト稱ス)トノ間ニ締結シタル市ノ
電氣鐵道福島會根崎線中渡邊橋筋ヨリ北區上福島中五丁目官線西成
鐵道跨線橋マテノ軌道共用ニ關スル契約(以下單ニ前契約ト稱ス)ハ
總テ之ヲ解除スル爲メ更ニ契約スルコト左ノ如シ

第一條 會社ハ本契約締結ト同時ニ大阪府内北區上福島中五丁目ヨ
リ出入橋停留場ニ至ル既設軌道ノ存置及出入橋停留場ヨリ梅田町
市營電氣鐵道現在東梅田停留場前ニ至ル新設軌道ノ布設ヲ主務官
廳ニ出願スルモノトス但シ其ノ軌道ハ會社ノ專用軌道タルヘシ

第二條 市ハ前條ニ依ル會社ノ既設軌道ノ存置及新設軌道ノ布設ニ
翼賛シ相當ノ措置ヲ爲スモノトス

第三條 本契約ハ大阪府會及會社ノ株主總會ノ同意ヲ得タル上其ノ
効力ヲ生スルモノトス

第四條 本契約ハ會社ニ於テ第一條ノ出願ニ對シ主務官廳ノ認可ヲ
得サルトキハ其効力ヲ失ヒ前契約ハ當然復活スルモノトス

第五條 本契約カ第三條ニ依リ効力ヲ生シタル時ヨリ會社ニ於テ第
一條ノ出願ニ對シ主務官廳ノ指令ヲ得ルニ至ルマテノ間ハ前契約
ハ其ノ効力ヲ中斷スルモノトス但シ中斷ニ必要ナル事項ノ出願ニ
對シ官廳ノ許可又ハ認可ヲ得サルトキハ此ノ限ニアラス

明治四十四年十二月十四日

契約書

明治四十一年九月二十六日付テ大阪府ト京阪電氣鐵道株式會社
及阪神電氣鐵道株式會社トノ間ニ締結シタル大阪府内梅田停車場前
今橋東詰間電車運轉ニ關スル契約(以下單ニ前契約ト稱ス)ニ關シ大
阪府(以下單ニ市ト稱ス)ト阪神電氣鐵道株式會社(以下單ニ會社ト
稱ス)トノ間ニ契約スルコト左ノ如シ

第一條 市及會社ハ本契約ヲ條件トシテ前契約ヲ解除ス

第二條 市ハ前契約第九條ニ依リ會社ヨリ受取リタル金貳拾壹萬圓
ヲ大江橋天滿橋南詰間營業開始ノ翌日ヨリ起算シ五ヶ年以内ニ隨
時會社ニ返付スヘシ

第三條 市ハ前條ノ金額ニシテ返付未済ニ係ルモノニ對シ一ヶ年壹
百分ノ六ニ相當スル金額ヲ利子トシテ毎年三月末日及九月末日ノ
二回ニ日割計算ヲ以テ之ヲ會社ニ支拂フヘシ

第四條 本契約ハ會社ニ於テ大阪府内北區上福島中五丁目ヨリ出入
橋停留場ニ至ル既設軌道ノ存置及出入橋停留場ヨリ梅田町市營電
氣鐵道現在東梅田停留場前ニ至ル新設軌道布設ノ出願ニ對シ主務
官廳ノ認可ヲ得サルトキハ其効力ヲ失ヒ前契約ハ當然復活スルモ
ノトス

第五條 前條ニ依リ前契約カ復活シタルトキハ市ハ會社ノ電車ニ限
リ前契約第二條ノ線路ヲ櫻橋交叉點ヨリ梅田新道交叉點及大江橋

ヲ經テ今橋東詰ニ至ル線路ニ變更シテ運轉セシムルモノトス

第六條 本契約ハ大阪府會及會社株主總會ノ同意ヲ得タル上其ノ効
力ヲ生スルモノトス

第七條 本契約ハ京阪電氣鐵道株式會社カ前契約ニ依リ有スル權利
ノ行使ヲ妨ケサルモノトス

明治四十四年十二月十四日

大阪市長 植村俊平
阪神電氣鐵道株式會社
專務取締役 今西林三郎

對大阪電燈株式會社
電柱共用契約

明治四十五年六月十一日
市會議決

契約書

大阪市ト大阪電燈株式會社ト相互ニ其ノ一方ノ建設ニ係ル電柱ニ他
方ノ電線ヲ添架セシムル爲メ左ノ契約ヲ締結ス

第一條 本契約ニ於テ甲ト稱スルハ電柱所有者、乙ト稱スルハ添架
要求者トス

第二條 鐵柱及鐵塔ハ本契約ニ所謂電柱ニ包含スルモノトス但シ第
二十類 報償契約

四條及第六條ニ規定セル使用料ノ金額ニ關シテハ之ヲ共用スルノ
必要ヲ生シタルトキ別ニ協定スルモノトス

第三條 甲ハ其ノ建設ニ係ル電柱ニ乙ノ電線及開閉器保安器等ノ附
屬物ヲ添架スルコトヲ請求セラレタルトキハ其ノ添架ヲ許サ、ル
事由アルトキノ外之ヲ承諾スヘシ

第四條 添架ニ對スル電柱使用料ハ壹ヶ年ニ付左記ノ金額ヲ其ノ電
柱ニ架設セル腕木ノ總數ヲ以テ除シ之ニ乙ノ使用セル腕木ノ數ヲ
乘シタルモノトス

電柱地上ノ高サ	參拾尺迄	金四圓五拾錢	
全	高サ	參拾五尺迄	金七圓
全	高サ	四拾尺迄	金拾壹圓
全	高サ	四拾五尺迄	金拾六圓
全	高サ	五拾尺迄	金拾八圓
全	高サ	五拾尺以上	金貳拾參圓

第五條 前條ノ使用料ハ月割計算トシ毎年六月及拾貳月ノ兩度ニ前
六ヶ月分ヲ乙ヨリ甲ニ支拂フヘシ

第六條 乙ニ於テ其ノ電線ヲ添架セル腕木ニ變壓器引込線等ヲ取付
クルモ之カ爲メ第四條ノ使用料ヲ増額セサルモノトス

第七條 乙ノ電線添架ノ爲メ甲ノ電柱(支柱及支線ヲ含ム)ノ建替及
加工ヲ要スルトキハ乙ニ於テ其ノ工費ヲ負擔シ甲ニ於テ其ノ工事
ヲ施行スルモノトシ該電柱及加工物ハ甲ノ所有ニ歸ス

乙ノ電線添架ノ爲メ甲ノ電柱ニ支柱及支線ノ副設ヲ要スルトキハ
乙ニ於テ其ノ工費ヲ負擔シ甲ニ於テ其ノ工事ヲ施行スルモノトシ

該支柱及支線ハ甲ノ所有ニ歸ス

第八條 前條ノ場合ニ於テ電柱ノ建替ヲ爲シタルトキハ再建替ヲ爲スニ至ル迄及甲カ第三者(宇治川電氣株式會社ヲ含ム)ノ電線添架ノ爲メ該電柱ヲ再建替シタルトキハ其ノ後更ニ建替ヲ爲スニ至ル迄乙ハ其ノ電線ノ使用料ヲ甲ニ支拂ハサルモノトス

第九條 第七條ニ依リ甲ニ於テ工事ヲ施行スルトキハ乙ハ之ニ立會スルコトヲ得

第十條 甲ノ電柱ニ添架スル乙ノ晝間送電ノ高壓電線ハ電氣工事規程第二十條第三號ニ適合スルモノタルヲ要ス但該電柱ニ架設セル甲ノ晝間送電ノ高壓電線中該規定ニ適合セサルモノアルトキハ乙ハ其ト同等以上ノ絕緣力ヲ有スル晝間送電ノ高壓電線ヲ添架スルコトヲ得

第十一條 乙ノ添架電線數ハ腕木壹本ニ付左ノ制限ヲ超過スルコトヲ得ス

米貳零番線ニ達セサルモノ 六 本
米貳零番線以上 四 本

第十二條 甲ハ其ノ電柱支柱及支線ニ對シ維持修繕ヲ負擔スヘキモ乙ノ腕木、碍子、電線及附屬品ノ維持修繕ハ乙ノ負擔トス

第十三條 電線路ノ位置構造等ノ變更ニ依リ乙ノ電線添架ヲ許サ、ル事由ヲ生シタル爲メ甲ノ請求アリタルトキハ乙ハ其ノ電線添架ヲ廢止スヘシ但第三者(宇治川電氣株式會社ヲ含ム)ノ電線添架ノ爲メ變更ヲ要スル場合ハ此ノ限ニアラス

宇治川電氣株式會社以外ノ第三者ト大阪電燈株式會社カ電柱共用ヲ爲ス場合ニモ第十五條ノ規定ハ之ヲ準用スヘキモノトス

第十八條 本契約ハ明治三十九年七月二十八日大阪市ト大阪電燈株式會社トノ間ニ締結セル報償ニ關スル契約カ其ノ効力ヲ喪失スル日マテ効力ヲ有スルモノトス

第十九條 明治四十年五月六日大阪市ト大阪電燈株式會社トノ間ニ締結シタル電柱共用ニ關スル契約ハ本契約成立ト共ニ消滅スルモノトス

第二十條 本契約ハ市ニ對シテハ大阪市會ノ同意ヲ得タル上其ノ効力ヲ生スルモノトス

本契約書ハ正本貳通ヲ作成シ當事者各其ノ壹通ヲ保有スルモノトス

明治四十五年四月十三日

大阪市長 植村 俊 平
大阪電燈株式會社
取締役社長 土居 通 夫

對宇治川電氣株式會社 報償契約

乙ハ任意ニ其ノ電線添架ヲ廢止スルコトヲ得

第十四條 甲ニ於テ其ノ建設セル電柱ニ宇治川電氣株式會社ヲシテ電線及閉閉器保安器等ノ附屬物ヲ添架セシメントスルトキハ乙ハ之ニ異議ナキモノトス

第十五條 前條ニ依リ添架シタル大阪電燈株式會社ノ電柱ヲ大阪市カ其ノ經營セル電氣軌道及電力供給ノ目的ヲ以テ新ニ共用ヲ開始シ又ハ添架ヲ増加スルノ必要ヲ生シタル場合ニ宇治川電氣株式會社ニ屬スル添架物ノ爲メニ其ノ餘裕ナキトキハ大阪市ノ目的ヲ實施スルニ必要ナル程度ヲ限リトシ大阪市ヨリ期間ヲ定メ其ノ旨ヲ通告シタルトキハ大阪電燈株式會社ハ自己ノ費用ヲ以テ遲滞ナク宇治川電氣株式會社ノ添架物ヲ撤去スヘシ

前項ノ期間ヲ經過スルモ尙ホ撤去ヲ實行セサルトキハ大阪市ハ自己ノ之ヲ撤去シ其ノ費用ヲ大阪電燈株式會社ニ要求シ得ルモノトス

若シ大阪市ノ行爲ニ對シテ宇治川電氣株式會社ヨリ損害賠償ノ請求アルトキハ大阪電燈株式會社ハ大阪市ニ代テ其ノ責ニ任スヘキモノトス

第十六條 甲ニ於テ其ノ建設セル電柱ニ添架シタル腕木數ヲ變更シタルトキハ翌月末日マテニ之ヲ乙ニ通知スヘシ

前項腕木數ハ第三者(宇治川電氣株式會社ヲ含ム)ノ添架シタル分ヲ含ムモノトス

第十七條 大阪電燈株式會社ハ宇治川電氣株式會社ヲ除キタル第三者ト電柱共用ニ關スル契約ヲ締結シ又ハ電柱共用ヲ實施セントスルトキハ豫メ大阪市ニ其ノ事由ヲ遺漏ナク通告シテ承認ヲ受クヘシ

大阪市長植村俊平ト宇治川電氣株式會社取締役社長中橋德五郎トノ間ニ左ノ契約ヲ締結ス

第一條 大阪市(以下單ニ市ト稱ス)ハ現在敷設シ及將來敷設スヘキ市有電氣軌道線路ノ沿道以外ニハ現在供給シ及供給ヲ豫約シタルモノ、外電力ノ供給ヲ爲サ、ルモノトス但市カ自家用又ハ公共用ニ供スル場合ハ此ノ限リニアラス

第二條 宇治川電氣株式會社(以下單ニ會社ト稱ス)カ大阪市内(將來新ニ編入スル區域ヲ含ム以下皆同シ)ノ一部分ニ於テ需用者アルニモ拘ハラズ電力供給ノ設備ヲ爲サ、ルカ又ハ供給スヘキ電力ノ不足ナル場合ニ於テハ市ハ會社ニ對シ隨時設備ノ増加又ハ電力ノ増加ヲ要求スルコトヲ得ルモノトス

會社カ前項ノ要求ニ應セサルトキハ市ハ其ノ要求シタル區域ニ於テ前條ノ規定ニ拘ハラズ自ラ電力ノ供給ヲ爲スモノトス

第三條 會社ハ電氣供給規程ヲ變更シテ大阪市内全体ニ於ケル電力需用者ノ負擔ヲ増加セントスルトキハ主務官廳ニ届出ツルニ先チ豫メ市ノ承認ヲ受クルコトヲ要スルモノトス

會社ハ主務官廳ニ届出テタル電氣供給規程ヲ其都度市ニ届出ツルニシ

第四條 會社ハ毎年九月三十日ニ終ル前一年間ニ於テ大阪市内全体ニ供給シタル電力ヨリ生スル總收入金額(大阪電燈株式會社ニ

契 約 書

明治四十五年三月二十七日 市 會 議 決

供給シタル電燈用電力ノ料金ヲ包含セスニ對シ左記ノ率ニ依リ算出シタル金額ヲ毎年十一月三十日限リ市ニ納付スルモノトス
一 總收入金額壹百萬圓未滿ノ場合ニハ其ノ十分ノ四ニ對シ其ノ千分ノ三十六

一 同壹百萬圓以上壹百五十萬圓未滿ノ場合ニハ其ノ十分ノ五ニ對シ其ノ千分ノ四十二
一 同壹百五十萬圓以上ノ場合ニハ其ノ十分ノ六ニ對シ其ノ千分ノ五十四

會社ノ營業開始初年度ニ於テ其ノ營業期間カ前項ノ一ケ年ニ滿タサルトキハ其ノ實際營業シタル期間ニ於ケル前項總收入金額ヲ該期間ノ年額トシテ納付金ヲ算出スルモノトス又本契約終了ノ場合ニ於ケル納付金ノ計算モ之ニ準スルモノトス

第五條 會社カ大阪市内全体ニ對シ電力ヲ供給スル變電所ニ於ケル供給最高電力(大阪電燈株式會社ニ供給シタル電燈用電力ヲ包含セス)カ毎年九月三十日ニ終ル前一ケ年內ニ一回壹萬「キロワット」以上トナリタルトキハ會社ハ左ノ率ヲ平均料金ノ最高限度トシ其ノ範圍內ニ於テ毎年十一月一日ヨリ電氣供給規程ノ電力料金變更 スルモノトス

一萬「キロワット」以上トナリタルトキハ
平均一「キロワット」時料金 參錢參厘五毛
一萬二千五百「キロワット」以上トナリタルトキハ全參錢壹厘
一萬五千「キロワット」以上トナリタルトキハ 全貳錢八厘五毛
一萬七千五百「キロワット」以上トナリタルトキハ全貳錢六厘

モノトス

第十條 會社ハ市ト大阪電燈株式會社トノ間ニ現存スル明治三十九年七月二十八日付該會社ノ報償ニ關スル契約カ其ノ効力ヲ持續スル期間內ハ大阪市内ニ於テ動力用電力ノ供給ニ伴フ電燈用電力及該會社ニ供給スル電燈用電力ノ外一般需用者ニ對シテハ電燈用電力ノ供給ヲ爲ササルモノトス
將來市ニ於テ一般需用者ニ對シ電燈用電力ノ供給ヲ爲スニ至リタル場合亦前項ニ同シ

前項ノ場合ニ於テ市ハ會社ヨリ二萬「キロワット」ヲ限度トシ相當ノ價格ヲ協定シテ電燈用ニ供スル電力ノ供給ヲ受テ又會社ハ之ヲ市ニ供給スルモノトス

大阪電燈株式會社カ市ノ承認ヲ得テ宇治川電氣株式會社ノ買收ニ應ジタルトキハ該會社ト市トノ間ニ存スル第一項ノ報償契約ヲ會社ニ繼承セシムルモノトス

第十一條 市及會社ハ毎決算期ニ於ケル事業報告(市ニ在テハ電氣鐵道事業報告)電力需用者明細表及料金收入明細表ヲ相互ニ交付スルモノトス

第十二條 市ハ前條ニ依リ會社ヨリ交付ヲ受ケタル書類ニ關シテ必要ト認メタル場合ニハ之ニ關係シタル會社ノ帳簿及事業ノ調査ヲ爲シ又ハ説明ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス

第十三條 會社ハ明治四十六年一月十五日迄ニ大阪市内ニ於テ電力供給ノ營業ヲ開始スルモノトス但不可抗力其ノ他正當ノ理由ナクシテ會社ノ營業開始カ明治四十六年七月一日ヨリ遅レタルトキハ

二萬「キロワット」以上トナリタルトキハ 全貳錢參厘五毛
前項ノ供給最高電力ハ其ノ變電所ニ於ケル高壓配電線ニ附シタル電力計ノ指示ニ依リ計算スルモノトス

平均一「キロワット」時ノ料金ハ大阪市内全体ニ供給スル電力ヨリ生スル總收入金額(大阪電燈株式會社ニ供給スル電燈用電力ノ料金ヲ包含セス)ヲ其ノ變電所ニ於ケル總「キロワット」時數(大阪電燈株式會社ニ供給スル電燈用電力ノ分ヲ除ク)ヲ以テ除シ算出スルモノトス

第六條 市ハ自ら必要ト認メタルトキハ何時ニテモ會社ノ大阪市内全体ニ電力ヲ供給スル變電所及其ノ他ノ設備ニ就キ調査ヲ爲シ又ハ説明ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス

第七條 市ハ會社ノ電力事業ニ關スル特別稅及會社カ市ノ所有又ハ管理ニ屬スル大阪市内全体ノ道路橋梁堤塘公園其ノ他ノ土地又ハ工作物ヲ利用シテ敷設セル埋線管又ハ建設セル電柱等ノ敷地及工作物ノ使用料ヲ賦課徵收セサルモノトス但一般ニ賦課スル市又ハ區ノ公課ハ此ノ限リニアラス

第八條 市ハ會社ノ埋線管及電柱等電力供給ニ要スル設備ノ爲メ必要ナル前條記載ノ土地又ハ工作物ノ使用ニ關シテハ會社ニ對シ無償ニテ相當ノ便宜ヲ與フルモノトス但會社ハ市カ本文ノ便宜ヲ與フル爲メ特ニ要シタル費用ハ之ヲ負擔シ損害ヲ生シタルトキハ之ヲ賠償スルモノトス

第九條 市カ自家用又ハ公共用ニ使用センカ爲メ會社ノ電力ヲ需用スル場合ノ料金ハ會社所定ノ普通料金ヨリ少クトモ二割ヲ減スル

同日ヨリ起算シ營業開始ニ至ル迄一ケ月金壹千圓ノ割ヲ以テ違約金ヲ市ニ納付スルモノトス

第十四條 本契約ハ明治六十九年四月四日ニ於テ終了スルモノトス
本契約締結後九ケ年滿了以後ハ何時ニテモ一ケ年前ノ豫告ヲ以テ市又ハ會社ハ本契約ヲ解除シ得ルモノトス
前二項ノ場合ニ於テハ大阪市内ニ於テ會社ノ有スル設備井工作物ノ處分ハ互ニ協商シテ之ヲ定ムルモノトス

第十五條 本契約ハ若シ其ノ履行ニ關シ主務官廳ノ許可ヲ求ムル必要アル場合ニハ之カ許可ヲ得タル上且市ニ對シテハ大阪市會ノ同意ヲ得タル上其ノ効力ヲ生スルモノトス
本契約書ハ正本貳通ヲ作成シ當事者各其ノ壹通ヲ保有スルモノトス
明治四十五年二月二十三日

大阪市長 植村 俊平
宇治川電氣株式會社
取締役社長 中橋 德五郎

明治四拾五年貳月貳拾參日附大阪市長植村俊平ト宇治川電氣株式會社取締役社長中橋德五郎トノ間ニ締結シタル契約ノ趣旨ヲ明カニスル爲メ當事者間ニ此ノ覺書ヲ交換シ置クモノトス
一本契約書第一條中ノ市有電氣軌道線路ノ沿道トハ大阪市内ニ於テ電氣軌道ヲ敷設シタル道路ニ建設セル電柱ノ位置ヨリ參百尺以內ノ距離ニシテ電柱參本以內ヲ建設シテ電力ノ供給ヲ爲シ得ヘキ區域ヲ謂フモノトス

一 大阪市有電氣軌道線路ヲ敷設シタル道路ニ建設シタル電柱カ大阪
市有ノモノタルト若クハ他ノ私設會社所有ノモノタルトテ問ハス
宇治川電氣株式會社ハ總テ同電柱ニハ電線ヲ添架セサルモノトス
但該道路ヲ橫斷シテ電線ヲ添架スルノ必要アル場合ハ此ノ限リニ
アラス

一 大阪市ノ既設電力供給線路及現在供給ヲ豫約シタル爲メ架設スヘ
キ電力供給線路ヨリ直ニ引込線ヲ架設シテ送電シ得ヘキ區域内ニ
アル需用者ヨリ大阪市ニ對シ電力供給ノ申込ヲ爲シタル者アルト
キハ大阪市ハ宇治川電氣株式會社ト協議ノ上之ニ應スルモノトス
一 本契約書第四條中ノ宇治川電氣株式會社ノ毎年九月參拾日ニ終ル
前壹ケ年間ニ於テ大阪市内全体ニ供給シタル電力ヨリ生スル總收
入金額トハ該期間内ニ實際收入シタル電力料金ノ總決算額ヲ謂フ
モノトス

一 本契約書第四條及第五條ニ括弧内割註ヲ加ヘタル趣旨ハ本契約ニ
基キ宇治川電氣株式會社ヨリ大阪市ニ納付スル第四條ノ報償金ト
大阪電燈株式會社ヨリ明治三十九年七月二十八日附契約ニ基キテ
大阪市ニ納付スル報償金ト重複スルコトヲ避クルニ在ルヲ以テ將
來前記契約ノ効力ニ變動ヲ生シテ報償金カ重複スル事實ナキニ至
リタル場合ニハ前記割註ハ本契約ヨリ之ヲ刪除スルモノトス
一 宇治川電氣株式會社カ大阪市内全体ニ對シ電力ヲ供給スル變電所
ノ高壓配電用母線ニ附シタル積算電力計ニ依リ毎年九月三十日ニ
終ル前壹ケ年間ニ其ノ變電所ニ於テ十五分間毎ニ計リタル同一時
ノ電力量(キロワット時)ノ和ノ最大ナルモノヲ四倍シタルモノヲ

第二條 乙ニ於テ前條ノ期間經過後同一目的ノ爲メニ前條ノ土地ヲ
繼續使用セムトスルトキハ甲乙協議ノ上第一條ノ貸借契約ヲ更
新スルコトヲ得ルモノトス

第三條 乙ハ土地賃借料トシテ市場開設許可ノ日ヨリ一ヶ月一坪ニ
付金三錢ノ割合ヲ以テ毎年十二月末日迄ノ分ヲ其ノ年十二月十五
日迄ニ甲ニ納付スルコト但一ヶ月ニ滿タサル期間ハ日割計算トス
第四條 甲ハ家畜市場ヲ乙ニ經營セシメ其報償トシテ乙ハ甲ニ對シ
其經營期間中毎年其ノ市場ニ入場シタル家畜頭數ニ應シ一頭ニ付
金四錢ヲ翌年一月末日迄ニ甲ニ納付スルコト

第五條 乙ハ甲ニ對シ前二條ノ義務ヲ履行スル保證トシテ金三百圓
ヲ甲ニ提供スルコト
前項ノ保證金ハ甲ニ於テ指定シタル有價證券ヲ以テ之ヲ提供スル
コトヲ得

但有價證券ノ保證價格ハ時價十分ノ八以内トス

第六條 乙ハ毎月五日迄ニ前月中ニ於ケル入場家畜ノ種類頭數及賣
買交換頭數并ニ其金額ヲ甲ニ届出ツルコト

第七條 甲ハ前條届出ノ事項ヲ調査スル爲メ隨時乙ノ營業諸帳簿及
營業狀態ヲ検査スルコトアルヘシ

第八條 乙ニ於テ家畜入場料及賣買交換手数料ヲ定メ若ハ之ヲ變更
セムトスルトキハ豫メ甲ノ承認ヲ受ケヘキコト

第九條 甲ハ乙ノ營業許可期間中契約締結ノ日ヨリ五ヶ年以内ニ於
テ甲ハ之ヲ自營スル意思ナキモノトス但五ヶ年經過後ニ於テ甲カ
之ヲ自營セムトスルトキハ甲ノ調定シタル損失補償金額ニ對シテ

以テ本契約書第五條ニ記載シタル最高供給電力ト看做スモノトス
一市又ハ會社ハ本契約ニ違背シタルトキハ仍テ生シタル損害ノ賠償
ヲ各其ノ相手方ニ要求スルコトヲ得

以上

明治四十五年二月二十三日

大阪市長 植村俊平
宇治川電氣株式會社
取締役社長 中橋徳五郎

市立屠場敷地内家畜市場 開設ニ關シ土地賃貸並ニ 報償契約

明治四十五年五月二十一日
市會 議 決

契約書

大阪市長植村俊平(以下單ニ甲ト稱ス)ト大阪市東區森ノ宮西ノ町六
百二番地一村與市(以下單ニ乙ト稱ス)トノ間ニ左ノ契約ヲ締結ス
第一條 甲ハ明治四十五年 月 日ヨリ明治四十五年 月 日
迄滿十ヶ年間市立大阪屠場敷地ノ内七百四坪ヲ常設家畜市場敷地
トシテ乙ニ賃貸使用セシム但期間内ト雖モ甲乙共三ヶ月前ノ預告
ヲ以テ賃貸借契約ヲ解除スルコトヲ得ルモノトス

乙ハ異議ヲ申立テサルコト

第十條 甲ニ於テ第一條但書ニ依リ賃貸借契約ヲ解除シタルトキ並
ニ乙ニ於テ任意ニ營業許可期間内ニ第一條ノ位置ヲ變更シタルト
キハ第四條ノ報償金額ハ更ニ甲乙ノ間ニ於テ協議決定スルモノト
ス協議調ハサルトキハ甲乙各自二人ノ調停委員ヲ選定シ其ノ裁決
ニ從フヘシ若シ調停委員ノ意見一致セザルトキハ該委員ニ於テ投
票ヲ以テ更ニ一人ノ判定者ヲ選舉シ其裁決ニ依リ之ヲ決ス此ノ選
舉ニ於テ過半數ノ投票ヲ得ル者ナキトキハ一票以上ノ投票ヲ得タ
ル者ニ就キ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 本契約ハ乙カ家畜市場開設ノ許可ヲ得サルトキハ其ノ効
力ヲ失フモノトス
右契約ノ成立ヲ證スル爲メ正本二通ヲ調製シ當事者双方各壹通ヲ保
有ス

明治四十五年 月 日

大阪市長 植村俊平
一村與市

對宇治川電氣株式會社電 柱使用ニ關スル契約

明治四十五年六月十一日
市會 議 決

第二十類 報償契約

契約書

大阪市ト宇治川電氣株式會社トノ間ニ左ノ契約ヲ締結ス

第一條 大阪市(以下單ニ市ト稱ス)ハ宇治川電氣株式會社(以下單ニ會社ト稱ス)ヨリ市ノ建設ニ係ル電柱ニ會社ノ電線及開閉器保安器等ノ附屬物ヲ添架スルコトヲ請求セラレタルトキハ其ノ添架ヲ許サ、ル事由アルトキノ外之ヲ承諾スヘシ

第二條 鐵柱及鐵塔ハ本契約ニ所謂電柱ニ包含スルモノトス但シ第三條及第五條ニ規定スル使用料ノ金額ニ關シテハ之ヲ共用スルノ必要ヲ生シタルトキ別ニ協定スルモノトス

第三條 添架ニ對スル電柱使用料ハ一ケ年ニ付左記ノ金額ヲ其ノ電柱ニ架設セル腕木ノ總數ヲ以テ除シ之ニ會社ノ使用セル腕木ノ數ヲ乘シタルモノトス

電柱地上ノ高サ參拾尺迄	金四圓五拾錢
全	金七圓
高サ參拾五尺迄	金拾壹圓
全	金拾六圓
高サ四拾五尺迄	金拾八圓
全	金拾參圓
高サ五拾尺以上	金貳拾參圓

第四條 前條ノ使用料ハ月割計算トシ毎年六月及拾貳月ノ兩度ニ前六ケ月分ヲ會社ヨリ市ニ支拂フヘシ

第五條 會社ニ於テ其ノ電線ヲ添架セル腕木ニ變壓器引込線等ヲ取付クルモ之ヲ爲メ第三條ノ使用料ヲ増額セサルモノトス

第六條 會社ノ電線添架ノ爲メ市ノ電柱(支柱及支線ヲ含ム)ノ建替

第十二條 電線路ノ位置構造等ノ變更ニ依リ會社ノ電線添架ヲ許ササル事由ヲ生シタル爲メ市ノ請求アリタルトキハ會社ハ其ノ電線添架ヲ廢止スヘシ但シ第三者ノ電線添架ノ爲メ變更ヲ要スル場合ハ此ノ限ニアラス

會社ハ任意ニ其ノ電線添架ヲ廢止スルコトヲ得

第十三條 會社ノ電線ヲ添架シタル電柱ヲ市自ラ其ノ經營セル電氣軌道及電力供給用ノ爲メニ添架増加ノ必要ヲ生シタル場合ニ其ノ餘裕ナキトキハ市ノ目的ヲ實施スルニ必要ナル程度ヲ限リトシ市ヨリ期間ヲ定メ其ノ旨ヲ通告シタルトキハ會社ハ自己ノ費用ヲ以テ遲滞ナク自己ノ添架物ヲ撤去スヘシ

前項ノ期間ヲ經過スルモ尙ホ撤去ヲ實行セサルトキハ市ハ自ラ之ヲ撤去シ其ノ費用ヲ會社ニ要求シ得ルモノトス

第十四條 市ニ於テ其ノ建設セル電柱ニ添架シタル腕木數(第三者ノ添架シタル分ヲ含ム)ヲ變更シタルトキハ翌月末日マテニ之ヲ會社ニ通知スヘシ

第十五條 將來會社ニ於テ大阪市内ニ電柱ヲ建設シタル場合市カ之ニ電線及開閉器保安器等ノ附屬物ヲ添架セントスルトキハ會社ハ市ニ對シ前各條(第十三條)ノ例ニ準シ之ヲ承認スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ會社力第三者ト電柱共用ニ關スル契約ヲ締結シ又ハ電柱共用ヲ實施セントスルトキハ豫メ市ニ其ノ事由ヲ遺漏ナク通告シテ承諾ヲ受クヘキモノトス

前項ノ場合ニ於テ會社ハ自己所有ノ電柱ニ關シテモ亦第十三條ノ規定ノ精神ニ基キ他ノ第三者ヨリモ優先ニ市ヲシテ共用セシムヘ

第二十類 報償契約

六七〇

及加工ヲ要スルトキハ會社ニ於テ其ノ工費ヲ負擔シ市ニ於テ其ノ工事ヲ施行スルモノトシ該電柱及加工物ハ市ノ所有ニ歸ス

會社ノ電線添架ノ爲メ市ノ電柱ニ支柱及支線ノ副設ヲ要スルトキハ會社ニ於テ其ノ工費ヲ負擔シ市ニ於テ其ノ工事ヲ施行スルモノトシ該支柱及支線ハ市ノ所有ニ歸ス

第七條 前條ノ場合ニ於テ電柱ノ建替ヲ爲シタルトキハ再建替ヲ爲スニ至ル迄及市カ第三者ノ電線添架ノ爲メ該電柱ヲ再建替シタルトキハ其ノ後建替ヲ爲スニ至ル迄會社ハ其ノ電柱ノ使用料ヲ市ニ支拂ハサルモノトス

第八條 第六條ニ依リ市ニ於テ工事ヲ施行スルトキハ會社ハ之ニ立會スルコトヲ得

第九條 市ノ電柱ニ添架スル會社ノ晝間送電ノ高壓電線ハ電氣工事規程第貳拾條參號ニ適合スルモノタルヲ要ス但シ該電柱ニ架設セル市ノ晝間送電ノ高壓電線中該規定ニ適合セサルモノアルトキハ會社ハ其ト同等以上ノ絶緣力ヲ有スル晝間送電ノ高壓電線ヲ添架スルコトヲ得

第十條 會社ノ添架電線數ハ腕木壹本ニ付左ノ制限ヲ超過スルコトヲ得ス

米貳零番線ニ達セサルモノ 六本
米貳零番線以上 四本

第十一條 市ハ其ノ電柱支柱及支線ニ對シ維持修繕ヲ負擔スヘキモノトス會社ノ腕木、導子、電線及附屬品ノ維持修繕ハ會社ノ負擔トス

キモノトス

第十六條 本契約ハ明治四十五年貳月貳拾參日及同年參月貳拾八日市ト會社トノ間ニ締結セル報償ニ關スル契約カ其ノ効力ヲ喪失スル日マテ効力ヲ有スルモノトス

第十七條 本契約ハ市ニ對シテハ大阪市會ノ同意ヲ得タル上其ノ効力ヲ生スルモノトス

本契約書ハ正本貳通ヲ作成シ當事者各其ノ壹通ヲ保有スルモノトス
明治四十五年四月十三日

大阪市長 植村 俊平
宇治川電氣株式會社
取締役社長 中橋 德五郎

第二十一類 公債

●大阪市水道公債條例

明治廿四年十月三日
大阪市條例第二號

本市會ニ於テ大阪市水道公債條例ヲ議決シ市制第百二十一條ニ依リ
内務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

大阪市水道公債條例

- 第一條 水道公債ハ大阪市水道工事ノ費途ニ充ツル爲メ募集スルモ
ノトス
- 第二條 水道公債ハ百九拾七萬圓ヲ限リ明治二十四年ヨリ同二十六
年ニ至ル三箇年間ニ漸次之ヲ募集スルモノトス
- 第三條 水道公債利子ノ割合ハ一箇年百分ノ六トス
- 第四條 水道公債ニ對シ發行スル證書ハ無記名利付ニシテ千圓五百
圓百圓五拾圓貳拾五圓ノ五種トス
- 第五條 水道公債募集及證書ノ交付元利拂渡金等ノ事務ハ市參事會
ノ選定シタル銀行ニ於テ取扱ハシム
- 第六條 水道公債證書ノ見本ハ大阪市四區役所及取扱所ニ備置クモ
ノトス
- 第七條 水道公債ヲ募集スルトキハ其金額及價格申込ノ期限等ハ當
廳ヨリ豫メ之ヲ告示スヘシ
- 第八條 水道公債ノ應募者ハ當廳ノ指定スル期限内ニ應募ノ金額并
價格ヲ取扱所ヘ申込ムヘシ

第二十一類 公債

第九條 水道公債ノ應募者ハ申込ノトキ當廳ノ指定スル割合ニヨリ
應募額ニ對スル保證金ヲ取扱所ニ拂込ムヘシ取扱所ハ其保證金ニ
對シ領收證書ヲ交付スヘシ

第十條 保證金ノ領收證書ハ各應募者ヨリ他人ニ賣渡又ハ讓渡スコ
トナ得ス

第十一條 水道公債ノ應募者ハ當廳ノ指定セル期限内ニ保證金ヲ控
除シタル跡金ノ拂込ヲナスヘシ

第十二條 保證金ヲ拂込ミ未タ跡金ノ拂込ヲ了セスシテ本人死亡ス
ルトキハ其引受人ニ於テ跡金拂込ノ旨ヲ書面ニ認メ取扱所ニ差出
スヘシ

第十三條 水道公債應募高每期需用ノ額ニ超過スルトキハ當廳ハ應
募價格ノ高キモノヨリ順次證書ヲ交付シ需用額ニ充ツルニ至テ止
ム其價格同キモノハ申込高ノ割合ニ依リ之ヲ減スヘシ

第十四條 水道公債應募金拂込期ノ末日迄ニ拂込未済ノモノアルト
キハ其翌日ヨリ現拂込ノ日マテ一ケ年百分ノ六ノ割合ヲ以テ其日
數ニ應シ利子ヲ徵收ス但拂込期日後三箇月ヲ過キ猶拂込ヲ爲サ、
ルトキハ公債證書ヲ交付セス且既ニ拂込ミタル保證金ハ還付セサ
ルヘシ

第十五條 應募者ニ交付スヘキ公債證書ハ當廳ニ於テ其種類ヲ定メ
各取扱所ヘ送付シ取扱所ハ保證金領收證書及ヒ拂込金ト引換ニ交

第二十一類 公債

付スヘシ

第十六條 保證金領收證書紛失シ又ハ水火災等ニ依リ消滅シタルトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テ其事實ヲ取扱所ニ證明シ更ニ領收證書ヲ請求スルコトヲ得

第十七條 水道公債元金ハ募集中之ヲ据置キ其翌年ヨリ向二十箇年間ニ抽籤法ヲ以テ償還スルモノトス

第十八條 水道公債元金償還金額及抽籤ノ場所期日等ハ當廳ヨリ豫メ之ヲ告示ス但此公債證書額面參萬圓以上ノ所有者ハ抽籤ノ場所ニ參觀スルコトヲ得

第十九條 當籤證書金額種類記號番號等ハ當廳ヨリ其時々之ヲ告示ス

第二十條 水道公債ノ利子ハ毎年六月十二月ノ兩度ニ拂渡スヘシ

第二十一條 水道公債利子ノ計算ハ元金拂込ノ月十五日以前ニアルモノハ下半箇月分ヨリ起算シ十六日以後ニアルモノハ翌月分ヨリ起算ス但元金償還ニ係ルモノハ其當籤又ハ滿期償還告示ノ月迄ヲ計算ス

第二十二條 水道公債ノ元金ハ各取扱所ニ於テ證書又ハ利札引換ニ其持參人ニ支拂フヘシ

第二十三條 水道公債ノ利子ヲ受取ラントスルトキハ其所有者利札ヲ切離シ支拂ノ場所ニ持參スヘシ

第二十四條 水道公債元金ノ支拂ヲ請求セサルモノアルトキハ元金ハ當籤又ハ滿期償還告示ノ月ヨリ滿十五箇年利子ハ支拂ノ期月ヨリ滿十五箇年ヲ過クレハ之ヲ支拂ハサルヘシ但證書ノ紛失汚染及

ノ例ニ依ル

第三十二條 水道公債證書ノ發行及當籤又ハ滿期償還ノトキ拂渡スヘキ利子ノ六ヶ月分ニ充タサルモノ及第二十七條第二十九條ニ依リ拂渡スヘキ元金ハ取扱所ニ於テ領收證書ヲ徴シ其支拂ヲ爲スヘシ

第三十三條 水道公債元金ハ當籤又ハ滿期償還告示ノ日ヨリ三十日以内ニ取扱所ニ於テ支拂フヘシ

第三十四條 第二十七條第二十九條第三十條ノ代證書交付ノ爲メ生スル費用ハ本人ヨリ其手續ヲ爲シタル取扱所ニ辨償セシムヘシ

第三十五條 第二十七條第二十九條乃至第三十一條ニ依リ交付スヘキ代證書利札ハ當廳ヨリ取扱所ニ送付シ取扱所ニ於テハ本人ヨリ領收證書ヲ徴シテ之ヲ交付スヘシ

大阪市水道公債募集及償還方法

明治廿四年十月三日
大阪市告示參第廿九號

本市會ニ於テ水道公債募集及償還方法ヲ議決シ市制第百二十二條ニ依リ内務大臣大藏大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

大阪市水道公債募集及償還方法

第一條 大阪市水道敷設費ニ充ツル爲メ額面百九拾七萬圓ノ大阪市公債ヲ募集スルモノトス

第二條 此ノ公債ハ額面ノ價格以上ヲ以テ募集スヘキモノトス

第二十一類 公債

六七四

毀損等ニ由リ元利ノ支拂ヲ見合セ及訴訟事件ニ由リ請求ヲ爲シ難キ場合ニ於テハ其間ノ日數ヲ算入セス

第二十五條 水道公債證書又ハ利札紛失シタルトキハ取扱所ニ届出ヘシ其發見ノトキモ亦同シ

第二十六條 前條ノ届出アルトキハ取扱所ハ直チニ官報及新聞紙等ヲ以テ之ヲ廣告スヘシ但廣告料ハ届出人ヨリ辨償セシムヘシ

第二十七條 紛失シタル證書ハ其廣告ノ月ヨリ起算シ滿六箇年利札ハ支拂ノ期月ヨリ滿四箇年ヲ經過シ發見セサルトキハ其届出人ニ代證書ヲ交付シ既ニ當籤又ハ滿期ニ係ルモノハ元金ヲ支拂フヘシ但本文ヨリ代證書ヲ交付シタル後紛失證書又ハ利札ヲ持參スルモノアルモノ之レニ對スル元金ハ一切支拂ハサルヘシ

第二十八條 紛失届出ノ證書又ハ利札ヲ取扱所ニ持參セシモノアルトキハ之ヲ預リ置キ其旨ヲ届出人ニ報知シ持參人ト届出人相當ノ手續ヲ經テ所有權ヲ證明スルヲ待チテ其取扱ヲ爲スヘシ

第二十九條 水道公債證書又ハ利札水火災等ニ罹リ消滅シタルトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テ取扱所ヲ經由シ當廳ニ届出ヘシ此場合ニ於テ其消滅ノ證據明確ナリト認ムルトキハ代證書又ハ代利札ヲ交付シ既ニ當籤又ハ滿期ニ係ルモノハ元金ヲ支拂フヘシ但消滅ノ證據明確ナラサルトキハ第二十六條第二十七條ノ例ニ依ル

第三十條 水道公債證書ヲ汚染又ハ毀損シタルトキハ取扱所ヲ經由シ其證書ヲ當廳ニ差出シ代證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第三十一條 前條ノ届出アルトキハ當廳ニ於テ其真正ヲ鑑別シ得ヘキモノニハ代證書ヲ交付シ鑑別シ難キモノハ其取扱總テ紛失證書

第三條 此公債ノ利子ハ額面ノ金額ニ對シ一ケ年百分ノ六ト定メ毎年六月十二月ノ兩度ニ拂渡スヘキモノトス

第四條 此公債ハ明治二十四年ヨリ同二十六年ニ至ル三ケ年間ニ於テ之ヲ數回ニ分チ漸次募集シ總計金百九拾七萬圓ニ滿ツヘキモノトス

第五條 此公債ノ元金ハ募集中間之ヲ据置明治二十七年ヨリ三十八年マテハ國庫ノ補助金及給水料市税金三十九年以後ハ給水料及市税金ノ内ヨリ其年支拂フヘキ利子及經常經費ヲ引去リ其殘金ヲ以テ毎年十二月中之ヲ償還スルモノトス但千圓未滿ノ殘餘金アルトキハ償還金ニ編入セス翌年へ繰越スヘキモノトス

第六條 此公債ノ利子ハ募集ノ時ヨリ明治二十七年六月マテハ工費中ヨリ之ヲ支拂同年七月ヨリ同三十八年マテハ國庫補助金及給水料市税金ノ内ヲ以テ支拂同三十九年以後給水料及市税金ノ内ヨリ支拂フヘキモノトス

第七條 給水料收入ノ目的ハ明治二十七年年度ニ於テ金貳萬七千五百九拾圓同二十八年度ヨリ同三十八年度迄毎年度金拾壹萬參百六拾貳圓以後ハ毎年度金拾貳萬七千五百五拾八圓トス

第八條 市税ヨリ支拂スヘキ金額ノ豫算ハ明治二十五年年度ヨリ同二十六年年度迄毎年度金五萬圓以後毎年度金八萬圓トシ給水料増加スルトキハ此金額ヲ減却スルモノトス

第九條 水道敷設工事ノ費用ハ公債募集金並ニ明治二十四年度ヨリ同二十六年度マテノ國庫補助金及二十五年同二十六年度市税金ヲ以テ之レニ充用スル者トス

水道維持ニ屬スル費用ハ工事着手ノ時ヨリ落成マテハ公債募集金
國庫補助金及市税金ヨリ支拂工事落成後明治二十八年三月迄ハ國
庫補助金給水料市税金ノ内ヨリ四萬圓ヲ支拂二十八年度以後ハ每
年度金六萬圓ヲ支拂ヘキ豫算トス

第十條 此公債ハ明治二十七年ヨリ二十七年間ニ於テ元利金悉皆
償還了リタル上尙貳萬四千九百四拾貳圓ノ殘金ヲ生スヘキ計算
ナリトス

●第二回大阪市水道公債條例

明治卅三年三月卅一日
大阪市條例第一號

本市會ニ於テ第二回大阪市水道公債條例ヲ議決シ市制第二百一十一條
ニ依リ內務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

第二回大阪市水道公債條例

第一條 水道公債ハ大阪市水道擴張ノ費途ニ充ツル爲額面九拾萬圓
ヲ限リ明治三十三年度ヨリ同三十五年度ニ至ル三ヶ年度間ニ漸次
之ヲ募集スルモノトス

第二條 此公債元金ハ募集中之ヲ据置キ其翌年度ヨリ向フ十八ヶ年
度間ニ抽籤法ヲ以テ償還スルモノトス

第三條 本條例ニ規定セザルモノハ總テ明治二十四年十月本市條例
第二號大阪市水道公債條例ヲ適用ス

●大阪市築港公債條例

明治卅三年十一月一日
大阪市條例第二號

本市會ニ於テ築港公債條例ヲ議決シ市制第二百一十一條ニ依リ內務大
臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

大阪市築港公債條例

第一條 築港公債ハ本市築港ノ用途ニ充ツル爲メ募集スルモノトス

第二條 築港公債ハ千七百參萬八千圓ヲ限リ明治三十年ヨリ同三十
七年ニ至ル八ヶ年間ニ漸次之ヲ募集スルモノトス

第三條 築港公債利子ノ割合ハ一ヶ年百分ノ六以下トシ市參事會之
ヲ定ム

第四條 築港公債ニ對シ發行スル證書ハ無記名利札附ニシテ千圓五
百圓百圓ノ三種トス

第五條 築港公債募集及證書ノ交付元利金拂渡等ノ事務ハ市參事會
ノ選定シタル銀行ニ於テ取扱ハシム

第六條 築港公債證書ノ見本ハ大阪市四區役所及取扱所ニ備置クモ
ノトス

第七條 築港公債ヲ募集スルトキハ其金額及價格申込ノ期限等ハ當
廳ヨリ豫メ公告スヘシ

但市參事會ハ時宜ニ依リ本條ノ手續ニ依ラス取扱銀行ヲシテ募
集セシムルコトヲ得

第八條 築港公債ノ應募者ハ當廳ノ指定スル期限内ニ應募ノ金額并
價格申込書ヲ封緘シ取扱所ヲ經テ市參事會ヘ差出スヘシ

第九條 築港公債ノ應募者ハ申込書提出ノトキ當廳ノ指定スル割合

●第二回大阪市水道公債募集
及償還方法

明治卅三年三月卅一日
大阪市告示第二五號

本市會ニ於テ第二回水道公債募集及償還方法ヲ議決シ市制第二百一
十條ニ依リ內務大臣大藏大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

第二回大阪市水道公債募集及償還方法

第一條 大阪市水道擴張費ニ充ツル爲額面九拾萬圓ノ大阪市公債ヲ
募集スルモノトス

第二條 此公債ハ額面百圓ニ對シ價格九拾四圓以上ヲ以テ募集スル
モノトス

第三條 此公債ノ利子ハ額面ノ金額ニ對シ一ヶ年百分ノ六ト定メ給
水料ノ内ヲ以テ毎年六月十二月ノ兩度ニ拂渡スヘキモノトス

第四條 此公債ハ明治三十三年度ヨリ同三十五年度ニ至ル三ヶ年度
間ニ於テ之ヲ數回ニ分チ漸次募集シ總計金九拾萬圓ニ滿ツヘキモ
ノトス

第五條 此公債ノ元金ハ募集年間之ヲ据置キ明治三十六年度ヨリ向
フ十八ヶ年度間ニ於テ給水料ノ内ヲ以テ之ヲ償還スルモノトス

但給水料ニ於テ不足ヲ生スル場合ハ市税金ヨリ之ヲ補充スルモ
ノトス

ニヨリ應募額ニ對スル保證金ヲ取扱所ニ拂込ムヘシ取扱所ハ其保
證金ニ對シ領收證書ヲ交付スヘシ

第十條 保證金ノ領收證書ハ各應募者ヨリ他人ニ賣渡又ハ讓渡スコ
トヲ得ス

第十一條 築港公債ノ應募者ハ當廳ノ指定セル期限内ニ保證金ヲ控
除シタル跡金ノ拂込ヲ爲スヘシ

第十二條 保證金ヲ拂込ミ未タ跡金ノ拂込ヲ了セシテ本人死亡ス
ルトキハ其引受人ニ於テ跡金拂込ノ旨ヲ書面ニ認メ取扱所ニ差出
スヘシ

第十三條 築港公債應募高每期需要ノ額ニ超過スルトキハ當廳ハ應
募價格ノ高キモノヨリ順次證書ヲ交付シ需要額ニ滿ツルニ至テ止
ム其價格同キモノハ申込高ノ割合ニ依リ之ヲ減スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ減額ニ相當スル保證金ヲ還付シ之ニ對シ利子
ハ拂込ノ翌日ヨリ需要額ニ滿チタル當日迄第三條ニ依リ定メタル
割合ヲ以テ其日數ニ應シ利子ヲ支拂フヘシ

第十四條 築港公債應募金拂込期末日迄ニ拂込未済ノモノアルトキ
ハ其翌日ヨリ現拂込ノ日迄第三條ニ依リ定メタル割合ヲ以テ其日
數ニ應シ利子ヲ徵收ス但拂込期日後三ヶ月ヲ過キ尙拂込ヲ爲サ、
ルトキハ公債證書ヲ交付セス且既ニ拂込ミタル保證金ヲ還付セザ
ルヘシ

第十五條 應募者ニ交付スヘキ公債證書ハ當廳ニ於テ其種類ヲ定メ
各取扱所ヘ送付シ取扱所ハ保證金領收證書及ヒ拂込金ト引換ニ交
付スヘシ

第二十一類 公債

六七八

第十六條 保證金領收證書紛失シ又ハ水火災等ニ依リ消滅シタルトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テ其事實ヲ取扱所ニ證明シ更ニ領收證書ヲ請求スルコトヲ得

第十七條 築港公債元金ハ募集中之ヲ据置キ其翌年ヨリ向フ七十七年間ニ抽籤法ヲ以テ償還スルモノトス

第十八條 築港公債元金償還金額及抽籤ノ場所期日等ハ當廳ヨリ豫メ之ヲ告示ス但此公債證書額面參萬圓以上ノ所有者ハ抽籤ノ場所ニ參觀スルコトヲ得

第十九條 當籤證書金額種類記號番號等ハ當廳ヨリ其時々之ヲ告示ス

第二十條 築港公債ノ利子ハ毎年六月十二月ノ兩度ニ拂渡スヘシ

第二十一條 築港公債利子ノ計算ハ元金拂込ノ月十五日以前ニアルトキハ下半年箇月分ヨリ起算シ十六日以後ニアルモノハ翌月分ヨリ起算ス但元金償還ニ係ルモノハ其當籤又ハ滿期償還告示ノ月迄ヲ計算ス

第二十二條 築港公債ノ元利金ハ各取扱所ニ於テ證書又ハ利札引換ニ其持參人ニ支拂フヘシ

第二十三條 築港公債ノ利子ヲ受取ラントスルトキハ其所有者利札ヲ切離シ支拂ノ場所ニ持參スヘシ

第二十四條 築港公債元利金ノ支拂ヲ請求セサルモノアルトキハ元金ハ當籤又ハ滿期償還告示ノ月ヨリ滿十五ケ年利子ハ支拂ノ期月ヨリ滿五ケ年ヲ過クレハ之ヲ支拂ハサルヘシ
但證書ノ紛失汚染及毀損等ニ由リ元利ノ支拂ヲ見合セ及訴訟事

ノ例ニ依ル

第三十二條 築港公債證書ノ發行及當籤又ハ滿期償還ノトキ拂渡スヘキ利子ノ六ケ月分ニ滿タサルモノ及第二十七條第二十九條ニ依リ拂渡スヘキ元利金ハ取扱所ニ於テ領收證書ヲ徴シ其支拂ヲ爲スヘシ

第三十三條 築港公債元金ハ當籤又ハ滿期償還告示ノ日ヨリ三十日以内ニ取扱所ニ於テ支拂フヘシ

第三十四條 第二十七條第二十九條第三十條ノ代證書交付ノ爲メ生スル費用ハ本人ヨリ其手續ヲ爲シタル取扱所ヘ償還セシムヘシ

第三十五條 第二十七條第二十九條乃至第三十一條ニ依リ交付スヘキ代證書利札ハ當廳ヨリ取扱所ニ送付シ取扱所ニ於テハ本人ヨリ領收書ヲ徴シテ之ヲ交付スヘシ

大阪市築港公債募集及償還方法

明治三十年十一月一日
大阪市告示參第二二號

本市會ニ於テ築港公債募集及償還方法ヲ議決シ市制第百二十二條ニ依リ内務大臣大藏大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

大阪市築港公債募集及償還方法

第一條 大阪市築港費ニ充ツル爲メ額面千七百參萬八千圓ノ大阪市
第二十一類 公債

件ニ由リ請求ヲ爲シ難キ場合ニ於テハ其間ノ日數ヲ算入セス
第二十五條 築港公債證書又ハ利札紛失シタルトキハ取扱所ニ届出ヘシ其發見ノ時モ亦同シ

第二十六條 前條ノ届出アルトキハ取扱所ハ直チニ官報及新聞紙等ヲ以テ之ヲ廣告スヘシ但廣告料ハ届出人ヨリ辨償セシムヘシ

第二十七條 紛失シタル證書ハ其廣告ノ月ヨリ起算シ滿六ケ年利札ハ支拂ノ期月ヨリ滿四ケ年ヲ經過シ發見セサルトキハ其届出人ニ代證書ヲ交付シ既ニ當籤又ハ滿期ニ係ルモノハ元利金ヲ支拂フヘシ

但本文ニヨリ代證書ヲ交付シタル後紛失證書又ハ利札ヲ持參スルモノアルモ之ニ對スル元利金ハ一切支拂ハサルヘシ

第二十八條 紛失届出ノ證書又ハ利札ヲ取扱所ニ持參セシモノアルトキハ之ヲ預リ置キ其旨ヲ届出人ニ報知シ持參人ト届出人相當ノ手續ヲ經テ所有權ヲ證明スルヲ待テ其取扱ヲ爲スヘシ

第二十九條 築港公債證書又ハ利札水火災等ニ罹リ消滅シタルトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テ取扱所ヲ經由シ當廳ニ届出ヘシ此場合ニ於テ其消滅ノ證據明確ナリト認ムルトキハ代證書又ハ代利札ヲ交付シ既ニ當籤又ハ滿期ニ係ルモノハ元利金ヲ支拂フヘシ但消滅ノ證據明確ナラサルトキハ第二十六條第二十七條ノ例ニ依ル

第三十條 築港公債證書汚染又ハ毀損シタルトキハ取扱所ヲ經由シ其證書ヲ當廳ニ差出シ代證書ヲ交付ヲ請求スルコトヲ得
第三十一條 前條ノ届出アルトキハ當廳ニ於テ其真正ヲ鑑別シ得ヘキモノニハ代證書ヲ交付シ鑑別シ難キモノハ其取扱總テ紛失證書

公債ヲ募集スルモノトス

第二條 此公債ハ額面ノ價格以上ヲ以テ募集スルモノトス其利子ハ額面ノ金額ニ對シ一ケ年百分ノ六以下トシ市參事會之ヲ定ム
但時宜ニ依リ市參事會ハ額面百圓ニ付九拾圓以上ヲ以テ募集スルコトヲ得

第三條 此公債ノ利子ハ毎年六月十二月ノ兩度ニ拂渡スモノトス

第四條 此公債ハ明治三十年ヨリ同三十七年ニ至ル八ケ年間ニ於テ之ヲ數回ニ分チ漸次募集シ總計金千七百參萬八千圓ニ滿ツヘキモノトス

第五條 此公債ノ元金ハ募集年間之ヲ据置キ明治三十八年ヨリ百十四年迄沿岸地貸渡料棧橋料埋立地賣却代用品賣却代及市税金ノ内ヨリ其年支拂フヘキ利子及維持費ヲ引去リ其殘金ヲ以テ毎年十二月中之ヲ償還スルモノトス
但百圓未滿ノ殘餘金アルトキハ償還金ニ編入セス翌年ヘ繰越スヘキモノトス

第六條 此公債ノ利子ハ明治三十年ヨリ三十七年迄ハ市稅其他ノ收入ヨリ之ヲ支拂翌三十八年以後ハ沿岸地貸渡料棧橋料埋立地賣却代用品賣却代及市税金ノ内ヨリ支拂フヘキモノトス

第七條 埋立地賣却代金收入ノ目的ハ八百四萬五千圓代用品賣却代七拾六萬圓ニシテ沿岸地貸渡料ハ明治三十八年ヨリ四十三年迄ハ年額拾貳萬圓四十四年以降ハ拾八萬圓棧橋料ハ明治三十八年ヨリ四十三年迄年額拾萬圓九千五百圓四十四年以降ハ全拾六萬四千貳百五拾圓トス

六七九

第二十一類 公債

第八條 市税ヨリ支辨スヘキ金額ノ豫算ハ明治三十年度ヨリ全三十二年度迄ニ至ル三ケ年間ハ毎年度金貳拾萬圓全三十三年度ハ金貳拾萬四百八拾圓全三十四年度ハ金貳拾萬八百六拾圓全三十五年度ハ金貳拾萬貳百圓全三十六年度ハ金貳拾萬五百八拾圓全三十七年度ハ金貳拾萬貳百八拾圓全三十八年度以降六十九年度迄ハ毎年度金貳拾萬圓全百十四年度ハ金拾六萬四百參拾八圓トシ埋立地賣却代用品賣却代沿岸地貨渡料及棧橋料ノ實收入増加スルトキハ此金額ヲ減却スルモノトス

●第二回大阪市築港公債條例

明治卅六年七月廿七日
大阪市條例第七號

本市會ニ於テ第二回築港公債條例ヲ議決シ市制第二百一十一條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

第二回大阪市築港公債條例

第一條 第二回大阪市築港公債ハ本市築港ノ費途ニ充ツル爲メ募集スルモノトス
第二條 本公債ハ額面貳百貳拾六萬圓ヲ限リ明治三十六年同三十七年ノ兩年間ニ之ヲ募集スルモノトス
第三條 本公債利子ノ割合ハ額面ノ金額ニ對シ一ケ年百分ノ六トス
第四條 本公債元金ハ明治四十二年迄之ヲ據置キ明治四十三年ヨリ

向フ七十二年間ニ抽籤法ヲ以テ償還スルモノトス
第五條 本條例規定外ノ事項ハ總テ明治三十年十一月本市條例第二號大阪市築港公債條例ヲ準用ス

●第二回大阪市築港公債募集及償還方法

明治卅六年七月廿七日
大阪市告示第四號

第一條 本市築港費ニ充ツル爲メ額面貳百貳拾六萬圓ノ市公債ヲ募集スルモノトス
第二條 本公債ハ額面百圓ニ對シ價格九拾圓以上ヲ以テ募集スルモノトス
第三條 本公債ハ明治三十六年全三十七年ノ兩年間ニ於テ之ヲ數回ニ分チ漸次募集スルモノトス
第四條 本公債利子ノ割合ハ額面ノ金額ニ對シ一ケ年百分ノ六トシ市税金ヲ以テ毎年六月十二月ノ兩度ニ拂渡スモノトス
第五條 本公債ノ元金ハ明治四十二年迄之ヲ據置キ明治四十三年ヨリ向フ七十二年間ニ於テ市税金ノ内ヨリ其年支拂フヘキ利子金ヲ引去リ其殘金ヲ以テ毎年十二月中之ヲ償還スルモノトス
但百圓未滿ノ殘餘金アルトキハ償還金ニ編入セス翌年ニ繰越スヘキモノトス

第六條 市税ヨリ支辨スヘキ金額ノ豫算ハ明治四十三年度ヨリ全六十九年度ニ至ル二十七年間ハ毎年度金拾四萬圓全七十年度ヨリ全百四年度ニ至ル三十五年間ハ毎年度金拾參萬圓全百五年度ヨリ全百十三年年度ニ至ル九十九年間ハ毎年度金拾萬圓全百十四年度ハ金九萬千貳百八拾圓トス

●大阪市新債募集要項

明治三十九年十二月廿四日
市會議決

第一條 本公債ハ別紙第一號記載ノ經費支辨ノ爲メ之ヲ募集ス
第二條 本公債ノ元金ハ券面金額ノ總計參千八百萬圓以內トス但發行價格ハ券面金額ノ百分ノ九十四以上トシ實收總額參千五百七拾貳萬圓以上トス
第三條 本公債ノ利息ハ一ケ年券面金額ノ百分ノ五トス但實際ノ利

(別紙第一號)

各種事業經費年度別明細表

事業別	年度	一築港費	(イ) 浚渫埋立工事費	(ロ) 船渠建造費
	三十九年度	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円
	四十年年度	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円
	四十一年度	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円
	四十二年度	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円
	四十三年度	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円
	四十四年度	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円
	四十五年度	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円
	四十六年度	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円
	四十七年度	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円
	四十八年度	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円
	四十九年度	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円	八〇〇,〇〇〇 円
	計	八,〇〇〇,〇〇〇 円	八,〇〇〇,〇〇〇 円	八,〇〇〇,〇〇〇 円

第二十一類 公債

九四六	三八〇〇〇,〇〇〇	三三〇,〇〇〇	二,三八八,五七〇	五〇,八五三	—	四六六,九六六	二,八〇〇,〇〇〇	二,九〇〇,〇〇〇	五八,一九四〇	—	四二八,一九四〇	三,八〇〇,〇〇〇
一〇四九	三八〇〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	四六,六七八	—	三四八,九六六	六〇〇,〇〇〇	二,九〇〇,〇〇〇	五七,八九二	—	三〇七,八九二	四,〇〇〇,〇〇〇
二五〇	三八〇〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	四六,六七八	一八(〇二)	三五〇,八九三	—	二,九〇〇,〇〇〇	五七,五五六	六三,六八〇	二,五三九,二六	九,六九七,七七
二五一	三八〇〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	四六,六七八	四三,六三九	四一〇,四三三	—	二,九〇〇,〇〇〇	五七,一八二	八九,三七	二,五六一,二九	一,五四三,三四
一三五二	三八〇〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	四六,六七八	六九,四五五	四七〇,三六六	—	二,九〇〇,〇〇〇	五七,七四〇	一五,一三三	二,五八二,六三	二,一一〇,七四三
一四五三	三八〇〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	五二,七五三	九五,四三三	五七一,八一八	—	二,九〇〇,〇〇〇	五八,三三〇	一四七,一八六	二,六二〇,五〇六	三,〇七六,八二
一五五四	三八〇〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	五二,七五三	一三九,八四五	六七四,九五元	—	二,九〇〇,〇〇〇	五九,五五三	一九,五九八	二,六四一,一五〇	四,〇四三,八九
計	五七〇,〇〇〇,〇〇〇	四三三,〇八四,一七六	四,八四一,七〇〇	六四六,二五二	二,九二四,四六二	四八六,六六三	七六,〇〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇,〇〇〇	七〇,四三三,五八〇	六〇六,九〇四	七,三九一,〇四八	七,四七〇,九二九

附記

(一) 通常收入トハ前表(各種財源調)ノ合計ナリ
 (二) 繰越金トハ募集元金ヨリ明治三十九年度以後ノ支出残額ヲ順次繰越シタル者ナリ
 (三) 預金利子ハ年利四分五厘トシ通常收入ノ利子ハ其四ヶ月分ヲ計上シ繰越金ノ利子ハ一ヶ月分ヲ計上セリ(繰越金ノ内事業期間中ハ事業費ヲ控除シ又控除スルヲ得サル年度ニ在ツテハ利子ヲ計上セス)
 (四) 減債基金ハ事業終了ノ翌年ヨリ之ヲ計上シ預金利子ヲ以テ之ニ充ツ

(別紙第四號)

償還期間收支計算表

年次	年度	債額	收			支			合計		
			通常收入	預金收入	合計	元金	利子	費			
一	五五	三六,〇〇〇,〇〇〇	三,四五〇,二五九	六六,〇〇〇	七,七七六,八六六	五,一七〇,〇〇〇	一,九〇〇,〇〇〇	七,七七一,〇〇〇	五四三,四三六	六九,〇〇〇	七,七七一,〇〇〇
二	五六	三三,〇〇〇,〇〇〇	三,三五〇,二五九	六七,〇〇〇	三,四七三,六三四	一,一八〇,〇〇〇	一,六三三,五〇〇	二,二八六,五〇〇	五三三,九七二	六,〇〇〇	三,四一七,二六四
三	五七	三三,〇〇〇,〇〇〇	三,三五〇,二五九	六七,〇〇〇	三,四七三,六三四	一,一八〇,〇〇〇	一,六三三,五〇〇	二,二八六,五〇〇	五三三,九七二	六,〇〇〇	三,四一七,二六四
四	五八	三三,〇〇〇,〇〇〇	三,三五〇,二五九	六七,〇〇〇	三,四七三,六三四	一,一八〇,〇〇〇	一,六三三,五〇〇	二,二八六,五〇〇	五三三,九七二	六,〇〇〇	三,四一七,二六四
五	五九	三三,〇〇〇,〇〇〇	三,三五〇,二五九	六七,〇〇〇	三,四七三,六三四	一,一八〇,〇〇〇	一,六三三,五〇〇	二,二八六,五〇〇	五三三,九七二	六,〇〇〇	三,四一七,二六四
六	六〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	三,三五〇,二五九	六七,〇〇〇	三,四七三,六三四	一,一八〇,〇〇〇	一,六三三,五〇〇	二,二八六,五〇〇	五三三,九七二	六,〇〇〇	三,四一七,二六四
七	六一	三三,〇〇〇,〇〇〇	三,三五〇,二五九	六七,〇〇〇	三,四七三,六三四	一,一八〇,〇〇〇	一,六三三,五〇〇	二,二八六,五〇〇	五三三,九七二	六,〇〇〇	三,四一七,二六四
八	六二	三三,〇〇〇,〇〇〇	三,三五〇,二五九	六七,〇〇〇	三,四七三,六三四	一,一八〇,〇〇〇	一,六三三,五〇〇	二,二八六,五〇〇	五三三,九七二	六,〇〇〇	三,四一七,二六四
九	六三	三三,〇〇〇,〇〇〇	三,三五〇,二五九	六七,〇〇〇	三,四七三,六三四	一,一八〇,〇〇〇	一,六三三,五〇〇	二,二八六,五〇〇	五三三,九七二	六,〇〇〇	三,四一七,二六四
一〇	六四	三三,〇〇〇,〇〇〇	三,三五〇,二五九	六七,〇〇〇	三,四七三,六三四	一,一八〇,〇〇〇	一,六三三,五〇〇	二,二八六,五〇〇	五三三,九七二	六,〇〇〇	三,四一七,二六四
計		三,四五〇,二五九	六六,〇〇〇	七,七七六,八六六	五,一七〇,〇〇〇	一,九〇〇,〇〇〇	七,七七一,〇〇〇	五四三,四三六	六九,〇〇〇	七,七七一,〇〇〇	

年次	年度	減債		利	子	合	計
		越	金				
一	五〇		一				六三、六八〇
二	五一		六三、六八〇		二、五五七		一五五、五四四
三	五二		一五五、五四四		六、二二二		二七六、八八八
四	五三		二七六、八八八		一一、〇七五		四三三、一四九
五	五四		四三三、一四九		一七、〇〇五		六四四、一五二
六	五五		六四四、一五二		二五、七六六		七四四、三〇〇
七	五六		七四四、三〇〇		三九、七七二		八四一、八七四
八	五七		八四一、八七四		四九、六四四		九四三、一五二
九	五八		九四三、一五二		五九、七二二		一、〇四一、一四〇
一〇	五九		一、〇四一、一四〇		六九、八八五		一、一四一、七九二

(別紙第五號)

減債基金蓄積計算表

計	年次	年度	減債		利	子	合	計
			越	金				
一	一	五〇		一				六三、六八〇
二	二	五一		六三、六八〇		二、五五七		一五五、五四四
三	三	五二		一五五、五四四		六、二二二		二七六、八八八
四	四	五三		二七六、八八八		一一、〇七五		四三三、一四九
五	五	五四		四三三、一四九		一七、〇〇五		六四四、一五二
六	六	五五		六四四、一五二		二五、七六六		七四四、三〇〇
七	七	五六		七四四、三〇〇		三九、七七二		八四一、八七四
八	八	五七		八四一、八七四		四九、六四四		九四三、一五二
九	九	五八		九四三、一五二		五九、七二二		一、〇四一、一四〇
一〇	一〇	五九		一、〇四一、一四〇		六九、八八五		一、一四一、七九二

二	六〇	一、八二、七九六	八七、二一八	一、三七、三三八
三	六二	一、三、七、三三八	四七、三二一	一、三、七、三三八
四	六三	一、四、三、九、二五九	五二、六八九	一、四、三、九、二五九
五	六四	一、五、七、三、二二三	五七、五七〇	一、五、七、三、二二三
六	六五	一、七、〇、三、四三五	六三、九二八	一、七、〇、三、四三五
七	六六	一、八、七、四、五九四	六八、一三七	一、八、七、四、五九四
八	六七	二、〇、八、四、四三五	七四、九八三	二、〇、八、四、四三五
九	六八	二、二、〇、五、一、一六	八一、六四八	二、二、〇、五、一、一六
一〇	六九	二、三、六、二、七三五	八八、三三七	二、三、六、二、七三五
一一	七〇	二、五、二、三、七三五	九六、一〇五	二、五、二、三、七三五
一二	七一	二、七、六、六、六六	一〇二、五〇元	二、七、六、六、六六
計	七二	三、〇、八、一、八九八	一〇九、〇五七	三、〇、八、一、八九八
計	七三	三、一、九、四、八七三	一一六、〇五七	三、一、九、四、八七三

(別紙第六號)

契約書

- 第一條 本契約ニ於テハ大阪市ヲ甲ト稱シ株式會社日本興業銀行ヲ乙ト稱ス
- 第二條 甲ハ乙ヨリ金壹千壹百萬圓ヲ借入ルヘシ
- 第三條 本借入金ノ償還期間ハ元金受領ノ日ヨリ滿二ケ年以内トス
- 第四條 本借入金ノ利子ハ左記ノ通トス
- 一、元金受領ノ日ヨリ滿一ケ年間ハ壹百萬圓ニ付日歩壹錢六厘トス
 - 二、前號ノ期間經過後ハ最近發行三ヶ月期限ノ大藏省證券ニ對スル日歩ヨリ壹百圓ニ付壹厘高トス
 - 三、前號ノ大藏省證券ナキトキハ日本銀行ニ於テ國債以外ノ物件ヲ抵當トスル貸付日歩ヨリ壹百圓ニ付參厘安トス
 - 四、前兩號ノ歩合ハ第六條第一項ノ債券發行ノ後ニ於テハ其仕拂期日迄變更セサルモノトス
 - 五、本借入金ノ利子ハ三ヶ月毎ノ前拂トシ債券發行ノ日ヨリ仕拂期日迄之ヲ附ス
- 第五條 甲ハ本借入金ノ全部又ハ一部ヲ預金トスルトキハ之ヲ乙ニ預入ルヘシ乙ハ其預入ヲ拒ムコトヲ得ス
- 前項ノ預金利子ハ壹百圓ニ付當座日歩九厘、定期日歩壹錢參厘トス

第二十一類 公債

- ス但定期ハ六ヶ月ヲ一期トス
- 第六條 甲ハ本借入金額ニ相當スル三ヶ月期限ノ無記名債券ヲ作製シテ之ヲ乙ニ交付スヘシ但債券ノ價格ハ其券面金額ト同一トス
- 第一回ノ債券ハ元金受領ノ日ヲ以テ之ヲ發行シ其以後ノ債券ハ逐次前回ノ債券仕拂期日ニ於テ之ヲ發行スヘシ
- 乙ハ任意ニ本債券ヲ發賣スルコトヲ得
- 乙ハ本債券ノ期限經過ノ後之ヲ甲ニ返還スヘシ但本債券ノ全部又ハ一部ヲ發賣シタルトキハ乙ハ元金償還、利子仕拂及債券回收其他發行ニ伴フ一切ノ手續ヲ完了スヘシ
- 第七條 甲ハ本契約成立ノ日ヨリ滿二ケ年以内ニ手取約參千萬圓ノ外債募集ヲ乙ニ委託スヘシ
- 前項ノ外債ハ實際ノ利廻年五分五厘以内トス
- 乙ハ前二項ニ依リ甲ノ爲外債募集ノ引受ヲナスヘシ
- 第八條 第五條ハ前條ノ資金ニ之ヲ準用ス但預金利率ハ預入ノ際之ヲ協定スヘシ
- 第九條 監督官廳ノ意見其他ノ事由ニ因リ第七條ノ外債成立セサルトキハ其成立ニ至ルマテ相當ノ條件ヲ以テ第三條ノ償還期間ヲ延長スヘシ
- 第十條 第六條ノ債券作製費及發賣廣告料ハ甲ノ負擔トス

第二十一類 公債

乙ハ甲ニ募集手数料其他前項以外ノ費用ヲ請求スルコトナシ
(別紙第七號)

大阪市債券發行規程

- 第一條 大阪市債券ハ本市ノ歲計上一時便宜ノ爲券面金額壹千壹百萬圓ヲ最高限度トシ割引ノ方法ヲ以テ之ヲ發行ス
- 第二條 本債券ニ對シテハ割引ノ外利息ヲ付拂フコトナシ
- 第三條 本債券ノ元金辨濟期限ハ發行ノ當日ヨリ起算シテ三ヶ月トス
- 第四條 本債券ノ元金辨濟請求ノ權利ハ辨濟期限終了ノ當日ヨリ起算シ六ヶ月間之ヲ行使セサルニ由リテ消滅ス
- 第五條 本債券ハ元金拂渡ノ際之ヲ回收ス
- 第六條 本債券ノ紛失又ハ滅失シタル場合ハ當該債券ニ對シテ除權判決アリタルコトヲ立證スルニアラスンハ元金ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得ス
- 前項ニ由リテ元金ヲ受領シタル者ハ除權判決ノ取消アリタル場合ニ本市ノ損失ヲ補償スルコトヲ要ス
- 前二項ハ債券ノ汚損其他ノ故障ニ因リテ其眞偽ヲ鑑定スルヲ得サル場合ニ之ヲ準用ス
- 第七條 本債券ノ元金辨濟其他發行ニ伴フ一切ノ手續ハ株式會社日本興業銀行之ヲ取扱フ
- 第八條 本規程施行ニ關シテ必要ナル事項ハ市參事會之ヲ定ム

●大阪市電氣軌道及水道事業公債條例

明治四十二年五月十五日
大阪市條例第二號

- 第一條 本公債ニ由ル收入ハ電氣軌道及水路事業ノ經費ニ充ツ
- 第二條 本公債ノ元金ハ券面金額ノ總計參千貳拾貳萬圓以下トス
- 第三條 本公債ノ利息ハ一ヶ年ニ付キ券面金額ノ百分ノ五トス但一ヶ年未滿ノ期間ニ對シテハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス
- 本公債ノ利息ハ發行ノ日ヨリ之ヲ附加ス
- 第四條 本條例ノ施行ニ關シテ必要ナル現金ノ受拂及之ニ附帶スル事務ハ銀行其他ノ金融機關ヲシテ之ヲ取扱ハシムルコトヲ得
- 第五條 本公債ノ募集期間ハ明治四十二年十二月末日迄トス
- 第六條 本公債實收ノ價格ハ券面金額ノ百分ノ九十二トス
- 第七條 本公債ハ特ニ指定シタル銀行又ハ其他ノ信託業者ヲシテ其募集ヲ引受ケシムルモノトス
- 第八條 本公債ノ所有者ハ元金及利息ニ關シ市稅、電氣軌道利益金給水料及財産ヨリ生スル收入ノ入金ニ由リ優先シテ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス
- 前項辨濟ニ充ツヘキ毎年ノ金額ハ平均金額貳百六萬四千五百貳拾圓トス
- 第九條 本公債ノ利息ハ毎年二期ニ分チ之ヲ辨濟ス
- 第十條 本公債ノ元金ハ明治四十二年ヨリ向十年間据置キ明治五十二年ヨリ向二十ヶ年以内ニ抽籤ヲ以テ之ヲ辨濟ス但明治五十二年

五月一日以後ハ六ヶ月前ノ豫告ヲ以テ其全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得

第十一條 本公債證書ノ様式ハ無記名利札附トス

償還年次表

年次	年度	債額	收		支		收支差引	
			各種收入金	繰越金	元金	利息		
一	四	10,000,000	1,948,100	—	—	1,511,000	1,511,000	113,100
二	四	10,000,000	1,847,700	—	—	1,511,000	1,511,000	336,700
三	四	10,000,000	1,831,100	—	—	1,511,000	1,511,000	320,100
四	四	10,000,000	1,855,200	—	—	1,511,000	1,511,000	344,200
五	四	10,000,000	1,859,200	—	—	1,511,000	1,511,000	348,200
六	四	10,000,000	1,875,500	—	—	1,511,000	1,511,000	364,500
七	四	10,000,000	1,918,800	—	—	1,511,000	1,511,000	407,800
八	四	10,000,000	1,948,100	—	—	1,511,000	1,511,000	437,100

第十二條 本條例ノ施行ニ關シテ必要ナル事項ハ別ニ市參事會ニ於テ之ヲ定ム

第二十一類公債

財源明細表

年次年度	市	税	財産ヨリ生スル收入	電氣軌道利益金	給水料	計
一	四二	〇〇〇,〇〇〇 円	一,五〇〇,〇〇〇 円	五〇〇,〇〇〇 円	二四〇,一〇〇 円	一,六四〇,一〇〇 円
二	四三	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	八〇〇,〇〇〇	二四九,七〇〇	一,八四九,七〇〇
三	四四	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	二五二,一〇〇	一,八五四,一〇〇
四	四五	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二五九,八〇〇	一,九五九,八〇〇
五	四六	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二七〇,七〇〇	一,九七〇,七〇〇
六	四七	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二七五,〇〇〇	一,九八〇,〇〇〇
七	四八	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二八〇,〇〇〇	一,九八〇,〇〇〇
八	四九	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二八五,〇〇〇	一,九九〇,〇〇〇
九	五〇	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二九〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇
一〇	五一	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二九五,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇

第二十一類公債

一一	五二	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	四八〇,五〇〇	一,九四〇,五〇〇
一二	五三	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	五五五,〇〇〇	二,〇一〇,〇〇〇
一三	五四	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	六二〇,〇〇〇	二,一〇〇,〇〇〇
一四	五五	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	七〇〇,〇〇〇	二,一八〇,〇〇〇
一五	五六	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	七七〇,〇〇〇	二,二五〇,〇〇〇
一六	五七	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	八五〇,〇〇〇	二,三〇〇,〇〇〇
一七	五八	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	九三〇,〇〇〇	二,三六〇,〇〇〇
一八	五九	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇
一九	六〇	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇
二〇	六一	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇
二一	六二	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇
二二	六三	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇
二三	六四	〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇

第二十一類 公債

(第二號) 償還年次表

七〇一

年次年度	債額	收入		支出		收支差引殘額	
		市稅	同上利子	元金	利子		
一	1,768,000	100,000	4,500	104,500	95,000	104,500	60
二	1,618,000	100,000	4,500	104,500	115,000	104,500	74
三	1,501,100	100,000	4,500	104,500	111,000	104,500	14
四	1,381,400	100,000	4,500	104,500	118,500	104,500	23
五	1,251,200	100,000	4,500	104,500	124,500	104,500	30
六	1,117,000	100,000	4,500	104,500	131,000	104,500	34
七	974,000	100,000	4,500	104,500	137,000	104,500	38
八	833,500	100,000	4,500	104,500	143,000	104,500	42
九	694,000	100,000	4,500	104,500	149,000	104,500	46
十	556,000	100,000	4,500	104,500	155,000	104,500	50
合計	13,011,800	2,339,600	49,500	2,389,100	17,632,300	13,011,800	4,620,500

大阪市電氣鐵道公債條例

明治四十四年四月十一日 大阪市條例第二號

本市會ニ於テ大阪市電氣鐵道公債條例制定ノ件ヲ議決シ市制第二百一十一條及第二百二十二條ニ依リ内務大臣兩大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

大阪市電氣鐵道公債條例

第一章 總則

第一條 大阪市電氣鐵道公債ハ本市電氣鐵道敷設ノ經費ニ充ツル爲メ之ヲ發行ス

第二條 本公債ノ元金ハ證券額面金壹千七百萬圓以下トス

第三條 本公債ノ利率ハ一ケ年百分ノ五トス

第四條 本條例ノ施行ニ關スル事項ハ市參事會之ヲ定ム

第二章 募集

第五條 本公債ハ一回又ハ數回ニ之ヲ募集シ明治四十六年三月末日

マテニ之ヲ完了ス

第六條 本公債ノ發行價格ハ證券額面百圓ニ付九拾七圓以上トシ市

第二十一類 公債

七〇二

參事會之ヲ定ム

第七條 本公債ヲ公衆ヨリ募集スルニハ豫メ必要ナル事項ヲ公告スル應募高需用額ヲ超過スルトキハ其ノ價格ノ高キモノヨリ順次之ヲ採リ需用額ニ滿ツルニ至リテ止ム但價格同シキモノハ申込金額ニ比例シテ募入額ヲ決定ス

第八條 本公債ノ募集ハ特ニ指定シタル銀行又ハ相當ノ資格アル者ヲシテ引受ケシムルコトヲ得

第九條 第七條ノ應募申込人ヨリハ申込保證金ヲ徵收ス第八條ノ募集引受人ヨリハ契約保證金ヲ徵收ス但市參事會ニ於テ必要ナシト認メタルトキハ此ノ限ニアラス

前項ノ保證金ノ歩合ハ證券額面ノ百分ノ三以上トス

引受契約ノ保證金ハ有價證券ヲ以テ之ニ充用スルコトヲ得

申込人又ハ引受人ヨリ徵收シタル保證金ハ第一回拂込金ニ之ヲ充ツ但前項ノ有價證券ハ此ノ限ニアラス

保證金ニ對シテハ利子ヲ附セス

第十條 本公債ノ元金拂込ミヲ延滞シタルトキハ拂込期限ノ翌日ヨリ拂込ミノ日マテ百圓ニ付一日金四錢ニ當ル遲延利子ヲ徵收ス

第二十一類 公債

元金拂込ミノ期日後九十日ヲ經過スルモ尙拂込ミヲ爲サ、ルトキハ應募ノ申込又ハ募集ノ引受ヲ無効トシ保證金又ハ既ニ拂込ミタル金額ハ之ヲ返還セス

第三章 償還及支拂

第十一條 本公債ノ元金ハ別表第一號記載ノ收入ヲ以テ之ヲ支拂フ但他ノ收入ヨリ得タル資金ヲ以テ支拂ノコトヲ妨ケス

第十二條 本公債ノ利子ハ毎年六月十五日及十二月十五日ノ二回ニ分チ各其ノ月末日マテノ前六ヶ月分ヲ支拂フ但募集又ハ償還ノ際六ヶ月ニ滿タサル期間ニ對シテハ日割チ以テ利子ヲ計算ス

第十三條 償還ノ期日ヲ定メテ公告シタル公債ノ元金ニハ該期日後利子ヲ附セス

第十四條 本公債ノ元金ハ其ノ償還期日以後滿十ヶ年ヲ利子ハ其ノ支拂期日以後滿五ヶ年ヲ經過シタルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第十五條 本公債ノ元金ハ明治五十四年ヨリ明治八十三年マテニ毎年十二月抽籤ヲ以テ之ヲ償還ス

抽籤ニ依リ償還ヲ決定シタル證券ノ種類、記號、番號及總額ハ之ヲ公告ス

財政上ノ都合ニ依リ三ヶ月以前ニ豫告シテ償還年限ヲ短縮シ又ハ

公債ノ全部若ハ一部ヲ臨時ニ償還スルコトヲ得

第四章 證券

第十六條 本條例ニ依リ發行スル證券ノ様式ハ無記名利札附トシ其ノ種類ハ百圓、五百圓、千圓、五千圓及壹萬圓ノ五種トス

第十七條 本證券又ハ其ノ利札ヲ紛失若クハ滅失シタル者ハ其ノ種類、記號及番號ヲ明示シ新證券又ハ新利札ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但償還又ハ支拂期日ノ確定シタル證券又ハ利札ハ此ノ限ニアラス

前項ニ依リ新證券、新利札ノ交付又ハ現金ノ支拂ヲ請求セントスル者ハ之ニ對スル舊證券、舊利札ヲ提供シタル者アル場合ニハ該新證券、新利札又ハ現金ヲ返還スヘキ旨ヲ約シテ市參事會ノ確實ト認ムル擔保ヲ提供スルコトヲ要ス

第十八條 本證券又ハ利札ヲ毀損シタル者ハ該證券又ハ利札ヲ提供シテ新證券又ハ新利札ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但眞偽ヲ鑑定スルヲ得サル場合ニハ前條ヲ準用ス

第十九條 本證券ノ所有者ハ現存スヘキ利札ノ枚數ニ不足アルモ元金ノ償還ヲ請求スルコトヲ得但不足シタル利札ニ相當スル金額ハ拂渡金額ヨリ之ヲ控除ス

(第一號) 電氣鐵道公債償還財源明細表

年次年度	電氣鐵道利益金	雜收	入	合	計
------	---------	----	---	---	---

一	四四			二四一、六七七	二九一、六六七
二	四五		一九六、六六七		六一六、六六七
三	四六		二四九、八九九		八五〇、〇〇〇
四	四七				八五〇、〇〇〇
五	四八				八五〇、〇〇〇
六	四九				八五〇、〇〇〇
七	五〇				八五〇、〇〇〇
八	五一				八五〇、〇〇〇
九	五二				八五〇、〇〇〇
一〇	五三				八五〇、〇〇〇
一一	五四				九一〇、〇〇〇
一二	五五				九三〇、〇〇〇
					九三〇、〇〇〇

第二十一類 公債

二五	六八	九八〇、〇〇〇		九八〇、〇〇〇
二六	六九	九八〇、〇〇〇		九八〇、〇〇〇
二七	七〇	九八〇、〇〇〇		九八〇、〇〇〇
二八	七一	九八〇、〇〇〇		九八〇、〇〇〇
二九	七二	一、七〇〇、〇〇〇		一、七〇〇、〇〇〇
三〇	七三	一、七〇〇、〇〇〇		一、七〇〇、〇〇〇
三一	七四	一、七〇〇、〇〇〇		一、七〇〇、〇〇〇
三二	七五	一、七〇〇、〇〇〇		一、七〇〇、〇〇〇
三三	七六	一、七〇〇、〇〇〇		一、七〇〇、〇〇〇
三四	七七	一、七〇〇、〇〇〇		一、七〇〇、〇〇〇
三五	七八	一、七〇〇、〇〇〇		一、七〇〇、〇〇〇
三六	七九	一、六〇〇、〇〇〇		一、六〇〇、〇〇〇

一三	五六	九三〇、〇〇〇		九三〇、〇〇〇
一四	五七	九三〇、〇〇〇		九三〇、〇〇〇
一五	五八	九三〇、〇〇〇		九三〇、〇〇〇
一六	五九	九三〇、〇〇〇		九三〇、〇〇〇
一七	六〇	九三〇、〇〇〇		九三〇、〇〇〇
一八	六一	九三〇、〇〇〇		九三〇、〇〇〇
一九	六二	九三〇、〇〇〇		九三〇、〇〇〇
二〇	六三	九三〇、〇〇〇		九三〇、〇〇〇
二一	六四	九三〇、〇〇〇		九三〇、〇〇〇
二二	六五	九三〇、〇〇〇		九三〇、〇〇〇
二三	六六	九三〇、〇〇〇		九三〇、〇〇〇
二四	六七	九八〇、〇〇〇		九八〇、〇〇〇

三七	八〇	一、六〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇
三八	八一	一、六〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇
三九	八二	一、五〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
四〇	八三	一、二九九、九〇〇	一、二九九、九〇〇
合計		四三、四九〇、〇〇一	四四、一七八、二三四

●大阪府整理公債條例

明治四十四年十月十八日
大阪府條例第三號

本市會ニ於テ大阪府整理公債條例制定ノ件ヲ議決シ市制第二百二十一條及第百二十二條ニ依リ本年八月三十日內務大臣兩大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

大阪府整理公債條例

第一章 總 則

第一條 本公債ニ由ル收入ハ明治卅八年度及同卅九年度築港費并ニ第五回內國勸業博覽會ノ附帶事業ニ充當シタル公債償還ノ經費ニ充ツ

第二條 本公債ノ元金ハ券面金額ノ總計貳百拾五萬八千圓以下トス

第三條 本公債ノ利息ハ一ケ年ニ付券面金額ノ百分ノ五トス但一ケ年未滿ノ期間ニ對シテハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス

第四條 本條例ノ施行ニ關シテ必要ナル事項ハ市參事會之ヲ定ム

第二章 募 集

第五條 本公債募集期間ハ明治四十五年三月末日迄トス

第六條 本公債發行ノ價格ハ券面金額百分ノ九十五以上トシ市參事會之ヲ定ム

第七條 本公債募集ノ方法ハ直接募集及間接募集ノ二種トス但一方ノミヲ適用スルコトヲ妨ケス

第八條 直接募集ノ方法ニ由ルトキハ其旨ヲ公告シテ應募ノ競争者ヲ求メ申込價格ノ高低ニ由リテ應募者ヲ選定ス但其價格同等ニシテ應募者ヲ選定スルヲ得サル場合ハ其申込金額ニ比例シテ應募金額ヲ低減ス

第九條 間接募集ノ方法ニ由ルトキハ特ニ指定シタル銀行又ハ其他ノ信託業者ヲシテ募集ヲ引受ケシムルモノトス

第十條 第八條ノ競争者ハ應募申込ノ際申込保證金ヲ仕拂フコトヲ要ス但市要ス

前條ノ引受人ハ契約成立ノ際契約保證金ヲ仕拂フコトヲ要ス但市參事會ニ於テ必要ナシト認メタルトキハ此限ニアラス

保證金ノ歩合ハ券面金額ノ百分ノ一以上トシ募集ノ際豫メ之ヲ一定ス但契約保證金ハ千分ノ五迄之ヲ減額スルコトヲ得

契約保證金ハ有價證券ヲ以テ之ニ充用スルコトヲ得但其種類及價格ハ市參事會之ヲ定ム

應募者又ハ引受人ノ仕拂ヒタル保證金ハ元金拂込ノ際之ヲ元金ニ編入ス但前項ノ有價證券ハ元金拂込ノ際之ヲ返還ス

前項以外ノ保證金ハ應募者又ハ引受人確定ノ後請求ニ應シテ之ヲ返還ス

保證金ニ對シテハ利息ヲ附加スルコトナシ

第十一條 本公債ノ元金拂込ヲ怠リタル者ハ券面金額百圓ニ付一日金四錢ノ遅延利息ヲ仕拂フコトヲ要ス

應募者又ハ引受人ニ屬スル一切ノ權利ハ前項ノ遅延九十日ニ達シタルニ由リテ消滅ス

前項ハ引受人ノ債務ニ關シテ強制履行ヲ請求スル場合ハ之ヲ適用セズ

第三章 辨 濟

第十二條 本公債ノ元金及利息ハ別表第二號記載ノ收入ニ由リテ之ヲ辨濟ス但他ノ收入ヲ以テ辨濟スルコトヲ妨ケス

第十三條 本公債ノ利息ハ毎年三月及九月ノ二期ニ分チ之ヲ辨濟ス

第十四條 本公債ノ利息ハ第十七條ニ由リテ當籤又ハ辨濟ノ旨ヲ公

第二十一類 公債

告示タル公債ノ元金ニ對シテハ辨濟ノ期月終了以後之ニ附加スルコトナシ

第十五條 本公債ノ利息辨濟請求ノ權利ハ辨濟期月終了以後滿五ケ年間之ヲ行使セサルニ由リテ消滅ス

第十六條 本公債ノ元金ハ明治五十二年四月一日ヨリ明治七十一年三月末日迄ニ抽籤又ハ其他ノ方法ヲ以テ之ヲ辨濟ス但抽籤ノ方法ニ由ル場合ハ毎年三月トス

財政上ノ都合ニ依リ三ケ月以前ニ豫告シテ償還年限ヲ短縮シ又ハ公債ノ全部若クハ一部ヲ臨時ニ償還スルコトヲ得

第十七條 前條ノ抽籤又ハ其他ノ方法ニ由リタル結果ハ當該證書ノ種類、記號及番號ヲ附記シテ之ヲ公告ス

本公債未済金額ノ全部ヲ一時ニ辨濟セムトスルトキハ六ケ月以前ニ辨濟ノ期月ヲ附記シテ其旨ヲ公告ス

第十八條 本公債ノ元金辨濟請求ノ權利ハ辨濟期月以後滿十ケ年間之ヲ行使セサルニ由リテ消滅ス

第四章 證 書

第十九條 本公債證書ノ様式ハ無記名利札附トス

第二十條 本公債ノ所有者ハ當該證書又ハ其利札ノ紛失若クハ滅失ノ場合ニ其種類、記號及番號ヲ附記シテ新證書又ハ新利札ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但辨濟期月ノ確定シタル證書ハ此限ニアラス

前項ニ由リテ交付又ハ辨濟ヲ請求セントスル者ハ其舊證書又ハ舊利札ヲ提示シタル者アル場合ニ其金額ヲ辨償スヘキ旨ヲ約シテ擔保ヲ提供スルコトヲ要ス但市參事會ノ確實ト認メタル保證人ヲ立

七〇九

第二十一類 公債

七二〇

テ擔保ノ提供ニ代フルコトヲ得
前項ノ擔保ヲ提供シタル者債務ノ履行ヲ爲サ、ルトキハ擔保ヲ以
テ其債務ニ充テ過剩アルトキハ之ヲ還付ス
第二十一條 本公債ノ所有者ハ當該證書又ハ利札ノ汚損其他正當ノ
事由アル場合ニ其種類、記號及番號ヲ附記シテ交換ヲ請求スルコ
トヲ得但眞偽ヲ鑑定スルヲ得サル場合ハ前條ヲ準用ス

前條第一項但書及第二項ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第二十二條 本公債ノ所有者ハ現存スヘキ利札ノ枚數ニ不足アリト
モ元金ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得但不足ノ利札ニ相當スル金額ハ
拂渡金額ヨリ之ヲ控除ス
前項利札ノ所有者ハ其利札ヲ提供シテ控除金額ノ辨濟ヲ請求スル
コトヲ得

償還年次表

年次年度	債額	收		入		支		出		收支差引額
		各種收入	繰越金	計	事業費	元金	利子	計		
一	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	七,一〇〇
二	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	一四,五五五
三	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	利 七,一〇〇 三五五	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	三,三〇〇
四	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	一四,五五五 七七八	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	三〇,〇〇〇
五	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	三九,三三三 一,九〇〇	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	四八,二九四
六	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	四八,二九四 二,四四五	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	五七,〇〇〇
七	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
八	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
九	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
一〇	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
一一	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
一二	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
一三	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
一四	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
一五	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
一六	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
一七	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
一八	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—
一九	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—	—	二,一五〇,〇〇〇	—	—

第二十一類 公債

七二一

八	四九	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	五七,八〇九 二,八〇九	一,七五,六九九	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	六七,七九
九	五〇	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	六七,七九九 三,三九〇	一,八六,一八九	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	七八,二八九
一〇	五一	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	七八,二八九 三,九二四	一九七,一〇三	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	八九,〇〇三
一一	五二	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	八九,三〇三 四,四六五	二〇八,七六八	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	八九,〇〇三
一二	五三	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	八六,八	一九〇,八六八	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	九六,八
一三	五四	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	九六,八	一九〇,九六八	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	四一八
一四	五五	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	四一八	一九〇,四一八	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	四一八
一五	五六	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	四一八	一九〇,四一八	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	二一八
一六	五七	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	一八	一九〇,一一八	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	七一八
一七	五八	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	七八	一九〇,七一八	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	三六八
一八	五九	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	三六	一九〇,五三六	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	三二八
一九	〇〇	二,一五八,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	三八	一九〇,三三八	—	—	一〇九,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	七六八

第二十一類公債

年次	年度	市	稅	土地賣却代	計
二〇	六二	一、四七、七〇〇	七六八	一七〇、七六八	一、六四、八五〇
二〇	六二	一、三二八、〇〇〇	九二八	一七〇、九二八	一、五〇、九〇〇
二〇	六三	一、二二三、〇〇〇	一八	一七〇、〇一八	一、三九、六〇〇
二〇	六三	一、一〇三、〇〇〇	三六	一七〇、三六	一、二七、三〇〇
二〇	六四	九六九、〇〇〇	一六	一七〇、一六	一、一三、九一六
二〇	六五	八六九、〇〇〇	七六	一七〇、七六	一、〇三、九三六
二〇	六六	七五二、〇〇〇	二六	一七〇、二六	九八二、〇〇〇
二〇	六七	六〇九、〇〇〇	一六	一七〇、一六	七三九、〇〇〇
二〇	六八	四七〇、〇〇〇	七六	一七〇、七六	六四〇、〇〇〇
二〇	六九	三三三、〇〇〇	二六	一七〇、二六	五〇三、〇〇〇
二〇	七〇	二〇〇、〇〇〇	二六	一七〇、二六	三三〇、〇〇〇
二〇	七一	六七、〇〇〇	六	一七〇、六	一三三、〇〇〇
合計		一七、四三三、〇〇〇	二、五三三、七三六	二、〇四〇、〇〇〇	一九、〇〇六、七三六

財源明細表

年次	年度	市	稅	土地賣却代	計
一	四二		一	一一五、〇〇〇	一一五、〇〇〇
二	四三		一一五、〇〇〇		一一五、〇〇〇
三	四四		一一五、〇〇〇		一一五、〇〇〇
四	四五		一一五、〇〇〇		一一五、〇〇〇
五	四六		一一五、〇〇〇		一一五、〇〇〇
六	四七		一一五、〇〇〇		一一五、〇〇〇
七	四八		一一五、〇〇〇		一一五、〇〇〇
八	四九		一一五、〇〇〇		一一五、〇〇〇
九	五〇		一一五、〇〇〇		一一五、〇〇〇
一〇	五一		一一五、〇〇〇		一一五、〇〇〇

第二十一類公債

一一	五二	一七〇,〇〇〇		一一五,〇〇〇
一二	五三	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
一三	五四	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
一四	五五	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
一五	五六	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
一六	五七	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
一七	五八	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
一八	五九	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
一九	六〇	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二〇	六一	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二一	六二	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二二	六三	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇

二三	六四	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二四	六五	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二五	六六	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二六	六七	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二七	六八	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二八	六九	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二九	七〇	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
三〇	七一	一七七,三八二		一七七,三八二
合計		四,三八七,三八二	一一五,〇〇〇	四,五〇二,三八二

●大阪市下水道公債條例

明治四十五年四月三十日
大阪市條例第二號

本市會ニ於テ大阪市下水道公債條例制定ノ件ヲ議決シ市制第六十五條及第六十六條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通り相

第二十一類 公債

定ム

大阪市下水道公債條例

第一條 大阪市下水道公債ハ本市下水道改良ノ經費ニ充ツル爲之ヲ發行ス

第二條 本公債ノ元金ハ證券額面金參百九萬圓以下トス

七一五

第二十一類 公債

第三條 本公債ノ利率ハ一箇年百分ノ五トス
 第四條 本公債ハ本條例公布ノ日ヨリ明治五十四年三月末日マテノ間ニ於テ之ヲ募集ス
 第五條 本公債ノ發行價格ハ額面百圓ニ付金九拾七圓以上トス
 第六條 本公債ノ元利金ハ別表第一號記載ノ收入ヲ以テ之ヲ支拂フ但シ他ノ收入ヨリ得タル資金ヲ以テ支拂フコトヲ妨ケス
 第七條 本公債ノ利子ハ毎年六月十五日及十二月十五日ノ二回ニ分チ各其ノ月末日マテノ前六箇月分ヲ支拂フ但シ募集又ハ償還ノ際六箇月ニ滿タサル期間ニ對シテハ日割ヲ以テ利子ヲ計算ス

(第一號) 下水道公債償還財源明細表

年次年度	電氣軌道利益金	雜收	入	合	計
一	八〇,〇〇〇				八〇,〇〇〇
二	八〇,〇〇〇				八〇,〇〇〇
三	八〇,〇〇〇				八〇,〇〇〇
四	八〇,〇〇〇				八〇,〇〇〇
五	八〇,〇〇〇				八〇,〇〇〇

第八條 本公債ノ元金ハ明治五十四年度ヨリ明治八十三年度マテニ抽籤ヲ以テ之ヲ償還ス
 第九條 本條例ニ依リ發行スル證券ノ様式ハ無記名利札附トシ其ノ種類ハ百圓、五百圓及千圓ノ三種トス
 第十條 本公債ニ關シ本條例ニ規定ナキ事項ニ付テハ大阪市電氣鐵道公債條例中第十四條ヲ除キ之ヲ適用ス

第二十一類 公債

六	四九	八〇,〇〇〇			八〇,〇〇〇
七	五〇	八〇,〇〇〇			八〇,〇〇〇
八	五一	八〇,〇〇〇			八〇,〇〇〇
九	五二	八〇,〇〇〇			八〇,〇〇〇
一〇	五三	八〇,〇〇〇	二九,五〇〇		一〇九,五〇〇
一一	五四	一七〇,〇〇〇			一七〇,〇〇〇
一二	五五	一七〇,〇〇〇			一七〇,〇〇〇
一三	五六	一七〇,〇〇〇			一七〇,〇〇〇
一四	五七	一七〇,〇〇〇			一七〇,〇〇〇
一五	五八	一七〇,〇〇〇			一七〇,〇〇〇
一六	五九	一七〇,〇〇〇			一七〇,〇〇〇
一七	六〇	一七〇,〇〇〇			一七〇,〇〇〇

一八	六一	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
一九	六二	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二〇	六三	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二一	六四	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二二	六五	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二三	六六	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二四	六七	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二五	六八	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二六	六九	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二七	七〇	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二八	七一	一七〇,〇〇〇		一七〇,〇〇〇
二九	七二	三〇〇,〇〇〇		三〇〇,〇〇〇

三〇	七三	三〇〇,〇〇〇		三〇〇,〇〇〇
三一	七四	三〇〇,〇〇〇		三〇〇,〇〇〇
三二	七五	三〇〇,〇〇〇		三〇〇,〇〇〇
三三	七六	三〇〇,〇〇〇		三〇〇,〇〇〇
三四	七七	三〇〇,〇〇〇		三〇〇,〇〇〇
三五	七八	三〇〇,〇〇〇		三〇〇,〇〇〇
三六	七九	三〇〇,〇〇〇		三〇〇,〇〇〇
三七	八〇	三〇〇,〇〇〇		三〇〇,〇〇〇
三八	八一	三〇〇,〇〇〇		三〇〇,〇〇〇
三九	八二	三〇〇,〇〇〇		三〇〇,〇〇〇
四〇	八三	三二四,四五〇		三二四,四五〇
合計	八三	七,四八四,四五〇	二九,五〇〇	七,五一三,九五〇

第二十一類 公債

七二〇

(第二號) 下水道公債償還年次表

年次	年度	債額	收		入		支		出		收支差引殘額
			電氣利益金	續減及雜收入	計	元	金	利	子	計	
一	四	三,000,000	八〇,000	—	八〇,000	—	—	三,000	—	三,000	六七,000
二	五	三,100,000 (五,000,000)	八〇,000	六七,000	一四七,000	—	—	二六,500	—	二六,500	一一八,500
三	六	三,100,000 (八,000,000)	八〇,000	一一八,500	一九八,500	—	—	四四,000	—	四四,000	一五四,500
四	七	三,100,000 (一,100,000)	八〇,000	一五五,500	二三五,500	—	—	五九,500	—	五九,500	一七五,000
五	八	三,100,000 (一,500,000)	八〇,000	一七二,000	二五二,000	—	—	七五,000	—	七五,000	一八〇,000
六	九	三,100,000 (一,八,100,000)	八〇,000	一八〇,000	二六〇,000	—	—	九〇,500	—	九〇,500	一六九,500
七	〇	三,100,000 (二,100,000)	八〇,000	一六九,500	二四九,500	—	—	一〇六,000	—	一〇六,000	一四三,500
八	一	三,100,000 (一,100,000)	八〇,000	一四四,500	二三四,500	—	—	一一,500	—	一一,500	一〇二,000
九	二	三,100,000 (一,500,000)	八〇,000	一〇二,000	一八二,000	—	—	一四,000	—	一四,000	一四八,000
一〇	三	三,100,000 (三,000,000)	八〇,000	七四,500	一五四,500	—	—	一五,500	—	一五,500	—

第二十一類 公債

七二一

一	五	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一五,000	—	一五,000	—	一五,000	一〇〇
二	六	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
三	七	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
四	八	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
五	九	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
六	〇	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
七	一	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
八	二	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
九	三	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
一〇	四	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
一一	五	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
一二	六	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
一三	七	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
一四	八	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
一五	九	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
一六	〇	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
一七	一	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
一八	二	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
一九	三	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
二〇	四	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
二一	五	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
二二	六	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇
二三	七	三,000,000	一四〇,000	—	一四〇,000	一六,000	—	一六,000	—	一六,000	一五〇

掌ニ屬スルモノハ區長ニ於テ之ヲ還付シ其年度收入金納完後ハ市參事會ニ請求スヘシ

前項區長ノ分掌ニ屬セサルモノハ市參事會ノ命令ニ依リ府廳第四課長ニ於テ之ヲ還付スヘシ

第十五條 歳出ノ區長分掌ニ屬スルモノハ區長ニ於テ其他ハ市參事會ノ命令ニ依リ府廳第四課長ニ於テ支拂切符ヲ以テ受取人ニ交付シ其現金ハ市税金取扱人ヲシテ仕拂ハシムヘシ

第十六條 區長ノ分掌ニ屬スル支出ハ毎年豫算決定ノ後區長ニ於テ其月額ヲ豫定シ市參事會ニ請求スヘシ

第十七條 支出金ヲ他ヘ送達セントスルトキハ府廳第四課長又ハ區長ハ仕拂切符ヲ市税金取扱人ニ發シ送金手形ト交換セシムヘシ

第十八條 歳出ノ誤拂又ハ過渡ヲ發見シタルトキハ市參事會又ハ區長ニ於テ返納告知書ヲ發スヘシ但市參事會ニ於テ告知書ヲ發シタルトキハ之ト同時ニ府廳第四課長ヘ戻入ノ命令ヲ發スヘシ

第十九條 區長ニ於テ毎月收入又ハ支出シタル金員ハ精算書ヲ製シ翌月五日迄ニ毎年度收入又ハ支出シタル金員ハ決算表ヲ製シ翌年度五月三十日迄ニ府廳第四課長ニ送付スヘシ但支出ノ決算表ハ領收證書ヲ添附スヘシ

府廳第四課長ハ其分掌ニ屬スル收入支出ト前項區長ヨリ送付シタル決算金額ヲ合シ總決算表ヲ製シ證書類取纏メ六月三十日迄ニ市參事會ニ提出スヘシ

第二十條 此規則ニ掲クル賦課令狀返納告知書請求書命令書仕拂切符精算書決算表等ノ様式ハ市參事會ニ於テ定ムヘシ

歳入出々納順序

明治二十二年十月一日 大阪府訓令第七號

區 役 所

(沿革) 三五年三月廳達第七號、三七年一月廳達第一號、三九年三月訓令第一〇號改正

大阪府歳入出々納順序

第一條 府廳第四課長又ハ區長ハ毎年度歳入歳出豫算表ニ依リ之ヲ簿冊ニ掲記シ其收入支出ハ命令書又ハ憑書ニ依リ記簿計算スルモノトス

第二條 市參事會又ハ區長ハ規則第九條ニ依リ歳入ヲ徵收スルトキハ其納期アルモノト納期ナキモノトヲ區分シ其納期ナキモノハ隨時之レカ收入ノ命令書若クハ收入ヲ爲シ其納期アルモノハ毎納期前十五日ヲ限リ第一號様式ノ賦課令狀ヲ發シ納人ヲシテ之ニ現金ヲ添ヘ市税金取扱人ニ納付セシムルモノトス

但新規開業又ハ月稅上リ高稅屠畜稅等ハ其時々之ヲ發ス市參事會ニ於テ前項ノ令狀ヲ發シタルトキハ之ト同時ニ府廳第四課長ニ其收入ノ命令ヲ發スモノトス

第三條 賦課令狀若クハ告知書ヲ發セスシテ收入スヘキ歳入ハ市參事會ニ於テ隨時之カ明細書ヲ製シ府廳第四課長又ハ區長ニ收入ノ命令ヲ發スモノトス

第十條 區長ハ規則第十九條ニ依リ毎月收入シタル金員ヲ第八號様式ノ精算書毎年度收入シタル金員ハ明治二十二年內務省令第二號豫算表ノ様式ニ準シ決算表ヲ送付スルモノトス

第十一條 區長ハ規則第十六條ニ依リ第九號様式ノ請求書ヲ前月二十五日迄ニ市參事會ニ送達スルモノトス

第十二條 規則第十五條ニ依リ市參事會ニ於テ支出ナストキハ第十號様式ノ命令書ヲ發シ府廳第四課長ヲシテ第十二號様式ノ仕拂切符ヲ發セシムルモノトス

區長ニ於テ支出ナストキ第十一號様式ノ憑書ヲ製シ之ニ第十二號様式ノ仕拂切符ヲ發スモノトス

第十三條 前條仕拂切符ハ其元帳及案内書ニ科目番號年月日金員所屬年度受取人姓名事由等式ノ如ク記載シ接續ノ所ニ割印シ仕拂切符及案内書ニ記名捺印ノ上之ヲ截斷シ案内書ハ市税金取扱人ニ送付シ仕拂切符ハ受取人ニ交付シ其領收證書ヲ徵スルモノトス

第十四條 府廳第四課長又ハ區長ニ於テ毎日支出シタル金額ハ金錢受取帳ニ記載シ市税金取扱人ノ金錢上納帳ト割印シテ之ヲ交換スルモノトス

第十五條 府廳第四課長又ハ區長ハ市税金取扱人ヨリ仕拂ノ切符ノ様式ニ違ヒ又ハ案内書ト符合セサル通知ヲ受ケタルトキハ相當ノ處分ヲナスモノトス

第十六條 受取人仕拂切符ヲ亡失シタルトキ府廳第四課長又ハ區長ニ於テ其番號年月日金額事由及其場所日時ヲ明記シタル書面ヲ徵シ即時市税金取扱人ニ通知シ其仕拂ヲ止メ其仕拂期限經過後更ニ

前項ニ依リ收入シタル現金ハ府廳第四課長又ハ區長ニ於テ市税金取扱人ニ領收セシメ其預リ證書ヲ徵シ別ニ領收證書ヲ納人ニ交付スルモノトス

第四條 府廳第四課長又ハ區長ハ收入金ニ對シ市税金取扱人ヨリ賦課令狀ノ乙切符又ハ返納證書納付證書及預リ證書ヲ領收シタルトキハ第二號様式ノ收入憑書ニ依リ之ヲ收入シ毎日其合計金額ヲ金錢預ケ帳ニ登記シ市現金取扱人ノ金錢預リ帳ト割印シテ之ヲ交換スルモノトス

第五條 區長ハ規則第十條ニ依リ領收シタル收入金ヲ納付スルトキハ第三號様式ノ仕譯書ヲ添附スルモノトス

第六條 府廳第四課長ハ定期及隨時收入金ノ納付ヲ受クルトキハ第二號様式ノ收入憑書ニ依リ之ヲ收入シ納人ニ對シ其領收證書ヲ發シ第四條末段ノ手續ヲ爲スモノトス

第七條 區長ニ於テ規則第十二條ニ依リ公賣處分ヲシテ收入金ヲ徵收シタルトキハ第四號様式ノ納付書ニ現金ヲ添ヘ市税金取扱人ニ送付シ別ニ領收證書ヲ納人ニ交付シ市參事會ニ於テハ其時々區長ニ於テハ毎月末第五號様式ニ依リ府廳第四課長ニ通知スルモノトス

第八條 區長ハ規則第十四條ニ依リ完納金ノ下戻ヲ要スルトキハ第六號様式ニ依リ市參事會ニ請求スルモノトス

市參事會ハ前項ノ請求ニ依リ命令書ヲ發シ府廳第四課長ヲシテ之ヲ還付セシムルモノトス

第二十二類 會計

交付ノ請求ヲ爲サシムルモノトス

前項亡失ニ係ル仕拂切符ヲ以テ現金ノ交換ヲ請フモノアルトキハ市税金取扱人ハ直ニ府廳第四課長又ハ區長ニ通報スルモノトス

第十七條 仕拂切符ノ期限ヲ經過シタルモノアルトキハ府廳第四課長又ハ區長ハ理由書ヲ徵シ其期限ヲ訂正交付スルモノトス其場合ニ於テハ切符元帳及案内書ヲモ訂正シ其案内書ハ市税金取扱人ニ送付スルモノトス

第十八條 區長ハ規則第十九條ニ依リ毎月支出シタル金員ハ第十三號様式ノ精算書毎年度支出シタル金員ハ明治二十二年內務省令第二號豫算表ノ様式ニ準シ決算表ヲ送付スルモノトス但決算表ニ添附スル領收證書ハ各科目ニ區分編製スルモノトス

第十九條 區長ハ毎年度經費ノ決算ヲナシ剩餘アルトキハ第十五號様式ニ依リ返納スルモノトス

第二十條 規則第十八條ニ依リ歳出金ノ返納ヲ要スルトキハ第十六號様式ノ返納元帳及返納告知書并ニ正副返納書支出科目事由等ヲ記入シ元帳ト告知書ト接續ノ處ニ割印截斷シ返納人ニ交付シ現金ヲ添ヘ市税金取扱人ニ納付セシムルモノトス

前項納付ノ後市税金取扱人ヨリ返納證書ヲ送付シタルトキ府廳第四課長又ハ區長ハ第二號様式ノ收入憑書ニ依リ之ヲ收入スルモノトス

第一號 (賦課令狀書式)

用紙適宜 縦四寸五分 横三寸二分 別符二寸五分 三枚接續

第 號		第 號	
區		區	
役所印		役所印	
領收	證書	右領收候也	明治 年 月 日
一 金	一 金		
第 號	第 號		
番屋納敷	番屋納敷		
明治 年度 何々	明治 年度 何々		
銀行領收印	大阪市收入役又ハ區長領收印		
大阪市收入役又ハ區長			

第二十二類 會計

表ハ明治二十二年內務省令第二號豫算表ノ様式ニ準スルモノトス

第二十二條 市税金取扱人ハ納人ヨリ賦課令狀又ハ告知書納付書ニ現金ヲ添ヘ納付シタルトキハ第一號第十六號第四號様式ノ如ク記入捺印シ截斷ノ上納人ニ返付スルモノトス

第二十三條 市税金取扱人ニ於テ收入金ヲ領收シタルトキハ毎日其乙切符返納證書又ハ納付證書ヲ一括シ合計箋(金高及枚數)ヲ付シ府廳第四課長又ハ區長ヨリ領收シタル金券アルトキハ之ト合算シ其合計金額ヲ金錢預リ帳ニ登記シ乙切符返納證書ト共ニ府廳第四課長又ハ區長ニ差出シ金錢預リ帳ト割印ヲ受ケ之ト交換スルモノトス

第二十四條 市税金取扱人ハ受取人ニ現金ノ仕拂ヲ爲シタルトキハ其仕拂切符及案内書ノ表面ニ仕拂濟ノ印ヲ捺シ仕拂切符ニ合計箋(金高及枚數)ヲ付シ即日其合計金額ヲ金錢上納帳ニ記載シ之ト共ニ府廳第四課長又ハ區長ニ差出シ金錢受取帳ト割印ヲ受ケ之ト交換スルモノトス

第二十五條 市税金取扱人ハ仕拂切符ノ期限ヲ經過シタル案内書ハ翌日之ヲ府廳第四課長又ハ區長ヘ返付スルモノトス

第二十六條 市税金取扱人ハ支拂切符亡失ノ爲メ仕拂ノ停止ヲ受ケタルトキハ其期日ノ經過スルヲ待テ案内書ヲ返付シ若シ期限中現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ直ニ府廳第四課長又ハ區長ニ通報スルモノトス

第二十二類 會計

一金 何 圓 ○ 現金取扱人印

何年何月何日領收
右納付候也

明治何年何月何日

(第五號様式ノ二)

明治	年	月	日	決	
第	號	明治	年	月	日
市參事會議長		市參事會員		議事課	
明治	年度	期市税金納者處分濟徵收金額及關損額左ノ如シ			

(第五號様式ノ二)

(用紙半紙罫)

市税金納者處分濟報告

明治 年 度 期市税金納者處分濟徵收金額及關損額別表ノ通ニ付此段及報告候也

明治何年何月何日

(大阪市何區長

何

某)

大阪府第二部第四課長

何

某殿

(用紙半紙罫)

明治何年度何期(地價割)	營業割	家屋割	税金納者處分表
賦課額	實收額	關損額	事由
住所	氏名		

第二十二類 會計

第二十二類會計

(第六號樣式)

(用紙半紙對)

過(誤)納金還付請求書

一金 何 圓

但何區何町何某ニ係ル明治何年度何期(地價)(戸數)(營業)割何々ヨリ本記金額過(誤)納
右之金額何年何月送納ノ内過(誤)納ニ付還付相成度此段請求候也

明治何年何月何日

何區長

氏

名 印

大、阪、市、參、事、會、宛

(第七號樣式)

(用紙半紙對)

市稅稅目誤謬更正報告書

一金 何 程

但何月何日何年度何割(或ハ何程ノ内)誤謬ニ付何割ニ更正スヘキ分

一金 何 程

但何々(以下幾筆アルモ順次記載スヘシ)

合計金 何 程

右之通誤謬有之候間更正相成度此段及報告候也

明治何年何月何日

何區長

氏

名 印

大、阪、府、第、二、部、第、四、課、長、

氏

名 殿

(第八號樣式)

(用紙美濃十三行罫紙)

何年何月中收入金精算書

一金

内

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

第二十二類會計

收 入 金

財 産 ヲ リ 生 ス ル 收 入

貨 地 料

雜 收 入

竹 木 拂 代

市 不 用 品 賣 却 代 稅

地 價 割 割

第二十二類 會計

右ハ明治何年何月中收入金精算額相違無之候也

明治何年何月何日

大阪府第二部第四課長

氏

名殿

何區長

氏

名印

(第九號樣式)

(用紙半紙罫)

何年度何月分支出豫定額請求書

一金

內譯

金

右御渡有之度此段及請求候也

明治何年何月何日

大阪府第二部第四課長

何區長

氏

名印

何區役所經費

(第十號樣式)ノ一 藍色

支第	號
明治	年 月 日

大阪市參事會命令書

發第	號	明治	年度	歳出
支第	號			

款	項	目	金額			
摘要			圓	錢	分	厘

以上ノ金額支出ス可シ

大阪市參事會

明治 年 月 日 大阪市長 何 某

總務課長	財務係主任	審査	豫算照査
------	-------	----	------

收受	月	日	收入役	司計係主任	審査	豫算照査
支拂通知	月	日				

第二十二類 會計

第一號樣式ニ同シ

金員記載例

